道路管理データベース作成マニュアル データ作成編

開発建設部版

令和7年3月

国土交通省 北海道開発局

建設部 道路維持課

改訂履歴

本マニュアルの改訂履歴を以下に示す。

改訂年月		該当箇所	改訂内容
R1. 9	1章	整備対象項目	〇「備考」項目を整備対象項目としたことに伴う整
			備対象項目数の変更
R2. 3	7章	その他留意事項	O「道路管理データベース登録用データにおいて多く
			発生しているミス事例」を追記
R3. 3	7章	その他留意事項	
	P109		〇道路施設基本作成システムの更新に伴う追加コー
			ドを追記
	P111		OD016橋梁下部エ及び D026橋側歩道橋下部エの一部
			項目における入力桁数の変更概要を追記
			〇入力桁数の制限に対する対応を追記
R3. 6	7章	その他留意事項	OD016 橋梁下部工の入力桁数変更に伴い、ミス事例
	P112		の変更
R4. 3	2章	データベース作成マ	
		ニュアルについて	
	P14~	P18	〇項目別記入要領集との関連付けの説明について、説
			明順を変更
	P22		〇処理区分について説明を追記
	3章	道路施設データの	
		作成	
	P23		〇道路施設データの作成フローを更新
	P51		〇「未供用区間の工事データの取り扱い」頁を「整備
			対象工事」についての記述に変更
	P59		〇イメージタイトルデータの入力項目一部修正
	P72		○「3.7.2. 既存道路施設データの変更」 でイメージデ
			ータを残してタイトルデータのみ更新する場合の
			データ作成方法を追記
	7章	その他留意事項	
	P103、	P107	O「7.1.各項目の確認内容」にて標準的な閾値を一部
			見直し
	P108		〇北海道独自コード及び国総研の新コードを「7.2.
			選択肢が追加されたコード項目」として集約

改訂年月	該当箇所	改訂内容
R4. 3	7章 その他留意事項	
	P109	〇「7.3.構造物における入力桁数の変更」で D016 橋
		梁下部工・D026 橋側歩道橋下部工・D100 パイプカ
		ルバートの一部項目における入力桁数の変更概要
		を追記
	P110~P115	〇「7.5. 道路管理データベース登録用データにおい
		て多く発生しているミス事例」記載内容を、登録用
		データチェックリストに合わせて更新
R5. 3	1.2 更新までのフロー	〇道路管理データベース更新業者の作業項目に「全国
	P2	道路施設点検データベースの更新」を追加
	1.3 道路施設基本データ	〇全国道路施設点検データベースの運用開始に伴い、
	について	C050 舗装、E020 道路照明、E050 道路標識、E060 道
	P3~P6	路情報板は道路管理 DB 更新用データの作成対象外
		とする旨を追記し、関連する表から上記4工種を削
		除
	2. 道路管理データベース	
	作成マニュアルにつ	
	いて	
	P14~P17	〇整備対象工種の一覧表等から上記4工種を削除し、
		4 工種を事例とした表現を他の工種に変更
	3. 道路施設データの作成	
	P33~P35	〇親子孫の関係表を修正
	P39、P53、P55、P61、	〇各種工種の一覧表等から上記4工種を削除し、4工
	P63、P67	種を事例とした表現を他の工種に変更
	P52	OD030 横断歩道橋について、点検 DB に登録する際の
		制約事項を追記
	6. 具体的事例	UE050 標識に関する 事 例を削除
	7. その他留意事項	
	P91~P96	〇各種工種の一覧表等から上記4工種を削除
	P100~P102	○「7.5. 道路管理データベース登録用データにおいて
		多く発生しているミス事例」記載内容を、登録用デ
		ータチェックリストに合わせて更新
	P105	〇溝橋に該当するデータの作成について追記

改訂年月	該当箇所	改訂内容
R7. 3	3.3 道路施設データ(イメ	〇イメージデータにおける個人情報のマスキング方
	ージデータ)の作成	法を追記
	P53	
	7. その他留意事項 P102	OE051 標識種類番号に関する事例を削除

Ħ	次
	~~~

1. 「データ作成編」マニュアルの位置づけ	1
1.1. 道路管理データベースの更新までの各段階におけるデータの定義	1
1.2. 更新までのフロー	2
1.3. 道路施設基本データについて	3
2 道路管理データベース作成マニュアルについて	14
21 北海道開発局の整備項目	16
	19
3. 道路施設データの作成	23
3.1. 道路施設基本データの準備作業	24
3.1.1. 道路施設基本データの内容確認	27
3.1.2. 数値・文字データの変換作業	
3.1.3. 登録済データの変換	
3.2. 道路施設データ(数値文字データ)の作成 (ステップⅠ)	
3.2.1. 新規(S)データの作成	40
3.2.2. 修正(C)データの作成	
3.2.3. 削除(D)データの作成	
3.2.4. 複数工事が関係する工事データの作成	50
3.2.5. 整備対象工事について	51
3.2.6. 点検 DB の運用開始に伴う制約事項	52
3.3. 道路施設データ(イメージデータ)の作成 (ステップⅡ)	53
3.4. イメージタイトルデータの作成 (ステップⅢ)	60
3.5. 道路施設データの結合 (ステップⅣ)	67
3.6. 道路基本情報データの作成	69
3.7. 管理移管施設ならびに道路施設基本データ未作成工事の道路施設データの作成	70
3.7.1. 道路施設データの作成・削除	70
3.7.2. 既存道路施設データの変更	71
3.7.3. 道路施設基本データ未作成工事の道路施設データの作成	74
3.7.4. 既存道路施設データの確認	74
4. サブシステムデータの作成	75
4.1. 資料検索システム登録用データの作成	75
4.2. 附図検索システム登録用データの作成	76
4.3. 舗装台帳閲覧システム登録用データの作成	78
4.4. 情報ボックス整備状況閲覧システム登録用データの作成	79
5. 貸与資料について	83

5.1. マニュアル・参考データ	
5.2. データベース登録済データ	
6. 具体的事例	84
6.1. 連続性を持つ道路構造の例	
6.2. 延長をもつ施設の例	
7. その他留意事項	91
7.1. 各項目の確認内容	
7.2. 選択肢が追加されたコード項目	
7.3. 構造物における入力桁数の変更	
7.4. 入力桁数の制限に対する対応	
7.5. 登録用データにおいて多く発生しているミス事例	
7.5.1. 道路管理データベース登録用データ	
7.5.2. サブシステム登録用データ	
7.6. 「溝橋」に該当するデータについて	

# 1. 「データ作成編」マニュアルの位置づけ

道路管理データベースを最新のデータに更新するためには以下のような作業が発生する。

- ① 工事受注者による道路施設基本データの作成
- ② 各工事により作成された道路施設基本データより道路施設データを作成する
- ③ 道路施設データよりデータベース更新用データを作成しサーバの更新を行う

本「データ作成編」は、②を作成するのに必要なことについて取りまとめたものである。

#### 1.1. 道路管理データベースの更新までの各段階におけるデータの定義

道路管理データベースの更新工程で作成する各データの定義を下記に示す。

【各用語の定義】

道路管理データベースの更新工程で使用、作成、関連する各データの定義を以下に示す。

# 道路施設基本データ

- ・工事受注者が作成する、当該工事に関する道路施設の諸元等(設置箇所、設置延長、位置図、現況 写真等)を電子データ形式に取りまとめ、電子成果として工事完了時に提出されるデータ。
- ・ データは工事単位の施設(工種)ごとに作成される。

# 道路施設データ

- ・工事受注者が作成する「道路施設基本データ」を基に、作成した道路施設諸元データ。当該工事内 で工事単位の「道路施設基本データ」を基に、データ内容を修正・補完し調整を行った「施設単 位」のデータであり、道路管理データベースに登録する際の基本情報となる。
- ・ なおデータは、道路管理データベース(通称:MICHI)で扱う工種単位に作成される。

#### 道路管理データベース更新用データ

・「道路施設データ」を施設(工種)単位および開発建設部単位で統合し、関連施設等との調整を行った道路管理データベースの登録・更新用データ。

# サブシステム登録用データ

・ 道路施設データと共に作成した北海道開発局の関連サブシステム登録用データ*。
 ※ サブシステム登録用データは、1)資料検索システム、2)附図検索システム、3)舗装台帳閲覧システム、4)情報ボックス整備状況閲覧システムについて作成する。

#### 1.2. 更新までのフロー



赤枠内が本マニュアルの範囲

図 1-1. 道路管理データベースの更新までのフロー

#### 1.3. 道路施設基本データについて

工事受注者が作成した「道路施設基本データ」は国土技術政策総合研究所(国総研)のデータチェ ックシステムを用いて、エラーがないことを条件に提出されている。しかし、このチェックシステム は作成されたデータの内、全国標準整備項目で作成されている SYOGEN フォルダのデータに対しての チェックであり、北海道開発局で整備対象としている SYOGEN_0 フォルダのデータには対応していな い。

従って、必ずしも適切にデータが作成されていないケースも目立つため、「道路施設基本データ」から「道路施設データ」を作成する段階において、データの信頼性・統一性を確保するために作成され たデータの内容を確認・修正するとともに適切なデータとしていく必要がある。

そこで、本データ作成編では、これまでに見受けられた不具合をなくすために、よくあるミス事例 等を盛り込んで整理した。

表 1-1 に全国標準整備工種および北海道開発局整備工種を示す。

ここに示す「項目」は、データを作成する上で工種ごとに情報入力が必要な項目のことであり、 表中の数字は、その項目数を示す。

「必須」:道路管理データベースに登録する上で必ず必要な項目である。

「対象」:必須項目さえ入力されていれば、対象項目に定められている項目のうち1項目でも入力 すれば道路管理データベースに登録することが出来る項目である。

「保留」:用意されている項目のうち、必須項目と対象項目以外の項目である。

すなわち、表 1−1 に示す「必須」と「対象」は、北海道開発局においては作成が必要な項目である。

また、全国道路施設点検データベース(以降、「点検 DB」)の運用開始に伴い、以下の理由から C050 舗装、E020 道路照明、E050 道路標識、E060 道路情報板は道路管理 DB 更新用データの作成対象外とす る。

- ・C050 舗装は、従来の更新用データを点検 DB に登録できないため、工事受注者が直接点検 DB に 登録する。
- ・E020 道路照明、E050 道路標識、E060 道路情報板は、定期点検業務にて点検 DB に登録する。

なお、今後も点検DBの方針変更に合わせ、マニュアル類は適宜見直しするため、これに留意する。

+∕≂ ≡⊓.			全国標準		北海道開発局					
他設金	施設名称		整備項目数		, F	<b>坒備項目数</b>	ξ	保留	イメージ	ジデータ
т <u>т</u> - 5		必須	対象	保留	必須	対象	保留	項目	一般図	現況写真
C020	縱断勾配	0	6	14	13	7	0		—	—
C021	バーチカルカーブ	0	0	18	13	3	2		—	—
C030	平面線形基本	0	9	14	13	10	0		—	—
C031	平面線形折曲り箇所	0	0	13	11	2	0		—	—
C060	道路交差点本線	11	3	26	11	21	8		-	—
C061	道路交差点従道路	0	0	19	9	6	4		—	—
C070	鉄道交差点基本	13	29	11	13	34	6		—	—
C071	鉄道交差点鉄道事業者	9	2	1	9	3	0		—	—
C080	歩道自歩道	14	31	22	14	37	16		—	—
C090	独立専用自歩道	13	38	12	13	42	8		—	—
C100	中央帯	13	6	23	13	15	14		—	_
C110	環境施設帯	13	5	25	13	13	17		—	—

表 1-1. 全国標準整備工種と北海道開発局での整備工種

+ <del>/,</del> =л			全国標準		北海道開発局					
他設 番号	施設名称	Į	整備項目数			整備項目数		保留 イメージデータ		
ш 7		必須	対象	保留	必須	対象	保留	項目	一般図	現況写真
D010	橋梁基本	13	42	50	13	59	33			
D011	橋梁幅員構成	9	12	7	9	19	0			
D012	<u>倘朱向惻Ŋ碊憮</u> 趫涩交差状況	9	3 2		9	/	2		_	
D013	橋梁添架物	9	6	2	9	8	0		_	—
D015	橋梁上部工	9	26	60	9	38	48		—	—
D016	橋梁下部工	9	14	63	9	35	42		_	—
D017	橋梁径間	9	17	2	9	19	0			
D019	橋梁塗装歴	9	9	7	9	13	3			—
	侷枀悑修歴 埵刅占埝麻	9	0 0	/	9	11	22	促ወ	_	
D01C	橋梁占検詳細歴	0	0	60	0	0	60	保留	_	_
D01D	橋梁点検補修	9	6	2	0	0	17	保留	—	—
D020	橋側歩道橋基本	13	34	58	13	53	39		_	—
D021	橋側歩道橋幅員構成	9	4	15	9		8			
D022	橋側歩道橋高欄防護柵	9	2	6	9	6	2			
D023	橋側歩道橋交差状況	0	0	15	9	4	2		_	-
D024	橋側歩道橋添朱物 掻側歩道掻とනて	9	0 00	2	9	8 20	U 40		_	
D025	<u> </u>	9 Q	23 14	63	9 Q	30 35	40 42		_	_
D020	橋側歩道橋径間	9	17	2	9	19			_	_
D029	橋側歩道橋塗装歴	9	9	- 7	9	13	3		_	— —
D02A	橋側歩道橋補修歴	9	5	7	9	11	1		—	—
D02B	橋側歩道橋点検歴	0	0	22	0	0	22	保留	_	_
D02C	橋側歩道橋点検詳細歴	0	0	60	0	0	60	保留	_	
D02D	橋側歩道橋点検補修	9	6	2	0	0	17	保留	_	
D030	<u> </u>	13	28	54	13	56	26			
D032	<u> </u>	9	3	10	9	9 2	4			_
D033	(限制少垣 個価修定) トンネル其木	13	64	60	9	3 	30		_	
D040	トンネル補修歴	0	0	13	9	4	00		_	—
D043	トンネル占用物	0	0	13	9	4	0		—	—
D050	洞門基本	13	20	45	13	40	25		_	—
D052	洞門補修歴	0	0	12	9	3	0		_	
D053	洞門占用物	0	0	12	9	3	0			
D060	スノーシェッド基本	13	2	63	13	40	25		—	—
D062	スノーンエット相修歴	0	0	12	9	3	0		_	
D003	ハノーシェットロ用初 地下横断歩道其本	13	16	52	13	3 3	27		_	
D072	地下横断步道補修歴	0	0	12	9	3	0		—	—
D073	地下横断步道占用物	0	0	12	9	3	0		—	—
D080	道路BOX基本	13	22	48	13	43	27		_	_
D082	道路BOX補修歴	0	0	12	9	3	0		_	
D083	道路BOX占用物	0	0	12	9	3	0		<u> </u>	
D090	横断BOX基本	11	10	32	11	21	21	/0 67		-
D092		0	0	12	0	0	12	保网	_	
D093	<u> 傾町60入口用初</u> パイプカルバート基本	13	4	12	13	13	9	下田		
D102	パイプカルバート補修歴	0	<del>ب</del> 0	12	0	0	12	保留	_	_
D110	のり面基本	0	0	136	13	44	79		_	_
D111	のり面規制区間	0	0	18	0	0	18	保留	—	—
D112	のり面切土関連	0	0	56	0	0	56	保留	_	
D113	のり面盛土関連	0	0	74	0	0	74	保留		—
D114		0	0	21	0	0	21	保留		-
D115	のり面崩壊地消固所	0	0	23	0	0	23	保网	_	
D117	のり面変い心認識のり面を	0	0	12	0	0	12	保留	_	
D118	のり面防火点検	0	0	25	0	0	25	保留	—	<u> </u>
D120	擁壁基本	13	7	19	13	14	12	P12 H4	—	<u> </u>
D122	擁壁補修歷	0	0	12	0	0	12	保留		<u> </u>
D130	スノーシェルター基本	0	0	57	0	0	57	保留		
D132	スノーシェルター補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		
D140	消波工基本							保留	—	—
D142	    次 上 佣 修 歴    広 蓮 皿 其 太	10		1 4	10	1.4	0	【休留	_	
E010	防護柵補修歷	0	0	14	13	14	16	保留	_	_

# 表 1-2. 全国標準整備工種と北海道開発局での整備工種

16 20			全国標準		北海道開発局					
施設 番号	施設名称	整備項目数			整備項目数			保留 イメージデータ		
н.)		必須	対象	保留	必須	対象	保留	項目	一般図	現況写真
E030	反射式視線誘導	13	3	10	13	9	4			
E040	日光式祝緑誘導基本	11	5	15	11	15	12	促网		_
E042 F070	<u>日九式祝禄訪等柵修歴</u> 交诵遮断機基本	11	5	12	11	12	9			
E072	交通遮断機補修歴	0	0	12	0	0	12	保留	_	—
E080	ITV基本	11	7	22	11	17	12		_	_
E082	ITV補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		
E090	<u>車向感知器基本</u>	11	6	14	11	13	7	/日 671	—	—
E092	<u>申问您却奋陠修定</u>	11	<u> </u>	24	11	12	12	休留	_	_
E101	<u> </u>	0	0	13	9	3	10		—	_
E103	車両計測補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		_
E110	気象観測基本	11	5	17	11	13	9		_	
E112	気象観測補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		
E120	<u> </u>	12	20	13	12	11	1U 28			
E130	白動車駐車場補修歷	0	29	43	0		12	保留	_	_
E140	自転車駐車場基本	13	13	11	13	17	7		_	-
E150	雪崩防止基本	13	4	19	13	18	5		_	_
E152	雪崩防止補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		
E160	落石防止基本	13	10	11	13	17	4	/日 671	—	
E102	洛口防止補修 <u>歴</u> 当電パイプ基本	13	<u>U</u> 8	54	13	20	12	1休留		
E170	消雪パイプ補修歴	0	0	12	0	20	12	保留	_	_
E180	ロードヒーティング基本	13	7	23	13	17	13		_	-
E182	ロードヒーティング補修歴	0	0	12	0	0	12	保留	_	
E190	除雪ST基本	11	2	16	11	9	9			
E191	除雪ST設備内容	0	0	15	9	5	1			
E200	<u> </u>	0	0	29 15	<u>۱۱</u>	9 5	9 1			
E210	共同溝基本	13	16	65	13	26	55		—	_
E211	共同溝占用物	9	5	6	9	8	3		—	—
E213	共同溝補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		
E220	CAB電線共同溝基本	13	13	15	13	19	9			—
E221	CAB電線共同溝口用物	9	4	5 12	9	0	3 12	促ወ		_
E230	植栽基本	13	9	11	13	15	5		_	
E231	植栽樹木種別	9	3	3	9	5	1		—	—
E233	植栽追加植換え歴	0	0	18	0	0	18	保留		
E240	遮音施設基本	13	6	14	13	16	4		_	
E241	遮首 <b>施設型式</b> 油辛塩設 <b>雄</b> 族麻	0	0	10	9	1	0 12	促网		
E243	遮光フェンス基本	13	5	16	13	16	5		_	_
E252	遮光フェンス補修歴	0	0	12	0	0	12	保留	—	—
E260	距離標	0	0	25	0	0	25	保留	_	
E270	流雪溝	13	3	15	13	14	4	/0 67		
E290	立体地下駐基本	0	0	109	0	0	109	保留		
E300	立体地で起補修歴	0	0	37	0	0	37	<u>休田</u> 保留	_	_
E302	Uターン場補修歴	0	0	12	0	0	12	保留	_	_
E310	防雪林基本	0	0	57	0	0	57	保留	_	_
E312	防雪林補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		
E320	路側放送基本	0	0	29	0	0	29	保留		<u> </u>
E322	町回瓜芝畑修座 光ケーブル基本	15	13	12	15	14	15	百万百		
E331	光ケーブル用途	0	0	13	0	0	13	保留	—	—
E333	光ケーブル補修歴	0	0	12	0	0	12	保留	_	_
E334	光ケーブル端局	11	6	5	11	7	4		_	
E336	光ケーフル端局補修歴	0	0	12	0	0	12	保留		<u> </u>
E340	追崎区別 蜆 ビーコン基本	11	10	22	11	14	22	「休留」		<u> </u>
E352	ニーコン 金平	_0	0	12	0	0	12	保留	_	

# 表 1-3. 全国標準整備工種と北海道開発局での整備工種

# (1) データ作成でよく見受けられる不具合

道路施設基本データでは、表 1-4 に示す不具合がよく見受けられる。道路施設データを作成する 上ではこれらの点に注意してデータ作成を行う。

また、道路施設基本データでの不具合例(サンプル)を次頁以降に示す。

エ種	事象	具体的事例						
白止法	コード選択間違い	セミフラット形式をフラット形式としている						
日少坦	未入力	点字ブロック枚数、箇所数、のべ延長等が未入力						
	補修歴 涂装歴の作成単位	上下別々の橋梁のデータを1橋のデータとして作成している(上部構造体が別れてい れば別橋扱い)						
橋梁	補修症、塗装症の作成手位	補修歴、塗装歴のデータは径間毎の作成となっているが、1橋単位にて作成されてい る						
	塗装歴の作成間違い	補修後の部分塗装が塗装歴で作成されている (塗装歴はあくまでも全体塗装を対象としており部分塗装は不要)						
	作成漏れ	高欄取替えの場合、補修歴は作成されているが、D012橋梁高欄防護柵のデータが未作 成						
	修正漏れ	落橋防止施設を施工した場合、補修歴は作成されているが、D017橋梁径間データの落 橋防止のデータが未修正						
横断 B O X	作成工種間違い	道路BOXとして作成されている						
パイプカルバート	未入力	土被りが未入力となっている						
のり面	作成対象の間違い	1~2m程度の高さののり面を作成している。高さ5m以上が対象						
擁壁	作成対象の間違い	擁壁の作成は基本的に3m以上のものを対象としているが、高さ1m程度のものを作 成している						
17世 王	未入力または間違い	勾配、高さ、総段数、段目等が未入力						
防護柵	作成間違い(位置と種類)	歩道車道側にH=1.10mの転落防止柵を作成 又は、歩道路肩側にH=0.80mの転落防止柵を作成						
שור אם נאו	防護柵種別「999:その他」	歩道のPタイプの防護柵種別が「999:その他」となっている						
C A B 雷線 共同 港	未記入	土被りや情報BOXの幅、高さ等が未入力						
0 4 0 电秘共间冲	作成工種間違い	共同溝として作成している						

表 1-4. よくあるミス事例

(2) 道路施設基本データの不具合例

# ■擁壁データの作成例



■横断BOXの内空高の間違い



# ■ 横断BOXを道路BOXで作成





# ■ 高さ1mの擁壁を作成





■ 高さ2m未満ののり面を作成





■ 情報BOXを共同溝で作成(正しくはCAB電線共同溝)





■雪崩防止施設(吹き払い柵)を防護柵で作成





# (3) イメージデータおよびイメージタイトルデータでの不具合

イメージデータおよびイメージタイトルデータでのよくある不具合を以下に示す。

- ・ イメージデータが所定の形式で作成されていない(解像度・大きさ等が不正)
- JPEG 形式はフルカラー(24 ビット)となっているが単色(8 ビット)で作成されている
- ・ 新規施設はイメージデータが必要であるが作成されていない
- ・ 工事施工中等の写真で作成されている(人物が入っている場合もあり)
- ・ イメージタイトルデータの整理番号1と親データの整理番号1が整合していない

※いずれも、マニュアル等を確認すれば防止できるミスである。

参考までに、「道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)令和5年3月 北海道開 発局 建設部道路維持課」より、道路施設基本データ作成に関連するマニュアルの入手先を以 下に示す。

1). 北海道開発局道路施設基本データ作成支援サイト

(https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000000cjt9.html)

道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)(本マニュアル) 道路施設台帳記入シート

道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)

# 2) 道路工事完成図等作成支援サイト

(http://www.nilim-cdrw.jp/rd_tool.html)

道路施設基本データ作成システム 道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル

図 1-2. 道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)抜粋

# 2. 道路管理データベース作成マニュアルについて

道路施設データの作成方法は、「道路管理データベース データ作成マニュアル(案)平成23年4 月 国土交通省」(以下、「作成マニュアル(国交省)」とする)に定められている。

しかし、作成マニュアル(国交省)は「共通編」から「調査票記入マニュアル編」まで計7編で編集 されており、総ページ数は約1,300ページに及んでいる。

また、作成マニュアル(国交省)は「全国共通」となっており、データベースで取り扱っている、 全ての工種および項目について記載されているため、北海道開発局では不要な説明も膨大に含んでい る。

そこで、北海道開発局で整備対象としている工種および項目を整理し、必要な部分のみに絞り込ん だ「道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)共通編・道路施設データ編・道路基 本情報データ編」(以下、「作成マニュアル(項目別記入要領集・各編)」とする)を別途作成した。

区分	施設番号	施設名称	区分	施設番号	施設名称
	C020	縦断勾配		E010	防護柵
	C030	平面線形	施設名称         区分         施設番号         施設名           配	反射式視線誘導標	
<u>م</u> در	C060	道路交差点		E040	自光式視線誘導標
追 路	C070	鉄道交差点		E070	交通遮断機
構造	C080	歩道および自転車歩行者道		E080	Ι. Τ. V
2	C090	独立専用自歩道		E090	車両感知器
	C100	中央帯		E100	車両諸元計測施設
	C110	環境施設帯		E110	気象観測施設
	D010	橋梁		E120	災害予知装置
	D020	橋側歩道橋	付属	E130	自動車駐車場等
	D030	横断歩道橋	物	E140	自転車駐車場
	D040	トンネル	およ	E150	雪崩防止施設
構	D050	洞門	び 付	E160	落石防止施設
迷	D060	スノーシェッド	帯梅	E170	消雪パイプ
	D070	地下横断歩道	過設	E180	ロードヒーティング
牣	D080	道路BOX等		E190	除雪ステーション
	D090	横断BOX等		E200	防災備蓄倉庫
	D100	パイプカルバート		E210	共同溝
	D110	のり面		E220	CAB電線共同溝
	D120	擁壁		E230	植栽
				E250	遮光フェンス
				E270	流雪溝
				E330	光ケーブル

表 2-1. 北海道開発局で道路施設基本データの作成対象とする道路施設

※定期点検業務で点検 DB に登録する E020 照明、E050 標識、E060 情報板除く

E350 ビーコン



# 2.1. 北海道開発局の整備項目

北海道開発局の整備項目数を表 2-2 に示す(「必須」「対象」「保留」は前項1.3. を参照)。

て活	T插		北海道開発局			て活		北海道開発局		
レート ビート	工種名	整備項目				エ 作里 コート	工種名	201000000000000000000000000000000000000	整備項目	300030000000000000000000000000000000000
- 1		必須	対象	保留				必須	対象	保留
C020	縦断勾配	13	6	1		D070	地下横断步道基本	13	40	28
C021	バーチカルカーブ	13	3	2		D072	地下横断步道補修歴	9	2	1
C030	平面線形基本	13	9	1		D073	地下横断步道占用物	9	3	0
C031	平面線形折曲り箇所	11	1	1		D080	道路BOX基本	13	42	28
C060	道路交差点本線	11	20	9		D082	道路BOX補修歴	9	2	1
C061	道路交差点従道路	9	6	4		D083	道路BOX占用物	9	3	0
<u>C070</u>	鉄道交差点基本	13	33			D090	横断BOX基本	11	20	22
C071	鉄道交差点鉄道事業者	9	2	1		D100	パイプカルバート基本	13	12	10
C080	步道自步道	14	37	16		D110	のり面基本	13	43	80
C090	独立専用自歩道	13	41	9		D120	擁壁基本	13	13	13
C100	中央帯	13	14	15		E010	防護柵基本	13	13	7
C110	環境施設帯	13	12	18		E030	反射式視線誘導	13	8	5
D010	橋梁基本	13	59	33		E040	自光式視線誘導基本	11	14	6
D011	橋梁幅員構成	9	19	0		E070	交通遮断機基本	11	11	10
D012	橋梁高欄防護柵	9	7	1		E080	ITV基本	11	16	13
D013	橋梁交差状況	9	4	2		E090	車両感知器基本	11	12	8
D014	橋梁添架物	9	8	0		E100	車両計測基本	11	11	16
D015	橋梁上部工	9	38	48		E101	車両計測設備	9	3	1
D016	橋梁下部工	9	35	42		E110	気象観測基本	11	12	10
D017	橋梁径間	9	19	0		E120	災害予知装置基本	11	10	11
D019	橋梁塗装歴	9	12	4		E130	自動車駐車場基本	13	43	29
D01A	橋梁補修歴	9	10	2		E140	自転車駐車場基本	13	16	8
D020	橋側步道橋基本	13	53	39		E150	雪崩防止基本	13	17	6
D021	橋側步道橋幅員構成	9	11	8		E160	落石防止基本	13	16	5
D022	橋側步道橋高欄防護柵	9	6	2		E170	消雪パイプ基本	13	19	43
D023	橋側歩道橋交差状況	9	4	2		E180	ロードヒーティング基本	13	16	14
D024	橋側步道橋添架物	9	8	0		E190	除雪ST基本	11	8	10
D025	橋側步道橋上部工	9	38	48		E191	除雪ST設備内容	9	4	2
D026	橋側步道橋下部工	9	35	42		E200	防災備蓄基本	11	8	10
D027	橋側步道橋径間	9	19	0		E201	防災備蓄備蓄設備	9	4	2
D029	橋側步道橋塗装歴	9	12	4		E210	共同溝基本	13	25	56
D02A	橋側步道橋補修歴	9	10	2		E211	共同溝占用物	9	7	4
D030	横断步道橋基本	13	55	27		E220	CAB電線共同溝基本	13	18	10
D032	横断步道橋塗装歴	9	9	4		E221	CAB電線共同溝占用物	9	5	4
D033	横断步道橋補修歴	9	2	1		E230	植栽基本	13	14	6
D040	トンネル基本	13	84	40		E231	植栽樹木種別	9	4	2
D042	トンネル補修歴	9	3	1		E240	遮音施設基本	13	15	5
D043	トンネル占用物	9	4	0		E241	遮音施設型式	9	1	0
D050	洞門基本	13	39	26		E250	遮光フェンス基本	13	15	6
D052	洞門補修歴	9	2	1		E260	距離標	11	8	6
D053	洞門占用物	9	3	0		E270	流雪溝	13	13	5
D060	スノーシェッド基本	13	39	26		E330	光ケーブル基本	15	13	16
D062	スノーシェッド補修歴	9	2	1		E334	光ケーブル端局	11	6	5
D063	スノーシェッド占用物	9	3	0		E350	ビーコン基本	11	13	24

表 2-2. 工種毎の整備対象項目と項目数

なお、道路施設データを作成する際に利用する所定の EXCEL フォーマット(発注者より入手:後述 3.1.2.参照))との関係を把握できるようにするため、この EXCEL フォーマットの列番号と作成マニ ュアル(項目別記入要領集;道路施設データ編・道路基本情報データ編)の記載項目のアルファベッ トを一致させることで、一目で該当する箇所が分かるように修正した。

また、整備対象項目(必須+対象)のみを表示することにより、このシートに表示されている項目 を全て補完するようにした。



図 2-2. 道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編(例)

〔C020〕 縦断勾配↓						
この調査表は、道路の縦断勾配に関するデータを登録するためのものである	<b>5.</b>					
2. 記入事項。						
(B)処理区分。						
記入方法については、「MICHIデー%作成マニュアル(共通編), § 2. 共通事項 2-	2共通記ス	<b>、</b> 事				
項(1)」を参照のこと。。						
(D) 地整 C.,						
(E)事務所C。						
(F) 出張所C.						
ト記(D)、(E)、(F)の記入方法については 「MICHIデッタ作成を174(共通	∰a). ६ഉ	2.				
	1 <b>4</b> 117 7 0 -					
			整備対象	<b>ķ項目</b>		
	表名	<u>: CO2O縦断勾配</u> 入力ままのデータタ	百日夕		曲区~	<u>~</u>
上記(G)、(H)の記入方法については、「MICHIデ〜S作成マニュマル(共通編),	δ NU.	入力者式のノータ名	項日石	必須文	対象	保留
項(2-2共通記入事項(3)」を参照のこと。。	1		地建C	0		
(I)整理番号1.,	2		事務所C	0		
該当する縦断勾配のデータ作成区間に対して一意に識別するための整理番号を記	·入 3		出張所C	0		-
お、記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル(共通編),§ 2. 共通事項 2	- 5	路線名:路線コート	<u>路線</u> 現旧区公C			┢
入事項(5)」を参照のこと。」	6		<u>現旧区分で</u> 整理番号1	0		┢
	7			0		
	8		整理番号3	0		<u> </u>
*0000′を記人する。	9	""""""""""""""""""""""""""""""""""""""	補助番号			┢
(K)整理番号3.,	11	<u> </u>	日木倧日			┢
<b>'0000'を記入する。</b>	12		百米標至	0		┢
(〇)補助番号。	13	: 距離	距離至	0		
記入方法については、「MICHIデータ作成マニュアル(共通編), § 2、共通事項 2-	2 14	上り・下り区分	上り下り区分C		0	
項(3)上を券昭のこと、	15		区間長	╉──┼╵	0	-
	10	<u>靴町勾配:付亏コート</u> ・			0	┢
	18	備考	備考		<u> </u>	0
	19		市区町村自C		0	
◇ 列番号のアルファベットに対応	20		市区町村至C	+	0	<u> </u>
				╉──┼╴	-	┢
			項目計 (O)	13	6	1
	) n	C T 11	W 7	é P	475	-
	of R	5 I U	π Λ Δ	ND	AD	

# 作成マニュアル (項目別記入要領集) 道路施設データ編

	10205 XIS [匠拖干-序]																			
- 4	В	D	E	F	G	H	Ι	J	K	0	Q	R	S	T	U	Ψ	Х	Z	AB	AD
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下 り区分 C	区間長	符号C	勾配	市区町村 自 C	市区町村 至C
2																				
3					4C10 >	1.1														
4					新祝ン	-1	: CUZUS													
5																				
6																				

図 2-3. 所定フォーマットの列番号と作成マニュアルとの関連付け(例)

#### 2.2. 道路管理データベース作成マニュアルの注意点

道路施設データ作成にあたって特に注意が必要な内容を以下に示す。

# (1) 整備対象項目の未整備

データの作成においては、未記入(ブランク)はエラーとなる。必ず何らかの値を記入すること。 特に、道路施設基本データにおいては未記入の項目が多い傾向である。必ず補完すること。

「未整備」、	「該当なし」	、「保留	習項目」	の場合は以	下のように記入する	※作成マニュアル P.2より引用	レ(共通編)	(国交省)
	未整備	?	]					
	該当なし	*	]					
	保留項目	#						

※「?」:関連資料による確認等が行えない場合で、データ記入が出来ない項目

「*」: データの組合せによって不必要な項目(例: PC 橋における鋼上部工鋼重) 注)マニュアル(国交省)上で「該当なしは"*"を記入」と特に記載のない数値項目に 対しては"0"を記入する

「#」: データ整備対象外とした項目

※基本的に、入力文字は半角とする。ただし、「道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)」の「巻末資料1 詳細情報のフォーマット」において、定義欄に「日本語」の記述がある項目については全ての文字を全角で入力することとする。 詳細については、後述「(3)数値項目、文字項目、日本語項目の書き方」を参照すること。

### (2) 特殊文字の取り扱い

データ記入に際しては、ローマ数字(I、Ⅱ・・)、単位(m²、cm・・)等の外字や、(株)、(代)、 転等の特殊文字は、データとして使用せず、以下のように<u>一般の文字に置き換えて記入</u>する。ま た、漢字で JISX0208 (JIS 第 2 水準)以外の字はひらがなで記入する。



# (3) 数値項目、文字項目、日本語項目の書き方

各項目とも、調査表の桁数(項目名の下に記載)に従ってデータを記入する。

また、基本的に、入力文字は半角とする。ただし、「道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)」の「巻末資料1 詳細情報のフォーマット」において、定義欄に「日本語」の記述がある項目については全ての文字を全角で入力することとする。

詳細については、作成マニュアル(共通編)(国交省)「2-1 共通注意事項 (7)数値項目、文 字項目、日本語項目の書き方」、および、「道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)」 の「巻末資料1 詳細情報のフォーマット」を参照する。

# (4) 路線コード

路線コードは必ず4桁にする。

なお、CSV ファイルを変換した時点で「0」が消えている場合があるので注意が必要である。

路線には、一般国道の	の路線コードとして	、路線名の数字部分の <u>左側に「0」を充填した</u>
<u>4桁のコード</u> を記入する	5。(記入例参照)	
(記入例) 「国道41	号」の場合	
-	路線	
	4(m)	
L	0041	

※作成マニュアル(共通編) (国交省) P.8より引用

なお、新直轄区間については全国道路・街路交通情勢調査「箇所別基本表及び時間帯別交通量表 に関する説明資料」の路線番号を入力する。

路線名	道路名	区間	<ul> <li>全国道路・街路</li> <li>交通情勢調査</li> <li>路線番号</li> </ul>
北海道縦貫自動車道 (函館名寄線)	道央自動車道	士別剣淵~名寄間	3101
		七飯~大沼公園間	3102
北海道横断自動車道(黒松内端野線)	道東自動車道	足寄~北見間	3201
北海道横断自動車道(黒松内釧路線)		本別~釧路間	3202

表 2-3 北海道内新直轄区間の路線番号

平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査「箇所別基本表及び時間帯別交通量表に関する説明資料」より引用

### (5) 現旧区分

現旧区分コードは以下のようにする。

特に、道路施設基本データにおいては、「○○バイパス」等の通称名があると施工業者は「3:新 道」として作成している場合があるので、必ず確認すること。現旧区分が不明な場合を発注者に問 い合わせを行う。



※ 旧道:バイパス等の建設に伴い建設前の道路が、他の道路として編成(編入)されずに存在する場合の元の 道路をいう。

新道:バイパス部分が現道に連結されないで部分的に供用されている区間をいう。

現道:旧道及び新道以外の道路をいう。

# (6) 距離標の記入

距離標は、該当する施設の直前にある百米標を使用すること。



※作成マニュアル(共通編) (国交省)P.12 より引用

※ 施工業者作成の道路施設基本データは、<u>距離標が「工事測点」</u>で入力されている場合があるので、その場 合は必ず工事測点から距離標への修正を行う。

※ また、<u>古い道路維持台帳附図を使用して距離標の設定</u>を行っている場合もあるので、距離標のチェックに は必ず最新の道路維持台帳附図を入手し、確認を行う。

(古い道路維持台帳附図では距離標の振り直し等に対応していないため)

# (7) 整理番号1の記入

整理番号1は、施設毎にユニークになるように付す。

1)整理番号1	
整理番号1は、親表を識別するためのものであり、英数字を用いデータが作成される各	
施設毎(各入力書式毎)に対して一意(ユニーク)に識別するために作成される整理番号	
である。データ作成の際には、 <b>各事務所毎に一意になるように任意の番号</b> を記入する。	(国交省) P. 14 より引用

各工種において、作成マニュアル(国交省)を参照し、北海道開発局の統一基準として設定された数値のみ 8 桁で、登録済データより判断し重複しない番号を付与する。(他局では先頭桁に出張所のイニシャルコードを付与することが多い。)

ただし、道路交差点・鉄道交差点・橋梁・橋側歩道橋・トンネルの5工種において、道路施設現 況調査(国土交通省道路局)等で取り扱っている施設については、それと同一のコードを記入する ものとする。それ以外の施設については、各事務所単位で独自にコードを付与する。

(例;トンネルについては4桁のトンネルコードに加え、トンネルが一箇所(同一のトンネルコードの場合で) において自動車専用トンネル、自転車歩行者専用トンネル別あるいは、上下線別に分離して設けられている場合 は分割番号1桁を記入する。)

処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	百米標	距離	上り下り 区分C	設置箇所 C
#	81	24	45	0229	1	01770000	0000	0000	94.4	38	2	3
#	81	24	45	0229	1	01780000	0000	0000	94.5	98	1	3
#	81	24	45	0229	1	01790000	0000	0000	95.2	22	1	3
s	0	0	0	0229	1	20130005			95.3	93	1	1
S	81	24	45	0229	1	01790500 🧹	0000	0000	95.3	93	1	1
#	81	24	45	0229	1	01800000	0000	0000	95.6	22	2	3
#	81	24	45	0229	1	01800050	0000					r
#	81	24	45	0229	1	01800080	0000	≝埋番号1 ■複しない	は 前後 0 番号を 付	り登録済す  与する	データより	判断し、

# (8) 緯度・経度情報の付与

緯度・経度情報は「データベースの更新・管理」時に付与を行う。 道路施設データの作成において付与する必要はないため、「ブランク」とすること。

# (9) 処理区分

処理区分は、データの取扱いを定める項目である。このため、道路施設データを作成する際は、 次の処理区分に該当するコード(S、C、R、D)を必ず記入する。

処理区分	データの取り扱い	コート゛
新 規	改築工事等により新規にデータを追加したい場合に用いる。	S
修正	当該の既存レコードの一部データ項目を修正したい場合に用 いる。	С
	イメージデータを残してイメージタイトルデータのみ修正す る場合に用いる。	R
削除	当該の既存レコードを削除したい場合に用いる。	D

表 2-4 処理区分

# 3. 道路施設データの作成

各工事において作成された道路施設基本データより道路施設データの作成を行う。 以下に、各作業の内容および流れを示す。

工事単位		作業内容	注意点等						
	工事毎の	内容確認	不足がある場合は発注者に問い合わせる						
準	• OTH	RSフォルダーの有無							
備	· CSV	ファイルの有無	①:CSVファイルの変換→EXCEL形式(基本データ)						
作	• S_DF	RAW、S_PHOTO等の有無							
業	登録済デ	ータの入手							
	• M D B	ファイル	②:所定のEXCELフォーマットに変換						
	道路施設	データ(数値文字データ)の作成							
ス	1.①ファ	ァイルの内容確認	完成図書、現況写真等より						
テ	2.①ファ	ァイルの内容確認後、②ファイルとの結合	路線、現旧区分、距離標等でソート						
ッ	3.新規	(S)の場合は整理番号の付与	道路施設基本データ補完後、処理区分に「S」を入力						
プ	修正	(C)の場合は該当データの内容変更	処理区分に「C」を入力。場合によっては、分割・統合						
I.	削除	(D)の場合は該当データの削除	処理区分に「D」を入力						
	4.必要想	なデータのみの抽出	処理区分「#」データの削除(不要な行の削除)						
	<b>冶</b> 攺 体	データ(イメージデータ)の作成	イメージデータの作成が必要な工種のみ						
ステップ	道路施設 1.S_DR 2.S_PH	<b>データ(イメージデータ)の作成</b> AWよりファイルを抽出 OTOよりファイルを抽出	イメージデータの作成が必要な工種のみ         P21形式の場合はJPEG形式に変換         図面の内容によっては、分割・統合を実施         解像度、大きさ等を所定の規格に調整         写真の内容によっては、統合を実施						
ス テ ッ プ Ⅱ	道路施設 1.S_DR 2.S_PH 3.ファ~	<b>データ(イメージデータ)の作成</b> AWよりファイルを抽出 OTOよりファイルを抽出 イル名の付与	イメージデータの作成が必要な工種のみ         P21形式の場合はJPEG形式に変換         図面の内容によっては、分割・統合を実施         解像度、大きさ等を所定の規格に調整         写真の内容によっては、統合を実施         イメージデータ作成マニュアルより						
ス テ ッ プ Ⅱ	道路施設 1.S_DR 2.S_PH 3.ファ~	データ(イメージデータ)の作成 AWよりファイルを抽出 OTOよりファイルを抽出 イル名の付与 データ(イメージタイトルデータ)の作成	イメージデータの作成が必要な工種のみ         P21形式の場合はJPEG形式に変換         図面の内容によっては、分割・統合を実施         解像度、大きさ等を所定の規格に調整         写真の内容によっては、統合を実施         イメージデータ作成マニュアルより						
ス テ ッ プ Ⅱ	道路施設 1.S_DR 2.S_PH 3.ファイ 道路施設 1.ステ、	<b>データ(イメージデータ)の作成</b> AWよりファイルを抽出 OTOよりファイルを抽出 イル名の付与 <b>データ(イメージタイトルデータ)の作成</b> ップ I で作成したデータを使用	<ul> <li>イメージデータの作成が必要な工種のみ</li> <li>P21形式の場合はJPEG形式に変換</li> <li>図面の内容によっては、分割・統合を実施</li> <li>解像度、大きさ等を所定の規格に調整</li> <li>写真の内容によっては、統合を実施</li> <li>イメージデータ作成マニュアルより</li> </ul>						
ステップ II ステップ II	道路施設       1.S_DR       2.S_PH       3.ファ       道路施設       1.ステッ       2.マニニ	<b>データ(イメージデータ)の作成</b> AWよりファイルを抽出 OTOよりファイルを抽出 イル名の付与 <b>データ(イメージタイトルデータ)の作成</b> ップ I で作成したデータを使用	<ul> <li>イメージデータの作成が必要な工種のみ</li> <li>P21形式の場合はJPEG形式に変換</li> <li>図面の内容によっては、分割・統合を実施</li> <li>解像度、大きさ等を所定の規格に調整</li> <li>写真の内容によっては、統合を実施</li> <li>イメージデータ作成マニュアルより</li> <li>イメージデータを更新する場合、登録済タイトルデータの処 区分に「D」を入力、新規タイトルデータの処理区分に「S」</li> <li>を入力</li> <li>登録済イメージデータを残してタイトルデータのみ更新する</li> <li>合、登録済タイトルデータの処理区分に「R」を入力、更新 ようとするタイトルデータの処理区分に「C」を入力</li> </ul>						
ステップ=ステップ=	道路施設       1.S_DR       2.S_PH       3.ファ       道路施設       1.ステ、       2.マニニ       3.ステ、	<b>データ(イメージデータ)の作成</b> AWよりファイルを抽出 OTOよりファイルを抽出 イル名の付与 <b>データ(イメージタイトルデータ)の作成</b> ップIで作成したデータを使用 ュアルに準拠してタイトルデータを作成	<ul> <li>イメージデータの作成が必要な工種のみ</li> <li>P21形式の場合はJPEG形式に変換</li> <li>図面の内容によっては、分割・統合を実施</li> <li>解像度、大きさ等を所定の規格に調整</li> <li>写真の内容によっては、統合を実施</li> <li>イメージデータ作成マニュアルより</li> <li>イメージデータ作成マニュアルより</li> <li>イメージデータを更新する場合、登録済タイトルデータの処 区分に「D」を入力、新規タイトルデータの処理区分に「S」を入力</li> <li>登録済イメージデータを残してタイトルデータのみ更新する</li> <li>合、登録済タイトルデータの処理区分に「R」を入力、更新 ようとするタイトルデータの処理区分に「C」を入力</li> <li>筆認</li> </ul>						

ス	道路施設データの結合	
テ	上記Ⅰ~Ⅲで作成された、工事毎のデータを統合す	3.
ッ	1.数値・文字データの統合	同一工種の結合
プ	2.イメージデータの統合	一つのフォルダー内に統合
IV	3.イメージタイトルデータの統合	同一工種の結合

道路施設データの納品

図 3-1. 道路施設データの作成フロー

# 3.1. 道路施設基本データの準備作業

工事受注者によって作成された道路施設基本データは、図 3-2 に示す形式で構成された電子納品内の OTHRS¥ORG999(道路施設基本データフォルダ)(図 3-3 参照)内に格納されており、このフォル ダ内のデータを使用して道路施設データの作成を行う。



図 3-2 電子納品フォルダ構成

整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込む	新し	ルンフォルダー	
🐌 H24 一般国道○○号○○町舗装工事	*	名前	種類
🔒 OTHRS		0RG997	ファイル フォルダー
🐌 ORG997		ORG998	ファイル フォルダー
🐌 ORG998		🔋 ORG999	ファイル フォルダー
🍑 D010		OTHRS.XML	XML ドキュメント
🐌 ORG999		OTHRS05.DTD	DTD ファイル
SYOGEN			
SYOGEN_O			
🌗 C050			
🐌 C080			
🐌 E010			

図 3-3. 道路施設基本データの格納(例)

ORG997(データ作成根拠資料等フォルダ)には次に示すように、道路施設基本データを出力(印刷)した資料(道路施設基本データ総括表、一覧表、詳細表)および道路施設基本データを作成する際に使用したデータ作成の根拠となる資料(工事数量表・完成図面等)が格納されている。

ORG998(重要構造物図面・設計図書データフォルダ)はサブシステムの資料検索システムで使用 するデータ(4.1の章にて説明)が格納されている。



図 3-4. 工事資料の格納(例)

	道路施調	皮基本データ総括表		dskoo1. P	DF						
工事年度 2009	年度			総話	ł						
工事件名		工事									
発注者名	e e		工事番号								
工 事 会社名											
請負者現場代理人			Sheek H.			and the state		Γ	SKOO2 PDF		
			道路施	設基本テー	-9-	一覧表					
	作成施設情報	6									
施設名		2009年度	工事名:			/) et alt	1910	L AND A	***	-	
	新設	脂取冶	治析	新設	18 A	<u>77</u> 単線 敷去 名	风口 区分 (	磨土凶肉 距離標または側点)	^{國政} 対応番号		
縦断勾配		維新勾配			0	36	現道	109.0kp+20m	1001-001	+	
バーチカルカーブ	4	縦断2)配			0	36	現道	109.2kp+40m	1001-002	+	
平面線形		縦断勾配			0	36	現道	109.5kp+20m	1002-001		
舗装(基本諸元)	5	- 転野(4)配			H				縦	断勾配詳細表	DSK003. F
(地)(1)	11	紙町2)配		0	H						
	11	パーチカルカーブ		0	Н	2009年度	ε :	<b>工事名</b> :			ェ∗ 詳細表
道路交差点(本藤)		パーチカルカープ		0	Н	NO		項目名		入力欄	単位
歩道及び自転車歩行者道	4	パーチカルカープ		0	Н	1	工事番	号		2009260185	
橋梁(基本諸元)		平面線形		0	H	2	データ	区分		2 改良	
橋梁(高欄・防護柵)	1	平面線形			H	3	施設対	応番号		1001-001	
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		平面線形			H	4	路線番	号		0036	
簡栄(補修歴)	1	平面線形			H	5	現旧区	· 分		1 現道	
パイプカルパート(基本諸元)	12	平面線形			H	6	百米橋			109	Irm
のり面・斜面(基本諸元)		編装(基本講元)	北海道登别市	0	H	7	百米標	又は測点(白):	からの距離	20	KIII
擁壁(基本諸元)	3	鋪抜(基本請元)	北海道登别市		Ħ.	8	百米博	マけ測占(至)	<ul> <li>See all statistic</li> </ul>	109.2	In last
防護提(某大諾売)	2	鋪装(補修歴)		0	H	9	百米博	マけ測占(至)	からの距離	40	Km
の腰情(盗卒崩元)	2	鋪装(基本講元)	北海道登别市	0	H	10	上的下的	人は関加(主)	0-907 KENK	10 0 ト下線共通	m
反射式視線誘導標	1	鋪装(基本諸元)	北海道登别市		H	10	マ即耳			220.000	
道路標職(基本諸元)	4	鋪装(補修歴)		0	Ħ	12	佐田民			220.000 2 下N	m
道路標職(標職板)	7	舗抜(補修歴)		0	Ħ	12	かる			0.5	0/
CAB電線共同港(基本諸元)	1	舗装(基本篩元)	北海道登别市	0	Η	15	~740			0.0	%
	-	鋪拔(基本篩元)	北海道登别市	742+	. : <b>I</b>	<b>ш</b> , -	~				
植栽(基本諸元)	9	舗装(補修歴)		これつで	572	用し	6	<u> </u>			
		舗装(基本篩元)	北海道登别市	データの	の千	エッ	7を				
		舗装(補修歴)		行う							
		鋪装(基本講元)	北海道登别市					)			
		編装(補修歴)		0		-		·			
	++	舗装(補修歴)		0	Ц	-					
		舗装(基本諸元)	北海道登别市	0		-					
		舗装(基本請元)	北海道登别市	0	Ц	-					
		緒装(基本諸元)	北海道登别市			-					
		舗抜(補修歴)		0	Н	-					
		舗装(補修歴)		0	Н	-					
		舗装(基本諸元)	北海道登别市		H	-					
		<b>緬抜(補修歴)</b>		0	H	-					
		舗装(補修歴)		0	H	-	-				
		道路交差点(本線)	北海道登别市		Ц						
		L			_	-					
						-					
						<u> </u>					
						1	1				1

図 3-5. 道路施設基本データ出力(例)

# 3.1.1. 道路施設基本データの内容確認

ORG999(道路施設基本データフォルダ)内に、以下に示すデータが格納されているか確認する。 仮に未作成もしくは漏れ等があった場合は、発注者に報告し指示を仰ぐ。

# (1) 位置図の確認

作成された道路施設基本データ内に、作成したデータの位置を示す位置図が格納されている か確認する。

位置図は SYOGEN フォルダ内に格納されている。

- ※ SYOGEN とは、全国共通整備項目で作成されたデータ
   SYOGEN_0 とは、<u>北海道開発局独自の整備項目</u>で作成されたデータ
- ※ なお、位置図については「道路維持台帳附図(道路基本図)」が整備済の場合、必ずこの附図を使用 して作成することになっている。工事図面等で作成されていないか確認を行う



図 3-6. 位置図の格納(例)



図 3-7. 位置図の作成(例)

# (2) 道路施設基本データ施設数の確認

作成された道路施設基本データの作成に漏れ等がないか、ORG997 フォルダ(データ作成根 拠資料等フォルダ)に格納されている工事数量表・完成図書等を参考に ORG999¥SYOGEN_O 内の作成工種および作成数量の確認を行う。



図 3-8. 工事資料の格納(例)



図 3-9. 数量表 (KON001.PDF)・完成図書 (KON002PDF)の内容(例)



図 3-10. 道路施設基本データの作成工種確認(例)

# 3.1.2. 数値・文字データの変換作業

¥ORG999¥SYOGEN_O¥の各施設番号内に作成された CSV ファイルを各施設毎(工種毎)に決められたフォーマットの EXCEL ファイルに変換を行う。

なお、所定の EXCEL ファイル (新規シート) は発注者より入手する。

これまでに提出された道路施設データにおいては、所定のフォーマットを使用していないケース が多々見受けられた。データベースでは指定された書式でなければデータ更新が行えない。必ず所 定のフォーマットを使用すること。特に、<u>列の追加や削除</u>は絶対に行わないこと。

以下に、変換例を示す。



図 3-11 作成された CSV ファイル(防護柵)

整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込む	新し	ハフォルダー				• • •
🌗 新規シート	*	C020S.XLS	D02AS.XLS	D025S.XLS	D063S.XLS	E050S.XLS
퉬 1.道路施設データ用		C021S.XLS	🗟 D010S.XLS	D026S.XLS	D070S.XLS	E051S.XLS
퉲 2.道路基本情報データ用		🗟 C030S.XLS	🗟 D011S.XLS	🖲 D027S.XLS	🖲 D072S.XLS	E060S.XLS
🎴 3.イメージタイトル用		🗟 C031S.XLS	🖲 D012S.XLS	🖲 D029S.XLS	🖲 D073S.XLS	E070S.XLS
-		🗟 C050S.XLS	🖲 D013S.XLS	🖲 D030S.XLS	🖲 D080S.XLS	E080S.XLS
		C052S.XLS	🖲 D014S.XLS	🖲 D032S.XLS	🖲 D082S.XLS	E090S.XLS
		🗟 C060S.XLS	🖲 D015S.XLS	🖲 D033S.XLS	🖲 D083S.XLS	🖲 E100S.XLS
		🕙 C061S.XLS	🖲 D016S.XLS	🖲 D040S.XLS	🖲 D090S.XLS	E101S.XLS
		🗟 C070S.XLS	🖲 D017S.XLS	🖲 D042S.XLS	🖲 D100S.XLS	🖲 E110S.XLS
		🗟 C071S.XLS	🖲 D019S.XLS	🖲 D043S.XLS	🖲 D110S.XLS	E120S.XLS
		🗟 C080S.XLS	🗟 D020S.XLS	🖲 D050S.XLS	D120S.XLS	🖲 E130S.XLS
		🗟 C090S.XLS	🕙 D021S.XLS	🕙 D052S.XLS	E010S.XLS	E140S.XLS
		🗟 C100S.XLS	🕙 D022S.XLS	🖲 D053S.XLS	E020S.XLS	E150S.XLS
		🗟 C110S.XLS	🗟 D023S.XLS	🗟 D060S.XLS	🖲 E030S.XLS	E160S.XLS
		D01AS.XLS	D024S.XLS	D062S.XLS	E040S.XLS	E170S.XLS

図 3-12 新規シート_対応する EXCEL ファイル(防護柵: E010S. XLS)
## 例 1

## (1) E01001.CSV ファイルを EXCEL で開く

CSV ファイルをメモ帳等で開いた場合	工事区分Cは以下を表す 1 : 新規(S)	
	2 : 改良(C)	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	5. mg(D)	
"工事番号","工事区分C","附図対応番号","路線","現旧区分C","整理番号1"   "2013242069","1","I002-012","0229","1","20130001","","","","",01401","95.	,"整理番号2″,"整理番 3″,″61″,″95.3″,″70″,″	/된 21

※メモ帳等で開いてもOKだが、テキスト形式では項目名と入力値との整合が困難なので EXCEL 形式での展開の方が変換には確実である。

E F G	11 T I											
		K L M	N O P	Q								
見旧区分C整理番号1 整理番号2螯	整理番号3補助番号 市区町村C	百米標自 距離自 百米標至	距離至 施設完成年施設改修年	上り下り区								
1 201 30001	1 401	95.3 61 95.3	70 2013 *	2								
6												
× EVCEL 形式で展開すてし、1 行日に頂日々がまデキャーの行日に1 力値がまデキャス												
.,	1 20130001 3と、1行目に巧	1 20130001 1 20130001 3と、1行目に項目名が表示され	1 20130001 1 20130001 5 と、1 行目に項目名が表示され、2 行目に入力	1 20130001 1 20130001 1 20130001 1 401 953 61 953 70 2013 * 52 52 52 52 52 53 53 53 50 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								

この項目名に着目し、新規シートにデータを貼り付けていく。 ただし、注意点としてテキスト形式にて作成されているデータを EXCEL 形式で開いた場合、数 値項目の先頭の「0」が消えてしまうので、注意すること。(2.2.(4)路線コード参照)

## (2) 新規シート内の同一工種(E010S.xls)のファイルを開く

	E010S.)	KLS []	豆換モー	5]																
	В	D	E	F	G	Н	I	J	K	0	Q	U	V	W	Х	88	AB	AC	AE	AG
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上りT り区分 C	- 設置 分 箇所 C	防護 柵種 別C
2																				
3																				
4																				
5																				

# (3) (1)のデータを項目名に着目して所定に位置にコピーする

	В	D	E	F	G	Н	I	J	К	0	Q	U	V	W	X	AA	A	AC	AE	AG
1	処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	2改 年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別C
0	S	0	0	0	0229	1	20130001			*	01401	95.3	61	95.3	70	2013	*	2	1	B81

図 3-13 CSV ファイルの変換(例)

# 例2

## (1) 1 施設内に複数の CSV ファイルがある場合

整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込む	新しいフォルダー	
🐌 ORG999	<b>^</b> 名前	種類
SYOGEN	S DRAW	ファイルフォル
SYOGEN_O	D01001.CSV	CSV ファイル
🐌 C020	D01101.CSV	CSV ファイル
\mu C030	D01201.CSV	CSV ファイル
🐌 D010	D01401.CSV	CSV ファイル
\mu D01001	■ D01501.CSV D01001.CSV 橋梁基	本 アイル
🐌 E010	D01101.CSV 橋梁幅 D01201_CSV 桥梁宫	員構成 壛咕讙姍
🐌 E220	D01201.03V 福采高 D01401.CSV 橋梁添	加物
	D01501.CSV 橋梁上	部工

## (2) D01001.CSV ファイルを EXCEL で開く

	A	В	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	0	P	Q
1	工事番号	工事区分C	附図対応番	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分이	2整理番号1	整理番号2	≥整理番号3	補助番号	橋梁コード	分割区分の	施設完成4	施設改修生	名称
2	2.01 E+09	1	I001003	81	21	44	337	3	201 00001					0	2009	*	00橋

# (3) 新規シート内の同一工種(D010S.xls)のファイルを開く

	В	D	E	F	G	H	I	J	K	0	Q	R	V	W	X	Y	A/	AC	AD	AF	AH
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	橋梁 コード	分割 区分 C	施設完 成年度	施設改 修年度	名称	橋梁 種別 C	橋須 区分 C	架設竣 工年	等級 C	適用示 方書C	総径間 数
2																					
3																					
4																					

# (4) (2)のデータを項目名に着目して所定に位置にコピーする

_																						
	🔊 D	010c.xl	s [互换	E−ド]													N/					
		В	D	E	F	G	H	I	J	K	0	Q	R	V		X	Y	AA	AC	AD	AF	AH
	1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	橋梁 コード	分割 区分 C	施設完 成年度	施設改 修年度	名称	橋梁 種別 C	橋梁 区分 C	架設竣 工年	等級 C	適用示 方書 C	総径間 数
		S				0337	3	20100001						2009	*	○○橋	2	1	2009	*	166	2

## (5) 同様に D01101.CSV ファイルを EXCEL で開く

1 施設内にある CSV ファイルを全て変換し、EXCEL 形式として保存しておく。

	1	A	В	С	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	0	P	Q
1	1	E事番号	工事区分C	附図対応番	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分C	現旧区分	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	橋梁コード	分割区分C	分割区分	供用開始的
1	2	2.01 E+09	1	I001 -003	81	21	44	337	3	新道	201 00001	1				0	上下線一位	*

以下同じ要領で、D01101.CSV~D01501.CSVのファイルを変換しておく。

## ○ 1施設で複数の工種から構成される施設

データベースの基本構成単位は工種単位となっている。但し、橋梁の上部工等のように1橋梁の中 で上部構造体が複数あるようなものについては、1工種内で複数の表から構成され、以下に示す整理 番号により「親表」、「子表」、「孫表」として互いに関連付けられる。

表 3-1 に施設毎の親・子・孫の関係を示す。

- ▶ 整理番号1 : 親データで設定
- ▶ 整理番号2 : 子データで設定
- ▶ 整理番号3 : 孫データで設定





			詳細			分類	
区分	施設番号	施設名	情報	詳細情報名	主	고	逐
			番号		小儿	J	178
	C020	縦断勾配	C020	縦断勾配	0		
			C021	バーチカルカーブ	0		
	C030	平面線形	C030	平面線形基本	0		
			C031	平面線形折曲り箇所		0	
道	C060	道路交差点	C060	道路交差点本線	0		
路構	C070	鉄道交差点	C070	鉄道交差点基本	0		
造			C071	鉄道交差点鉄道事業者		0	
	C080	歩道及び自転車歩行者道	C080	步道自步道	0		
	C090	独立専用自歩道	C090	独立専用自歩道	0		
	C100	中央帯	C100	中央帯	0		
	C110	環境施設帯	C110	環境施設帯	0		
	D010	橋梁	D010	橋梁基本	0		
			D011	橋梁幅員構成		0	
			D012	橋梁高欄防護柵		0	
			D013	橋梁交差状況		0	
			D014	橋梁添架物		0	
			D015	橋梁上部工		0	
			D016	橋梁下部工		0	
			D017	橋梁径間			0
			D019	橋梁塗装歴		0	
塂			D01A	橋梁補修歴		0	
1 <del>円</del> )生			D01D	橋梁点検補修		0	
	D020	橋側歩道橋	D020	橋側歩道橋基本	0		
羽			D021	橋側歩道橋幅員構成		0	
			D022	橋側歩道橋高欄防護柵		0	
			D023	橋側歩道橋交差状況		0	
			D024	橋側歩道橋添架物		0	
			D025	橋側歩道橋上部工		0	
			D026	橋側歩道橋下部工		0	
			D027	橋側歩道橋径間			0
			D029	橋側歩道橋塗装歴		0	
			D02A	橋側歩道橋補修歴		0	
			D02D	橋側歩道橋点検補修		0	

表 3-1	施設毎の親	・子・	孫の関係
-------	-------	-----	------

			詳細			分類	
区分	施設番号	施設名	情報	詳細情報名	朝	ヱ	TK.
			番号		和工	J	]亦
	D030	横断步道橋	D030	横断步道橋基本	0		
			D032	横断步道橋塗装歴		0	
			D033	横断步道橋補修歴		0	
	D040	トンネル	D040	トンネル基本	0		
			D042	トンネル補修歴		0	
			D043	トンネル占用物		0	
	D050	洞門	D050	洞門基本	0		
			D052	洞門補修歴		0	
			D053	洞門占用物		0	
+#	D060	スノーシェッド	D060	スノーシェッド基本	0		
ー 作			D062	スノーシェッド補修歴		0	
垣			D063	スノーシェッド占用物		0	
初	D070	地下横断歩道	D070	地下横断歩道基本	0		
			D072	地下横断歩道補修歴		0	
			D073	地下横断歩道占用物		0	
	D080	道路 BOX	D080	道路 BOX 基本	0		
			D082	道路 BOX 補修歴		0	
			D083	道路 BOX 占用物		0	
	D090	横断 BOX	D090	横断 BOX 基本	0		
	D100	パイプカルバート	D100	パイプカルバート基本	0		
	D110	のり面	D110	のり面基本	0		
	D120	擁壁	D120	擁壁基本	0		
	E010	防護柵	E010	防護柵基本	0		
付	E030	反射式視線誘導標	E030	反射式視線誘導	0		
属物	E040	自光式視線誘導標	E040	自光式視線誘導基本	0		
が及び	E070	交通遮断機	E070	交通遮断機基本	0		
付付	E080	ITV	E080	ITV 基本	0		
帯施	E090	車両感知器	E090	車両感知器基本	0		
設	E100	車両諸元計測施設	E100	車両計測基本	0		
			E101	車両諸元計測施設設備		0	

			詳細			分類	
区分	施設番号	施設名	情報	詳細情報名	鉑	Ч	TT
			番号		和工	J	177
	E110	気象観測施設	E110	気象観測基本	0		
	E120	災害予知装置	E120	災害予知装置基本	0		
	E130	自動車駐車場	E130	自動車駐車場基本	0		
	E140	自転車駐車場	E140	自転車駐車場基本	0		
	E150	雪崩防止施設	E150	雪崩防止基本	0		
	E160	落石防止施設	E160	落石防止基本	0		
	E170	消雪パイプ	E170	消雪パイプ基本	0		
	E180	ロードヒーティング	E180	ロードヒーティング基本	0		
	E190	除雪ステーション	E190	除雪 ST 基本	0		
			E191	除雪ステーション設備		0	
付屋	E200	防災備蓄倉庫	E200	防災備蓄倉庫基本	0		
物			E201	防災備蓄倉庫設備		0	
び	E210	共同溝	E210	共同溝基本	0		
一行			E211	共同溝占用物		0	
施設	E220	CAB 電線共同溝	E220	CAB 電線共同溝基本	0		
			E221	CAB 電線共同溝占用物		0	
	E230	植栽	E230	植栽基本	0		
			E231	植栽樹木種別		0	
	E240	遮音施設	E240	遮音施設基本	0		
			E241	遮音施設型式		0	
	E250	遮光フェンス	E250	遮光フェンス基本	0		
	E270	流雪溝	E270	流雪溝	0		
	E330	光ケーブル	E330	光ケーブル基本	0		
			E334	光ケーブル端局	0		
	E350	ビーコン	E350	ビーコン基本	0		

#### 3.1.3. 登録済データの変換

道路施設データの作成にあたっては、既に登録されているデータ(施設)と照合を行う必要があ るため、最新の登録済データを入手し、照合用にデータを作成しておく必要がある。

ここでは、道路管理データベースシステムのDBファイルから、PCで作業ができるようにファイル変換した最新のmdbファイル(Access)を、さらに所定のEXCELファイルに変換する手順について示す。

m d b ファイル内にはデータベースで取り扱っている全ての工種テーブルが格納されているが、 全てを変換する必要はなく、照合を行う施設に限定して行う。

また、変換は最初に1回のみ行い、そのデータを照合用として業務が完了するまで使用する。

※ 最新の mdb ファイルとは、前年度までに作成されたデータが反映されているもの。

🧾 ファイル(E) 🕯	編集(E) 表示(⊻) 挿入(I) ツール(I) ウ	ヮィンドウ( <u>₩</u> ) へルプ( <u>H</u> )	質問を入力してください	▼ _ # >
🗋 💕 🗟 🖏 👍	i 🖪 💝   X 🗅 🖭 🔊 -   🛃 -   🛱 -	🐚 🍏   😭 🛤 ⁄a 🗸 🖉 🖕		
┌┤開<(○) ↓ デザ	イン(D) 🛅 新規作成(N) 🛛 🗙 🕒 🔡	i		
オブジェクト	□ D01C橋梁点検詳細歴	D033横断歩道橋補修歴	💷 D082道路BOX補修歷 💷 D120擁壁基本	
= テーブル	□ D01D橋梁点検補修	D040トンネル基本	D083道路BOX占用物 D121擁壁図面類	
	D020橋側歩道橋基本	D041トンネル図面類	D090横断BOX基本 D122擁壁補修歷	
	■ D021橋側歩道橋幅員構成	D042トンネル補修歴	D091横断BOX図面類 D130スノーシェル	ター基本
🗐 フォーム	D022橋側歩道橋高欄防護柵	D043トンネル占用物	D092横断BOX補修歴 D131スノーシェル	ター図面類
◎ レポート	D023橋側歩道橋交差状況	🔟 D050洞門基本	D093横断BOX占用物 D132スノーシェル	ター補修歴
N-≈	D024橋側歩道橋添架物	🔟 D051洞門図面類	D100パイプカルバート基本 D140消波工基本	
	■ D025橋側歩道橋上部工	🔲 D052洞門補修歷	D101パイプカルバート図面類 D141消波工図面類	ā.
2 200	■ D026橋側歩道橋下部工	💷 D053洞門占用物	D102パイプカルバート補修歴 D142消波工補修器	Į.
🗼 モジュール	D027橋側歩道橋径間	D060スノーシェッド基本	<ul> <li>D110のり面基本</li> <li>E010防護柵基本</li> </ul>	
ガループ	□ D028橋側歩道橋図面類	D061スノーシェッド図面類	D111のり面規制区間 E011防護柵図面類	í.
	■ D029橋側歩道橋塗装歴	🔟 D062スノーシェッド補修歴	🔟 D112のり面切土関連 🔲 E012防護柵補修歴	i.
📓 お気に入り	■ D02A橋側歩道橋補修歴	🔲 D063スノーシェッド占用物	🔟 D113のり面盛土関連 💷 E020照明基本	
	■ D02B橋側歩道橋点検歴	D070地下横断歩道基本	D114のり面斜面関連 E021照明図面類	
	■ D02C橋側歩道橋点検詳細歴	D071地下橫断歩道図面類	D115のり面崩壊地滑筃所 022照明補修歴	
	□ D02D橋側歩道橋点検補修	D072地下橫断歩道補修歷	D116のり面変状施設 E030反射式視線誘 E030反射式視線誘	導
	■ D030構断歩道橋基本	D073地下橫断歩道占用物	D117のり面補修改築歴 E040自光式視線誘 E040自光式視線誘	導基本
	■ D031構断歩道橋図面類	D080道路BOX基本	D118のり面防災点検 E041自光式視線誘 E041自光式視線誘	導図面類
	■ D032構断歩道橋塗装歴	D081道路BOX 図面類	D119のり面図面類 E042自光式視線誘 E042自光式視線誘	導補修歷
	4			

整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込む	新し	ルフォルダー				•••
🌗 新規シート	*	C020S.XLS	D02AS.XLS	D025S.XLS	D063S.XLS	E050S.XLS
] 1.道路施設データ用		C021S.XLS	D010S.XLS	D026S.XLS	D070S.XLS	E051S.XLS
] 2.道路基本情報データ用		🖲 C030S.XLS	D011S.XLS	D027S.XLS	D072S.XLS	🖲 E060S.XLS
🎴 3.イメージタイトル用		🖲 C031S.XLS	D012S.XLS	🕙 D029S.XLS	🖲 D073S.XLS	🖲 E070S.XLS
		C050S.XLS	🖲 D013S.XLS	🕙 D030S.XLS	🕙 D080S.XLS	🖲 E080S.XLS
		C052S.XLS	🖲 D014S.XLS	🖲 D032S.XLS	🖲 D082S.XLS	🖲 E090S.XLS
		🖲 C060S.XLS	🖲 D015S.XLS	🕙 D033S.XLS	🖲 D083S.XLS	E100S.XLS
		🖲 C061S.XLS	D016S.XLS	🖲 D040S.XLS	🖲 D090S.XLS	🖲 E101S.XLS
		C070S.XLS	🖲 D017S.XLS	D042S.XLS	🖲 D100S.XLS	E110S.XLS
		🖲 C071S.XLS	🕙 D019S.XLS	D043S.XLS	🖲 D110S.XLS	E120S.XLS
		🖲 C080S.XLS	D020S.XLS	🖲 D050S.XLS	D120S.XLS	🖲 E130S.XLS
		C090S.XLS	D021S.XLS	D052S.XLS	E010S.XLS	E140S.XLS
		🖲 C100S.XLS	D022S.XLS	🕙 D053S.XLS	🖲 E020S.XLS	🖲 E150S.XLS
		🖲 C110S.XLS	D023S.XLS	🗟 D060S.XLS	🖲 E030S.XLS	E160S.XLS
		D01AS.XLS	D024S.XLS	D062S.XLS	🖲 E040S.XLS	E170S.XLS

図 3-14 mdb ファイルの内容(例) および新規シート

# (1) m d b ファイルより工種毎に EXCEL ファイルに出力を行う(照合用データファイル)

例) E010 防護柵基本. XLS

! 🛄 ファイル(E) 編集(E) 表示	<(⊻) 挿入(I)	) 書式( <u>O</u> )	レコー	ド( <u>R</u> ) ツー	·ル(I) ウ·	インド	⇒( <u>₩)</u> へい	7( <u>H</u> )								質問を.	人力してください	
i 🔟 📲 🛄 📑 🔍 🐡 i 🐰	Da (B.) 19	🧶   ĝ↓	<b>Z↓   ∛</b> y	1	3   🜬 🗚	<b>6</b> 8	a - I 🕜 📮											
整理番号	処理区分	· エラーフラグ	地建C	事務所C	出張所の	路線	現旧区分C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	地建	事務所	出張所	補助番号	現旧区分	市区町村C	市区町村	検査数字
812445022910175070000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01750700	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	Pİ *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
81244502291017510000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01751000	0000	0000	北海沪	小樽開発:	岩内道路事務	P) *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
81244502291017607000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01760700	0000	0000	北海沪	小樽開発:	岩内道路事務	P) *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
81244502291017610000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01761000	0000	0000	北海道	小樽開発:	岩内道路事務	月 *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
812445022910176170000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01761700	0000	0000	北海道	小樽開資:	岩内道路事務	月 *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
812445022910176200000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01762000	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	P) *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
812445022910176250000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01762500	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	PI *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
812445022910176300000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01763000	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	P) *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
812445022910176330000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01763300	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	PI *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
81244502291017635000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01763500	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	PI *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
81244502291017636000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01763600	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	P) *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
812445022910177000000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01770000	0000	0000	北海沪	小樽開発:	岩内道路事務	P) *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	0
812445022910179000000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01790000	0000	0000	北海道	小樽開発:	岩内道路事務	月 *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	0
81244502291017930000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01793000	0000	0000	北海道	小樽開発:	岩内道路事務	月 *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
81244502291017950000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01795000	0000	0000	北海河	小樽開発:	岩内道路事務	月 *	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#

# (2) 新規シート内の同一工種ファイルを開く

例) E010S. XLS

- 4	B	D	E	F	G	H	I	J	K	0	Q	U	V	W	X	A.A.	AB	AC	AE	AG	AI	AK	AM	AO	AP
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別C	設置 区分 C	設置 目的 C	材質 C	欄高	設置延長
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									

新規シートは不必要な項目(整備保留項目)およびデコードされた項目は非表示となっており、 データ照合がやりやすくなっている。

## (3) (1)で作成した登録済データを(2)の新規シートにコピーする

例) E010 防護柵基本. XLS

A A	B	C	D	E	- F	G	H	1	J	K	L	M	N	0	P	Q	R	S
<ol> <li>整理番号</li> </ol>	処理区分	エラーフラグ	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	地建	事務所	出張所	補助番号	現旧区分	市区町村C	市区町村	検査数字
3416 812445022910175070000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01750700	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3417 81244502291017510000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01751000	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3418 812445022910176070000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01760700	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3419 81244502291017610000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01761000	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3420 81244502291017617000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01761700	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3421 81244502291017620000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01762000	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3422 812445022910176250000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01762500	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3423 81244502291017630000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01763000	0000	0000	北海道	小樽閒発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3424 812445022910176880000000000	#	#	81	24	45	0229	1	01763300	0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3425 81244502291017635000000000	#	#							0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3426 81244502291017636000000000	#	#							0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3427 812445022910177000000000000	#	#	_		nt	1924			0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	70
3428 812445022910179000000000000	#	#	- 3	ニフ・ー		7551	K9 9		0000	0000	北海道	小樽開発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	70
3429 81244502291017930000000000	#	#							0000	0000	北海道	小樽閒発	岩内道路事務所	*	現道	01401	北海道岩内郡共和町	#
3430 91944509991017050000000000	#	#							0000	0000	北海浦	小樟開窓	岩内诸路事務所	*	相请	01401	北海道岩内郡共和町	#

(4) 照合用__登録済データファイル

例) E010S. XLS

	В	D	E	F	G	Н	Ι	J	K	0	Q	U	V	W	Х	AA	AB	AC	AE	AG	AI	AK	AM	AO	AP
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別C	設置 区分 C	設置 目的 C	材質 C	柵高	設置延長
2	#	81	24	45	0229	1	01750700	0000	0000	*	01401	92.1	35	92.1	96	?	*	2	7	B43	1	14	1	1.15	61.0
3	#	81	24	45	0229	1	01751000	0000	0000	*	01401	92.1	96	92.2	49	415	*	2	7	B44	1	14	1	1.15	53.5
4	#	81	24	45	0229	1	01760700	0000	0000	*	01401	92.2	48	92.2	83	415	*	1	1	A11	1	11	1	0.70	35.0
5	#	81	24	45	0229	1	01761000	0000	0000	*	01401	92.2	47	92.2	58	?	*	2	7	B44	1	14	1	1.15	11.0
6	#	81	24	45	0229	1	01761700	0000	0000	*	01401	92.2	73	92.2	90	415	*	2	1	A11	1	11	1	0.70	17.0
7	#	81	24	45	0229	1	01762000	0000	0000	*	01401	92.2	99	92.3	15	415	*	2	1	A11	1	11	1	0.70	16.0
8	#	81	24	45	້ 0229	1	01762500	0000	0000	*	01401	92.3	13	92.4	8	415	*	2	1	A14	1	11	1	0.87	95.7
9	#	81	24	45	0229	1 🚸	01763000	0000	0000	*	01401	92.3	98	92.4	5	415	*	2	1	B81	1	11	1	0.70	7.0
10	#	81	24	45	0229	1	01763300	0000	0000	*	01401	92.4	5	92.4	8	415	*	2	1	B81	1	11	1	0.70	3.0
11	#	81	24	45	0229	1	0176:						17	92.5	72	?	*	1	4	B91	1	11	1	0.90	154.5
						-		シー	トに	出り	付け	3			1	1				1					

#### 3.2. 道路施設データ(数値文字データ)の作成 (ステップI)

3.1. で変換された「道路施設基本データ」を「照合用_登録済データ」に挿入するとともに、以下 に示す事項について確認・補完作業を行う。

確認事項

- ▶ 位置図の旗上げされた施設位置は妥当か(路線・現旧・距離標・上下 等)
- ▶ 施設のデータ区分は妥当か(新設・改良・撤去)
- ▶ 作成工種は妥当か(横断BOXを道路BOX 等)
- ▶ 作成単位は妥当か(複数施設をまとめて作成 等)
- ▶ 未入力の項目はないか(ブランク)
- > 入力値は妥当か(数値項目に文字が入力、コード表以外のコードを使用等)

データ区分	1.	新設	(新しく施設が設置された場合)
	2.	改良	(既存施設に対し、改良および補修等を行った時)
	3.	撤去	(既存施設をとり除いた場合)

また、道路施設基本データには、工事受注者が作成できない項目(データ)および工種(施設) があるので、道路施設データの作成時に、適切に補完・追加する必要がある。

表 3-2 に補完・追加する工種および項目を示す。

上記の確認・補完・追加をした後、データ区分を適切な処理区分(S・C・D)に変更した後に 不要な行を削除し、道路施設データ(数値文字データ)として保存する。

施設番号	項目名	施設番号	項目名	施設番号	項目名	施設番号	項目名	施設番号	項目名	施設番号	項目名
CO31	百米標	C090	検査数字	D019	分割区分C	D040	トンネルコード	E080	施設完成年度	E211	供用延長
	距离推		重用延長	D01A	橋梁コード		施設完成年度		施設改修年度		占用許可年月日
	曲り区分C		未供用延長		分割区分C		施設改修年度	E090	施設完成年度	E220	施設完成年度
C052	補修年月		重用自步道設置延長	D020	橋梁コード		交通量		施設改修年度		施設改修年度
	百米標自	C100	施設完成年度		施設完成年度		検査数字自	E100	施設完成年度	E221	占用延長
	距離自		施設改修年度		施設改修年度		検査数字至		施設改修年度		占用許可年月日
	百米標至	C110	施設完成年度		起点側検査数字		他域市区町村C	E110	施設完成年度	E230	施設完成年度
	距離至		施設改修年度		終点側検査数字		他域検査数字		施設改修年度		施設改修年度
	上り下り区分C	D010	橋梁コード		他域橋長		車道幅	E120	施設完成年度	E240	施設完成年度
	延長		施設完成年度		起終点区分C		歩道等幅		施設改修年度		施設改修年度
	補修厚		施設改修年度		橋梁接続起点側市区町村C		縦断勾配符号C	E130	施設完成年度	E250	施設完成年度
	補修内容C		起点側検査数字		橋梁接続起点側橋梁種別C	D042	トンネルコード		施設改修年度		施設改修年度
C060	施設完成年度		終点側検査数字		橋梁接続起点側出張所	D043	トンネルコード	E140	施設完成年度	E270	施設完成年度
	施設改修年度		他域橋長		橋梁接続起点側橋梁コード	D050	施設完成年度		施設改修年度		施設改修年度
	従道路数		起終点区分C		橋梁接続起点側分割番号		施設改修年度	E150	施設完成年度	E330	起点側端局接続箱番号
	枝数		橋梁接続起点側市区町村C		橋梁接続終点側市区町村C		道路幅		施設改修年度		終点側端局接続箱番号
	枝番号		橋梁接続起点側橋梁種別C		橋梁接続終点側橋梁種別C		車道幅	E160	施設完成年度	E334	端局製造者名
CO61	枝番号		橋梁接続起点側出張所		橋梁接続終点側出張所		歩道幅		施設改修年度	E350	施設完成年度
	道路幅員		橋梁接続起点側橋梁コード		橋梁接続終点側橋梁コード	D060	施設完成年度	E170	施設完成年度		施設改修年度
	車線数		橋梁接続起点側分割番号		橋梁接続終点側分割番号		施設改修年度		施設改修年度		
	路線名称		橋梁接続終点側市区町村C	D021	橋梁コード		道路幅		関連施設整理番号		
	枝番1		橋梁接続終点側橋梁種別C		分割区分C		車道幅	E180	施設完成年度		
	枝番2		橋梁接続終点側出張所	D022	橋梁コード		歩道幅		施設改修年度		
C070	施設完成年度		橋梁接続終点側橋梁コード		分割区分C	D070	施設完成年度		関連施設整理番号		
	施設改修年度		橋梁接続終点側分割番号	D023	橋梁コード		施設改修年度	E190	施設完成年度		
	延長	D011	橋梁コード		分割区分C	D080	施設完成年度		施設改修年度		
	起点側対道路幅員差符号C		分割区分C	D024	橋梁コード		施設改修年度	E200	施設完成年度		
	終点側対道路幅員差符号C	D012	橋梁コード		分割区分C		道路部		施設改修年度		
	交差角度		分割区分C	D025	橋梁コード		縦断勾配符号C	E210	施設完成年度		
	起点側道路勾配符号C	D013	橋梁コード		分割区分C	D090	施設完成年度		施設改修年度		
	終点側道路勾配符号C		分割区分C	D026	橋梁コード		施設改修年度		指定告示延長		
	起点左側見通し距離C	D014	橋梁コード		分割区分C	D110	施設改修年度		建設告示延長		
	起点右側見通し距離C		分割区分C	D027	橋梁コード	D120	施設完成年度		事業化延長		
	終点左側見通し距離C	D015	橋梁コード		分割区分C		施設改修年度		換算完成延長		
	終点右側見通し距離C		分割区分C		構造体番号	E010	施設完成年度		本体完成延長		
	市区町村至C	D016	橋梁コード	D029	橋梁コード		施設改修年度		供用延長		
C080	検査数字		分割区分C		分割区分C		関連施設整理番号		道路事業費		
	路線分割番号	D017	橋梁コード	D02A	橋梁コード	E040	施設完成年度		附帯事業費		
	沿道状況区分C		分割区分C		分割区分C		施設改修年度	E211	負担金		
	施設完成年度		構造体番号	D030	施設完成年度	E070	施設完成年度		参加延長		
	施設改修年度	D019	橋梁コード		施設改修年度		施設改修年度		占用延長		

# 表 3-2. 道路施設データ作成時に補完・追加する工種および項目

## 3.2.1. 新規(S) データの作成

平面図および現況写真を利用して、データの確認および補完作業を行う。

(1) 新規(S) データの作成例(1)

### 1) 照合用__登録済データに変換した道路施設基本データを挿入

例) E010S. XLS(防護柵)

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助	市区町 村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別 C	設置 区分 C
#	81	24	45	0229	1	01795000	0000	0000	*	01401	94. 1	13	94. 1	63	?	*	2	7	B43	1
#	81	24	45	0229	1	01800000	0000	0000	*	01401	94. 1	51	94. 1	64	?	*	1	9	B82	1
#	81	24	45	0229	1	01800010	0000	0000	*	01401	94. 1	69	94. 1	76	?	*	1	9	B82	1
#	81	24	45	0229	1	01800020	0000	0000	*	01401	94. 1	84	94. 2	9	?	*	1	9	B82	1
S	0	0	0	0229	1	20130001			*	01401	95.3	61	95.3	70	2013	*	2	1	B81	1
#	81	24	45	0229	1	01800050	0000	0000	*	01402	99.0	60	99.0	63	404	*	1	7	B44	1
#	81	24	45	0229	1	01800060	0000	0000	*	01402	99.0	63	99.0	69	404	*	1	7	B44	1

路線・現旧区分・距離標等より適切な箇所にデータを挿入する

#### 2) 挿入した道路施設基本データの補完

[※] 挿入した道路施設基本データの内容は完成図書・現況写真等を参考に確認し、間違って作成されている場合には、正しいデータに修正を行うとともに、未入力等(ブランク・#)項目についても補完を行う。



処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	市区町 村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別 C	設置 区分 C
#	81	24	45	0229	1	01795000	0000	0000	*	01401	94. 1	13	94. 1	63	?	*	2	1	B43	1
#	81	24	45	0229	1	01800000	0000	0000	*	01401	94. 1	51	94. 1	64	?	*	1	9	B82	1
#	81	24	45	0229	1	01800010	0000	0000	*	01401	94. 1	69	94. 1	76	?	*	1	9	B82	1
#	81	24	45	0229	1	01800020	0000	0000	*	01401	94. 1 V	84	94. 2	9	?	*	1	9	B82	1
S	81	24	45	0229	1	01800030	0000	0000	*	01401	95.3	61	95.3	70	425	*	2	1	B81	1
#	81	24	45	0229	1	01800050	0000	0000	*	01402	99.0	60	99.0	63	404	*	1	7	B44	1
#	81	24	45	0229	1	01800060	0000	0000	*	01402	99.0	63	99.0	69	404	*	1	7	B44	1

必要な箇所を補完・補正する 整理番号1は前後の登録済データより判断し、重複しない番号を付与する

図 3-15. 確認作業のイメージ(例)

## 3) 不必要なデータの削除および保存

- (2) 新規(S) データの作成例(2)
- 1) 照合用__登録済データに変換した道路施設基本データを挿入
  - 例) D120S. XLS (擁壁)

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	百米棵自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	完成年月	上り下 り区分 C	設置区 分C	構造形 式 C
#	81	21	42	0230	1	00590000	0000	0000	*	21.0	67	21.0	73	418	*	200702	1	1	99
#	81	21	42	0230	1	00591000	0000	0000	*	21.2	25	21.2	65	418	*	200702	2	2	11
#	81	21	42	0230	1	00600000	0000	0000	*	21.5	80	21.6	59	?	*	?	1	1	12
S	0	0	0	0230	1	1068-005	0000	0000	*	23.0	40	23.0	48	#	#	#	1	9	24
#	81	21	42	0230	1	00610000	0000	0000	*	23.4	56	23.4	96	?	*	?	2	2	12
#	81	21	42	0230	1	00610020	0000	0000	*	23.4	96	23.6	12	?	*	?	2	2	11
#	81	21	42	0230	1	00620000	0000	0000	*	24.6	98	24. 7	24	?	*	?	1	2	12





## 2) 挿入した道路施設基本データの補完

※ 挿入した道路施設基本データの内容は完成図書・現況写真等を参考に確認し、間違って作成されている場合には、正しいデータに修正を行うとともに、未入力等(ブランク・#)項目についても補完を行う。



図 3-16. 確認作業のイメージ(例)

(AE) 設置区分C:◆
 擁壁の設置区分について、該当するコードを記入する。
 区 分 コード
 背面が盛土の場合の擁壁 1
 背面が切土の場合の擁壁 2
 橋梁(高架橋)の取付用擁壁 3
 その他 9

※作成マニュアル(項目別記入要領集) 道路施設データ編より抜粋

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助書号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	完成年月	上り下 り区分 C	設置区 分C	構造形 式 C
#	81	21	42	0230	1	00590000	0000	0000	*	21.0	67	21.0	73	418	*	200702	1	1	99
#	81	21	42	0230	1	00591000	0000	0000	*	21.2	25	21.2	65	418	*	200702	2	2	11
#	81	21	42	0230	1	00600000	0000	0000	*	21.5	80	21.6	59	?	*	?	1	1	12
S	81	21	42	0230	1	00605000	0000	0000	*	23.0	40	23.0	48	425	*	201402	1	3	24
#	81	21	42	0230	1	00610000	0000	0000	*	23.4	56	23.4	96	?	*	?	2	2	12
#	81	21	42	0230	1	00610020	0000	0000	*	23.4	96	23.6	12	?	*	?	2	2	11
#	81	21	42	0230	1	00620000	0000	0000	*	24.6	98	24. 7	24	?	*	?	1	2	12
	•				箇所を補 号1は前	完・補正する 後の登録済っ	データより判	断し、重複	しない	、番号を付	与する							•	

3) 不必要なデータの削除および保存

# 3.2.2. 修正(C)データの作成

道路施設基本データが改良(修正)データとして作成されている場合は、登録済データとの比較 を行い、状況によっては登録済データの分割・結合・削除等を行う。

改良とは既存施設(登録済)施設に対して何らかの変更が行われたものであるが、諸事情により 既存施設が登録済データに存在しない場合がある。この場合は、改良データから新規データに変更 し、新たに施設として追加する。

以下に事例を示す。

#### (1) 橋梁の補修を行った場合

橋梁・トンネル等の補修の場合、「道路施設基本データ」では「D010橋梁基本」もしくは「D040 トンネル基本」のデータ作成が必須であり、各基本の諸元データが改良(修正)にて作成されて いる。

しかし、実際には工事内容に関係ない項目まで作成されている場合が多々みられるため、登録 済施設の内容と工事内容を比較し、変更された内容のみ登録済データに反映させるものとする。 補修歴等は新規に追加する。



図 3-17. 橋梁補修歴データ(例)



図 3-18. 橋梁位置図(例)

# 1) 位置図から路線・距離標等を確認し照合用__登録済データへ道路施設基本データを挿入

位置図の距離標、橋梁名等を確認し該当する箇所に基本データを挿入するとともに、完成図 書等より必要な資料を抽出する。

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助	橋梁 コード	分割 区分 C	施設完 成年度	施設改 修年度	名称	構業 種別 C	横梁 区分 C	架設竣 工年	等数 C	適用示 方書 C	栽径間 数	
#	81	24	42	0005	1	00521	0000	0000	*	0052	0	338	421	大江橋	1	1	1963	1	112	3	
#	81	24	42	0005	1	00531	0000	0000	*	0053	0	338	414	仁木跨線橋	2	1	1963	1	112	1	
С	0	0	0	0005	1	1034-002	0000	0000	*		0			種川橋	1	1	1973	1	113	2	
ŧ	81	24	42	0005	1	0054	0000	0000	*	0054	0	348	*	種川橋	1	1	1973	1	113	2	1
#	81	24	42	0005	1	38291	0000	0000	*	3829	0	337	*	中の川橋	1	1	1962	1	112	1	1

処理 区分	百米標自	距離自	百米標至	距離至	横長	橋面積	平面形 状 C	最小半径	縱斷勾配	落下物 防止柵 高さ	落下物 防止柵 延長	道音 壁有 集 C	道光 壁有 無 C	踏掛 版有 無 C	点検 施設 C	排水 施設 C	床版防 水種別 C	床版防 水範囲 C	床版防 水面積	水平震度
#	209.8	98	210.0	25	126.80	887.6	2	*	?	*	*	0	0	0	0	1	?	?	?	0.15
#	217.3	19	217.3	35	16.00	200.6	2	*	0.000	1.20	16.00	0	0	1	0	1	1	9	217.0	0.17
С	220.3	48	220.3	86	37.80	567.0	2	*	3.000	*	*	*	*	1	0	1	?	?	?	0.17
#	220.3	48	220.3	86	37.80	567.0	2	*	3.000	*	*	0	0	1	0	1	?	?	?	0.17
#	222.2	91	222.3	2	11.40	108.3	1	*	?	*	*	0	0	0	0	1	?	?	?	0.16



図 3-19. 完成図面 (例)

#### 2) 補修図面の確認と変更内容の補完

今回の場合、橋面防水工を施工したが、基本データではその内容が反映されていないこと が確認されたため、完成図面よりデータを補完した。

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	<b>整理番号</b> 1	整理番号 2	整理書号 3	補助	橋梁 コード	分割 区分 C	施設完 成年度	施設改 修年度	名称	橋梁 種別 C	橋梁 区分 C	架設竣 工年	等級 C	適用示 方書 C	栽径間 数
#	81	24	42	0005	1	00521	0000	0000	*	0052	0	338	421	大江橋	1	1	1963	1	112	3
#	81	24	42	0005	1	00531	0000	0000	*	0053	0	338	414	仁木跨線橋	2	1	1963	1	112	1
С	0	0	0	0005	1	1034-002	0000	0000	*		0			種川橋	1	1	1973	1	113	2
С	81	24	42	0005	1	0054	0000	0000	*	0054	0	348	425	種川橋	1	1	1973	1	113	2
#	81	24	42	0005	1	38291	0000	0000	*	3829	0	337	*	中の川橋	1	1	1962	1	112	1

処理 区分	百米標自	距離自	百米標至	距離至	補長	橋面積	平面形 状C	最小半径	縱斷勾配	幕下物 防止柵 高さ	落下物 防止柵 延長	速音 壁有 無 C	違光 壁有 無 C	踏掛 版有 無 C	点検 施設 C	排水 施設 C	床版防 水種別 C	床版防 水範囲 C	床版防 水面積	水平震度
#	209.8	98	210.0	25	126.80	887.6	2	*	?	*	*	0	0	0	0	1	?	?	?	0.15
#	217.3	19	217.3	35	16.00	200.6	2	*	0.000	1.20	16.00	0	0	1	0	1	1	9	217.0	0.17
С	220. 3	48	220. 3	86	37.80	567.0	2	*	3.000	*	*	*	*	1	0	1	?	?	?	0.17
C	220.3	48	220. 3	86	37.80	567.0	2	*	3.000	*	*	0	0	1	0	1	1	1	567.0	0.17
#	222.2	91	222.3	2	11.40	108.3	1	*	?	*	*	0	0	0	0	1	? 🔨	?	?	0.16



床板防水の 内容を補完 した

※作成マニュアル(項目別記入要領集) 道路施設データ編より抜粋

#### 3) 不必要なデータの削除および保存

処理区分S・C・D以外の不要な行は削除し、保存する。

#### 4) 補修歴(D01A) データの挿入

上記の親データ(D010橋梁基本)の整理番号1に着目し、子データ(D01A橋梁補修歴)を挿入し、内容の確認を行う。

今回の場合、2種類の補修改良(舗装(その他)全体オーバーレイ(コード1102)と床版(その他)(コード1200)が行われ、かつ橋梁が2径間であるため、それぞれの補修改良に対して径間毎の計4件のデータ作成が必要となる。

しかし、補修歴のデータは補修改良に対して1件ずつしか作成されておらず、しかも、「径間 または躯体番号」が「*」となっており、どの位置の補修であるか不明となっている。

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助番号	橋梁 コード	分割区 分C	径間又 は躯体 番号	上下都 工区分 C	補修改良年 月日	補修改良 区分C	主な補 修改良 内容C	床版補修 補強面積	前回補 修年月 日	施工会社
#	81	24	42	0005	1	0054	0001	0000	*	0054	0	A1	2	19941121	1	1621	*	*	三陽建設工業(株)
#	81	24	42	0005	1	0054	0002	0000	*	0054	0	P1	2	19941121	1	1621	*	*	?
#	81	24	42	0005	1	0054	0003	0000	*	0054	0	A2	2	19941121	1	1621	*	*	?
#	81	24	42	0005	1	0054	0004	0000	*	0054	0	10	1	20031231	1	1300	*	*	都市開発(株)
#	81	24	42	0005	1	0054	0005	0000	*	0054	0	A1	2	20060331	1	1631	*	19941121	三陽・都市開発JV
#	81	24	42	0005	1	0054	0006	0000	*	0054	0	A2	2	20060331	1	1631	*	19941121	三陽・都市開発JV
S	0	0	0	0005	1	1034-002	0001	0000	*			*	1	20140325	1	1102	2570.0	*	*
S	0	0	0	0005	1	1034-002	0002	0000	*			*	1	20140325	1	1200	*	*	*
#	81	24	42	0005	1	00551	0001	0000	*	0055	0	11	1	19621231	2	2101	?	*	?
#	81	24	42	0005	1	00551	0002	0000	*	0055	0	11	1	19781231	1	1322	?	*	?
#	81	24	42	0005	1	00551	0003	0000	*	0055	0	12	1	19801231	2	2303	?	*	?

挿入は「整理番号1」の最後の行の下に行う

## 5) 子(D01A) データの追加作成および補完

完成図書より、適切なデータ作成単位にするとともに、内容を補完する。





## 6) 不必要なデータの削除および保存

## (2) 歩道を拡幅した場合

## 1) 照合用__登録済データへ道路施設基本データを挿入

例) C080S. XLS(歩道・自歩道)

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	市区町村 C	参道等 種別 C	形式C	百米棵自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	重分 設区 C	步道等延 長	曾寒地域 歩道延長	積雪地域 歩道延長	総幅員	有効幅員
#	81	21	46	0012	1	00090000	01228	3	14	104.2	57	104.2	74	419	*	1	12	17	17	17	3.00	2. 74
#	81	21	46	0012	1	00090100	01228	3	11	104.2	74	104.5	80	419	*	1	11	306	306	306	3.00	2.74
#	81	21	46	0012	1	00100000	01228	1	11	104.5	80	105.1	90	346	402	1	11	610	610	610	1.50	1.24
s				0012	1	20080100	01228	1	11	104.8	0	105.3	0			1	11	500	500	500	3.00	3.00
#	81	21	46	0012	1	00110000	01228	1	11	105.1	90	105.2	2	346	*	1	11	12	12	12	1.50	1.50
#	81	21	46	0012	1	00120000	01228	1	11	105.2	2	105.3	51	346	402	1	11	149	149	149	1.50	1.50
#	81	21	46	0012	1	00130000	01228	4	14	105.3	51	105.3	59	345	*	1	12	8	8	8	1.50	1.50

上り線の歩道を3.0mに拡幅(基本テータは新設で作成されている)

## 2) 登録済データと比較し適宜データを修正

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	臺理書号 1	市区町村 C	参道等 種別 C	形式C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 区分 C	步道等延 長	雷寒地域 步道延長	積雪地域 歩道延長	総幅員	有効幅員
#	81	21	46	0012	1	00090000	01228	3	14	104. 2	57	104. 2	74	419	*	1	12	17	17	17	3.00	2.74
#	81	21	46	0012	1	00090100	01228	3	11	104. 2	74	104.5	80	419	*	1	11	306	306	306	3.00	2.74
с	81	21	46	0012	1	00100000	01228	1	11	104. 5	80	104. 8	0	346	402	1	11	220	220	220	1.50	1.24
s				0012	1	20080100	01228	1	11	104. 8	0	105.3	0			1	11	500	500	500	3.00	3.00
D	81	21	46	0012	1	00110000	01228	1	11	105. 1	90	105.2	2	346	*	1	11	12	12	12	1.50	1.50
с	81	21	46	0012	1	00120000	01228	1	11	105. 3	0	105.3	51	346	402	1	11	51	51	51	1.50	1.50
#	81	21	46	0012	1	00130000	01228	4	14	105. 3	51	105. 3	59	345	*	1	12	8	8	8	1.50	1.50

登録済テータを適宜修正する(距離標・延長・幅員) 連続性を保つように距離標等に注意する

## 3) 整理番号1を付与し、必要箇所を補完

処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	市区町村 C	歩道等 種別 C	形式C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 区分 C	步道等延 長	曾寒地域 步道延長	積雪地域 歩道延長	総幅員	有効幅員
#	81	21	46	0012	1	00090000	01228	3	14	104. 2	57	104. 2	74	419	*	1	12	17	17	17	3.00	2. 74
#	81	21	46	0012	1	00090100	01228	3	11	104. 2	74	104.5	80	419	*	1	11	306	306	306	3.00	2. 74
с	81	21	46	0012	1	00100000	01228	1	11	104. 5	80	104. 8	0	346	402	1	11	220	220	220	1.50	1. 24
s				0012	1	20080100	01228	1	11	104.8	0	105. 3	0			1	11	500	500	500	3.00	3.00
s	81	21	46	0012	1	00105000	01228	1	11	104.8	0	105. 3	0	420	*	1	11	500	500	500	3. 00	3.00
D	81	21	46	0012	1	00110000	01228	1	11	105. 1	90	105. 2	2	346	*	1	11	12	12	12	1. 50	1.50
с	81	21	46	0012	1	00120000	01228	1	11	105.3	0	105.3	51	346	402	1	11	51	51	51	1.50	1.50
#	81	21	46	0012	1	00130000	01228	4	14	105.3	51	105.3	59	345	*	1	12	8	8	8	1. 50	1.50

整理番号」を前後の登録済テータより判断し、重複しない番号 を付与するとともに、必要箇所を補完する

## 4) 不必要なデータの削除および保存

#### 3.2.3. 削除(D)データの作成

工事によって既存施設を撤去した場合、削除「D」データが作成される。この場合には登録済デー タの中から、撤去された施設を特定し、処理区分に「D」を入力して削除データの作成を行う。

イメージデータ作成対象施設の場合には、必ず該当するイメージタイトルデータの削除「D」デー タの作成も行う。

#### (1) 照合用__登録済データに道路施設基本データを挿入

例) E010S. XLS(防護柵)

	所 C	所C	路線	医分	整理香号 1	整理番 号 2	整理書 号 3	補助書号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別 C	設置 区分 C	設置 目的 C	材賞 C	梧高	設置延長
# 81	21	45	0231	1	00374000	0000	0000	*	01235	57.6	25	57.6	29	412	*	2	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
# 81	21	45	0231	1	00378000	0000	0000	*	01235	57.7	94	57.7	98	412	*	2	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
# 81	21	45	0231	1	00380000	0000	0000	*	01235	57.7	99	57.9	47	?	409	2	1	A14	1	11	1	0.87	146.0
D O	0	0	0231	1	20130009			*	01235	57.8	52	57.8	56	#	#	1	1		1	99	1	#	4.0
# 81	21	45	0231	1	00388000	0000	0000	*	01235	57.8	52	57.8	56	412	*	1	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
# 81	21	45	0231	1	00390000	0000	0000	*	01235	57.8	57	57.9	31	?	*	1	1	B84	1	11	1	0.87	76.0
D 0	0	0	0231	1	20130010			*	01235	57.8	57	57.9	31	#	#	1	1		1	11	1	#	76.0
# 81	21	45	0231	1	00392000	0000	0000	*	01235	57.9	32	57.9	36	412	*	1	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
# 81	21	45	0231	1	00400000	0000	0000	*	01235	57.9	47	57.9	84	?	*	2	1	B84	1	11	1	0.87	37.0
# 81	21	45	0231	1	00408000	0000	0000	*	01235	57.9	56	57.9	60	412	*	1	1	B81	1	99	1	0.70	4.0

路線・現旧区分・距離標等より適切な箇所にテータを挿入する

#### (2) 登録済データと比較し該当データを特定し処理区分に「D」を入力

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理書 号 2	整理書 号 3	補助書号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別 C	設置 区分 C	製品の	舞っ	柵高	設置延長
#	81	21	45	0231	1	00374000	0000	0000	*	01235	57.6	25	57.6	29	412	*	2	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
#	81	21	45	0231	1	00378000	0000	0000	*	01235	57.7	94	57.7	98	412	*	2	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
#	81	21	45	0231	1	00380000	0000	0000	*	01235	57.7	99	57.9	47	?	409	2	1	A14	1	11	1	0.87	146.0
D	0	0	0	0231	1	20130009			*	01235	57.8	52	57.8	56	#	#	1	1		1	99	1	#	4.0
D	81	21	45	0231	1	00388000	0000	0000	*	01235	57.8	52	57.8	56	412	*	1	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
D	0	0	0	0231	1	20130010			*	01235	57.8	57	57.9	31	#	#	1	1		1	11	1	#	76.0
D	81	21	45	0231	1	00390000	0000	0000	*	01235	57.8	57	57.9	31	?	*	1	1	B84	1	11	1	0.87	76.0
#	81	21	45	0231	1	00392000	0000	0000	*	01235	57.9	32	57.9	36	412	*	1	1	B81	1	99	1	0.70	4.0
#	81	21	45	0231	1	00400000	0000	0000	*	01235	57.9	47	57.9	84	?	*	2	1	B84	1	11	1	0.87	37.0
#	81	21	45	0231	1	00408000	0000	0000	*	01235	57.9	56	57.9	60	412	*	1	1	B81	1	99	1	0.70	4.0

防護柵種別の特定はできないが、路線・現旧区分・距離標・上下区分・延長等より判断し登録済テータ を特定し、処理区分に「D」を入力

(3) イメージタイトルデータも特定し処理区分に「D」を入力(E011.XLS)

処理区 分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	臺理書号1	整理書号2	整理書号3	補助 番号	施設名称	図面種別C	表示出力順	図面名称	作成年月	図面サイズ	イメージ	ファイル名	図面媒体名称
#	81	21	45	0231	1	00378000	4210	0000	*	#	421	001	位置図	200212	A4		401supyz.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00378000	4240	0000	*	#	424	001	一般図	200212	A4		401supzo.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00378000	4350	0000	*	#	435	001	現況写真	200212	A4		401supf9.jpg	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00380000	4210	0000	*	大字尻苗村字	421	001	0	199812	A4		40rphfbh.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00380000	4230	0000	*	大字尻苗村字	423	001	0	199812	A4		40rphfc7.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00380000	4350	0000	*	大字尻苗村字	435	001	0	199812	A4		40rphf2q.jpg	SERVER
D	81	21	45	0231	1	00388000	4210	0000	*	#	421	001	位置図	200212	A4		401suqOt.tif	SERVER
D	81	21	45	0231	1	00388000	4240	0000	*	#	424	001	一般図	200212	A4		401suq1w.tif	SERVER
D	81	21	45	0231	1	00388000	4350	0000	*	#	435	001	現況写真	200212	A4		401supfn.jpg	SERVER
D	81	21	45	0231	1	00390000	4210	0000	*	大字尻苗村字	421	001	位置図	199912	A4		4003d95v.tif	SERVER
D	81	21	45	0231	1	00390000	4350	0000	*	大字尻苗村字	435	001	現況写真	960101	A4		E0113793.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00392000	4210	0000	*	#	421	001	位置図	200212	A4		401suq2w.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00392000	4240	0000	*	#	424	001	一般図	200212	A4		401suq3q.tif	SERVER
#	81	21	45	0231	1	00392000	4350	0000	*	#	435	001	現況写真	200212	A4		401supg0.jpg	SERVER
			_			•						•						

イメージテータ作成の対象施設では、数値・文字テータ(親)の施設が撤去「D」された場合は、イメージ タイトルテータ(子)も削除「D」テータを作成する

## (4) 不必要なデータの削除および保存

#### 3.2.4. 複数工事が関係する工事データの作成

橋梁やトンネルのように一つの施設として完成するまでに、複数の工事が関わっているデータでは、「D010橋梁基本」・「D040トンネル基本」等が工事分作成される。

施設としては1件のデータに取りまとめる必要があるため、必要な部分のデータを集約して1件 のデータとして完成させる。



・上2行が道路施設基本データ、3行目が集約した道路施設データ

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番号 2	整理書号 3	補助 番号	構築 ⊐ — ド	分割 区分 C	施設完 成年度	施設改 修年度	名称		樯梁 種別 ℃	橋梁 区分 C	架設竣 工年	等級 C	適用示 方書 C	栽径間 数	9
S	0	29	42	0238	3	20100001			*		0	2009	*	芭露橋	,	1	1	*	1	166	•	3
S	0	0	0	0238	3	20110001			*		0	#	*	芭露橋	1	1	1	2010	1	166	•	3
S	81	29	45	0238	1	841720	0000	0000	*	84172	0	422	*	芭露橋	1	1	1	2010	9	166		3
		参道 添架 C	<b>事業</b> 区分 ℃	百米標自	距離自	百米標至	距離至	横長	梢面積	₩ 平面形 状 C	₿ 最小 程	半載新配	勾 落下 防止 高さ	物 蒸下物 槽 防止槽 延長	速音 壁有 無 C	遮光 壁有 無 C	踏掛 版有 無 C	点検 施設 C	排水 施設 C	床版防 水種別 C	床版防 水範囲 C	床版防 水面和
_/		) · •	1	67.4	8	5 67.6	4	118.90	1272	2.22		*	*	* *	*	*	1	* 1	1	• * •		•
	0	)	1	67.4	8	5 67.6	4	118.90	1129	9.62		* 0.	400	* *	• 0	0	0	1 1	1	1		1129.
	C	)	1	67.4	8	5 67.6	4	118.90	1130	0.02		* 0.	400	* *	• 0	0	1	1 1	1	1		1129.

#### 3.2.5. 整備対象工事について

#### (1) 整備対象工事の判断

道路管理データベースにおけるデータ整備は、原則として前年度末までに供用した区間及び施 設に該当する工事の道路施設基本データが対象となる。



しかし、バイパス等の新規供用区間では、道路維持台帳附図(以下、附図という)が未作成によ り距離標を把握できないものが多く、道路施設データを暫定距離標(新規供用区間の接続する区 間との境界部距離標と工事測点により算出し暫定的に付与した距離標)のまま作成・登録すると、 距離標が確定した後に距離標の変更が必要となる。

このため、附図が未作成で距離標が確定していない区間の道路施設基本データは、基本的には 整備対象外とし、次年度以降の整備対象工事として申し送りするものとする。

但し、発注者との協議により附図未作成区間の道路施設基本データを整備する場合は、距離標 確定後にデータの修正漏れが生じないよう次年度への申し送り事項として整理しておくこと。

#### (2) 道路維持台帳附図未作成のため申し送りした工事への対応

申し送りした工事の道路施設基本データは、附図作成後に速やかに道路施設データが作成できるよう、別途、記憶媒体(DVD、HDD等)に分類・格納し、成果品と一部として納品する。

整理 ▼	ライブラリに追加 ▼	共有 ▼	書き込む	新し	JNフォルダー	
	퉬 99_その他			*	名前	種類
	] 00_開発建設部				Ъ △△路線対象工事	ファイル フォル
	] 21:札幌					ファイル フォル…
	] 23 : 函館					
	📗 24 : 小樽					
	퉲 25:旭川					
	📗 26:室蘭					
	📗 27:釧路					
	] 28:帯広					
	🕌 29 : 網走					
	🕌 30:留萌					
	퉲 31:稚内					

#### 図 3-20. 附図未作成のため申し送りした工事情報の格納例

## 3.2.6. 点検 DB の運用開始に伴う制約事項

更新用データを点検 DB に登録するにあたり、D030 横断歩道橋については、登録するファイルの仕様に関する制約事項が存在する。

このため、以下の制約事項を考慮して数値文字データを作成する必要がある。

D030 横断歩道橋については以下のファイル名とする。(「xxx」は任意)

- D030xxx.csv
- D031xxx.csv
- D032xxx.csv
- D033xxx.csv

#### 3.3. 道路施設データ(イメージデータ)の作成 (ステップⅡ)

イメージデータとは、道路施設一般図等の「図面類」および「現況写真」のことであり、基本的 には新設された施設について作成されるものである。

<個人情報のマスキング>

点検 DB にデータ登録するイメージデータにおいては、以下の個人情報が含まれていないか確認 する。

・図面類:個人の氏名

・現況写真:人物の顔写真、自動車のナンバープレート

個人情報が含まれている場合は、該当ファイルを「Photoshop Elements」などの画像編集ソフト で開いて個人情報のマスキングを行い、JPEG 形式で保存する。

#### <イメージデータの作成概要>

工事受注者が作成したイメージデータは、下記に示す「S_DRAW」フォルダ内に図面類、「S_PHOTO」 フォルダ内に現況写真が格納され、JPEG 形式もしくは SXF(P21)形式で提出されている。P21形式 の場合は JPEG 形式に変換を行い、また、同一施設のイメージデータが複数枚ある場合は確認しや すい方を選択する。



図 3-21. イメージデータ格納(例)

工事によっては既存施設の部分的改良・補修等についてイメージデータが作成されている場合が ある。特に、橋梁の落橋防止装置等を設置した場合、施工した箇所分、同じような写真や一般図が 作成されていることがある。イメージデータの登録枚数が増えると、サーバの容量等に影響がある ため、不必要なイメージデータの作成は行わない。上記のような場合は、代表する1箇所のイメー ジデータのみ作成する等、工夫する。

#### <確認事項>

- ▶ 図面類の内容は対応する施設のものか?
- ▶ 文字がつぶれて判別できないなど問題ないか?
- ▶ 写真の内容は対応する施設のものか?
- ▶ ピンボケ・ブレなど、問題はないか?
- ▶ 所定の仕様で作成されているか?
- ▶ 個人情報はマスキングされているか?

工種	工话夕	イメージ		
⊐–ト [*]	工作石	一般図	現況写真	
C062	道路交差点図面類	0	0	
C072	鉄道交差点図面類	0	0	
D018	橋梁図面類	0	0	
D028	橋側歩道橋図面類	0	0	
D031	横断步道橋図面類	0	0	
D041	トンネル図面類	0	0	
D051	洞門図面類	0	0	
D061	スノーシェッド図面類	0	0	
D071	地下横断歩道図面類	0	0	
D081	道路BOX図面類	0	0	
D091	横断BOX図面類	0	0	
D101	パイプカルバート図面類	0	0	
D119	のり面図面類	0	0	
D121	擁壁図面類	0	0	
E011	防護柵図面類	0	0	
E041	自光式視線誘導図面類	0	0	
E071	交通遮断機図面類	0	0	
E081	ITV図面類	0	0	
E091	車両感知器図面類	0	0	

表 3-3. イメージデータ作成対象工種

工種	て種々	イメージデータ			
コート゛	上裡石	一般図	現況写真		
E102	車両計測図面類	0	0		
E111	気象観測図面類	0	0		
E121	災害予知図面類	0	0		
E131	自動車駐車場図面類	0	0		
E141	自転車駐車場図面類	0	0		
E151	雪崩防止図面類	0	0		
E161	落石防止図面類	0	0		
E171	消雪パイプ図面類	0	0		
E181	ロードヒーティング図面類	0	0		
E192	除雪ST図面類	0	0		
E202	防災備蓄図面類	0	0		
E212	共同溝図面類	0	0		
E222	CAB電線共同溝図面類	0	0		
E232	植栽図面類	0	0		
E242	遮音施設図面類	0	0		
E251	遮光フェンス図面類	0	0		
E332	光ケーブル図面類	0	0		
E335	光ケーブル端局図面類	0	0		
E351	ビーコン図面類	0	0		

## (1) 図面類(道路施設一般図)の作成(例)

余分な記載を削除し、大きさ・解像度を所定のサイズに変換する。 変換は、ペイントソフト、Photoshop 等の画像編集ソフトを使い、画像の範囲や容量の調整、等 の処理を行う。



図 3-22. 一般図作成例

## (2) 現況写真の作成(例)

大きさ・解像度を調整し所定のサイズに変換する。



図 3-23. 現況写真作成例

○イメージデータのファイル名の付け方(北海道開発局ファイル命名規則)

作成したイメージデータは下記に示す、ファイル命名規則に設定し、「ファイル名」は開建内 で重複しないように付与する。

<u>XX 99 z 999</u>. JPG (8桁+拡張子)

1 2 3 4 5

- ① 1~2桁目:工種番号(表参照)
- ② 3~4桁目:作成年度(西暦の下2桁)
- ③ 5桁目 :「z」(固定)
- ④ 6~8桁目:1~5桁目ごとの「001」からの連番
- ⑤ 9~12桁目:「.jpg」(固定値)

エ種 コート	工種名	工種 番号
C062	道路交差点図面類	05
C072	鉄道交差点図面類	06
D018	橋梁図面類	2A
D028	橋側歩道橋図面類	2B
D031	横断歩道橋図面類	2C
D041	トンネル図面類	2D
D051	洞門図面類	2E
D061	スノーシェッド図面類	2F
D071	地下横断歩道図面類	32
D081	道路BOX図面類	33
D091	横断BOX図面類	34
D101	パイプカルバート図面類	35
D119	のり面図面類	36

表 3-4. イメージデータの工種番号

工種 コート [*]	工種名	工種 番号
D121	擁壁図面類	37
E011	防護柵図面類	4A
E041	自光式視線誘導図面類	4B
E071	交通遮断機図面類	4C
E081	ITV図面類	5A
E091	車両感知器図面類	5B
E102	車両計測図面類	5C
E111	気象観測図面類	5D
E121	災害予知図面類	5E
E131	自動車駐車場図面類	5F
E141	自転車駐車場図面類	64
E151	雪崩防止図面類	65
E161	落石防止図面類	66

エ種 コート	工種名	工種 番号
E171	消雪パイプ図面類	67
E181	ロードヒーティング図面類	68
E192	除雪ST図面類	69
E202	防災備蓄図面類	6A
E212	共同溝図面類	6B
E222	CAB電線共同溝図面類	6C
E232	植栽図面類	6D
E242	遮音施設図面類	6E
E251	遮光フェンス図面類	6F
E332	光ケーブル図面類	74
E335	光ケーブル端局図面類	75
E351	ビーコン図面類	76

## (3) 図面サイズの大きな図面の分割例

道路管理データベースでは A4 サイズによる出力を前提としているため、大きな図面等のデ ータでは、記載される数値・文字の判別が難しくなる場合がある。その場合は以下のように図 面を分割してイメージデータを作成する。



図 3-24. 図面分割イメージ作成例

#### (4) CADデータの変換

工事受注者が作成した道路施設基本データにおいて、一般図が CAD ファイル (SXF (P21) 形式) で提出されている場合、道路管理データベースに登録可能な JPEG 形式に変換を行う。

【ポイント】

- 図面(CADデータ変換)に関してはフルカラーではなく「白黒2階調」とし、A4横サイズ でプリントした時に見やすい線の太さになるよう、「CAD 製図基準」(平成28年3月 国交省) 等を参考に設定を行う。
  - ※ CAD 図面は赤や緑、黄色の線が使われている。フルカラーで JPEG に変換した場合、特に黄色の線の視認性 が極めて悪いため、CAD 図面⇒JPEG 変換は「白黒2階調」となるようする。

#### 【CAD データの変換方法についての例】

「DWG」→「PDF」→「 jpg」 の順序で変換を行い、イメージデータの作成を行う。

①AutoCAD 画面より不必要な線などを消去し、旗揚げなどを行う。

②AutoCAD の印刷デバイスでプロッタの環境設定を Adobe PDF にして出力する。

・ファイルの種類は Adobe Acrobat 形式(*.PDF)とする。

③Adobe Acrobat 形式のファイルを開く。

④Adobe Acrobat 画面より名前を付けて保存する。

- ・ファイルの種類は JPEG 形式(*.JPG)とする。
- ・JPEG として保存の設定で容量の調整を行う。
- ・保存するときは白黒2階調に変換して保存する。





#### 図 3-25. CAD データ変換イメージ例

# (5) 複数枚の写真の結合

イメージデータの作成枚数が増えると、サーバ容量に影響してくるので、結合できる写真は 結合を行う。



図 3-26. 現況写真結合例(落石防止施設)

#### (6) 複数工事による図面・写真等の選別

同一施設の工事が複数工事に関係する場合、内容が重複する図面・写真等が作成されている 場合がある。その場合は、低品質のイメージデータを削除する。

以下に橋梁の下部工工事で作成された一般図と橋梁上部工工事で作成された一般図を比較し た例を示す。



図 3-27. 橋梁下部エエ事にて作成された一般図



図 3-28. 橋梁上部エエ事で作成された一般図

#### 3.4. イメージタイトルデータの作成 (ステップ皿)

図面、写真などのイメージデータに対し、道路管理データベースに登録する施設の<u>数値文字デー</u> タとの関連性を確認し、イメージタイトルデータ*の作成を行う。

※ イメージタイトルデータは、イメージデータ(位置図、写真等)を登録、出力する際のインデ ックスとなるデータであり、施設の数値文字データと関連付けるためのデータです。

イメージタイトルデータの作成にあたっては、イメージデータファイル毎に「整理番号」・「図面 種別」・「ファイル名」等のタイトル情報を入力し、イメージタイトルデータとイメージデータとの 整合性を確認する。

なお、イメージデータのファイル名は、北海道開発局用に、旧審査機関が設定していたファイル 命名規則に準拠して付与を行う。

イメージタイトルデータ作成内容を以下に示す。

No	項目名	入力内容等
		イメージタイトルデータの処理区分(S、C、D、R)
1	処理区分	※処理区分Rはイメージデータを削除せず、イメージタイトルデー
		タのキー情報を変更する際に利用(3.7.2(2)参照)
2	地建 C~整理番号1	親データの値を入力
3	整理番号2	「整理番号1」に対する連番を入力(次頁参照)
4	整理番号3	「0000」を入力
5	補助番号	「*」を入力
6	施設名称	重要構造物は施設の名称、その他は「空欄」
7	网云转叫了	平面図:422、標準断面図:423、一般図:424、交差点詳細図:426、
(	凶 団 種 別 し	現況写真:435 等
0	末二山土匠	「整理番号1」の中で、同様の「図面種別C」が有った場合、3桁の
0	衣小山刀順	連番を入力
9	図面名称	「空欄」または、名称がある場合は名称を入力
10	作成年月	タイトルデータ作成時の年月を入力「西暦4桁、月2桁」
11	図面サイズ	「A4」を入力
12	イメージ	「空欄」
13	ファイル名	イメージデータファイル名を入力(※ファイル名の付け方参照)
14	図面媒体名称	「SERVER」と入力

表 3-5. イメージタイトルデータの入力項目内容

○図面種別コード

図面種別	コード	備考	
位置図	421		
平面図	422		
標準断面図	423		
一般図	424		
舗装構成図	425		
交差点詳細図	426		
排水系統図	427		
正面図	428		
構造物詳細図	429		
情報可変内容一覧表	430		
システム系統図	431		
転送系統図	432		
井戸構造図	433		
地質柱状図	434		
現況写真	435		
	$436 \sim$	各地整で設定する	
	498		※作成マニュアル(共通編)
その他	499		(国交省) P. 24 より引用

表 3-6 図面種別コード

○イメージデータのファイル名の付け方(北海道開発局ファイル命名規則)

1~2桁目:工種番号(次表参照)

3~4桁目:作成年度(西暦の下2桁)

5 桁目 : 「z」(固定)

6~8桁目:1~5桁目ごとの「001」からの連番

9~12桁目:「.jpg」(固定值)

工種 コード	工種名	工種 番号	
C062	道路交差点図面類	05	
C072	鉄道交差点図面類	06	
D018	橋梁図面類	2A	
D028	橋側歩道橋図面類	2B	
D031	横断步道橋図面類	2C	
D041	トンネル図面類	2D	
D051	洞門図面類	2E	
D061	スノーシェッド図面類	2F	
D071	地下横断歩道図面類	32	
D081	道路BOX図面類	33	
D091	横断BOX図面類	34	I [
D101	パイプカルバート図面類	35	
D119	のり面図面類	36	

# 表 3-7. イメージデータの工種番号

工種 コート [*]	工種名	工種 番号
D121	擁壁図面類	37
E011	防護柵図面類	4A
E041	自光式視線誘導図面類	4B
E071	交通遮断機図面類	4C
E081	ITV図面類	5A
E091	車両感知器図面類	5B
E102	車両計測図面類	5C
E111	気象観測図面類	5D
E121	災害予知図面類	5E
E131	自動車駐車場図面類	5F
E141	自転車駐車場図面類	64
E151	雪崩防止図面類	65
E161	落石防止図面類	66

エ種 コート	工種名	工種 番号
E171	消雪パイプ図面類	67
E181	ロードヒーティング図面類	68
E192	除雪ST図面類	69
E202	防災備蓄図面類	6A
E212	共同溝図面類	6B
E222	CAB電線共同溝図面類	6C
E232	植栽図面類	6D
E242	遮音施設図面類	6E
E251	遮光フェンス図面類	6F
E332	光ケーブル図面類	74
E335	光ケーブル端局図面類	75
E351	ビーコン図面類	76

## ○整理番号2の付与について

北海道開発局では以下のように、整理番号2の付番方法が指定されている。

北海道開発局の整理番号2の付番方法は以下の通り。
1~3桁目:図面種別コード
4桁目 :表示出力順-1(表示出力順が「001」であれば「0」)
例)図面種別コードが「424」、表示出力順が「001」の場合は、「4240」
図面種別コードが「435」、表示出力順が「002」の場合は、「4351」

# (1) イメージタイトルデータの作成例

下図の方法にて、道路施設データの数値文字データとその施設に対するイメージデータを、工 事毎に関連付けるイメージタイトルデータを作成する。

【道路施設データ(数値文字データ)】

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号1	整理番号 2	整理番号 3	百米標	距離	上り下り 区分C	
s	81	26	43	0036	1	00543500	0000	0000	109.4	1	2	•

「地建 C」~「整理番号1」は、対応する道路施設データ(数
値文字データ)と連携するために必要な項目である。
そのため、「地建 C」~「整理番号1」は、対応する道路施設
データ(数値文字データ)より作成する。

【道路施設データ (タイトルデータ)】

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	理番号1 整理番号2	
S	81	26	43	0036	1	00543500	4350	0000

図面種別 C	図面種別	表示出力 順	図面名称	作成年月	図面サイ ズ	ファイル名	図面媒体 名称
435	現況写真	001	現況写真	201503	A4	4A14z103. JPG	SERVER
						4	



【イメージデータ】 (ファイル名:4A14z103. JPG)



図 3-29. イメージタイトルデータ作成例

# (2) イメージタイトルデータの作成例(2)

1 施設で複数枚のイメージデータが作成される場合のイメージタイトルデータの作成例を以下 に示す。





ファイル名:2A14z019.JPG

ファイル名: 2A14z020. JPG



									7									
処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号1	整理番号 2	***** 3	補助番号	施設名称	図面種 別C	表示出 力順	図面名称	作成年月	図面サイ ズ	イメージ	ファイル名	図面媒体 名称
s	81	26	42	0235	1	08610	4240	0000	*	静川橋	424	001		201503	A4		2A14z015. JPG	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08610	4241	0000	*	静川橋	424	002		201503	A4		2A14z016. JPG	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08610	4242	0000	*	静川橋	424	003		201503	A4		2A14z017. JPG	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08610	4350	0000	*	静川橋	435	001		201503	A4		2A14z018. JPG	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08610	4351	0000	*	静川橋	435	002		201503	A4		2A14z019. JPG	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08610	4352	0000	*	静川橋	435	003		201503	A4		2A14z020. JPG	SERVER

#### (3) イメージデータ・イメージタイトルデータの追加手順

イメージデータは、基本的には新設された施設について作成されるものであるが、既存施設の 構造が変わる場合(橋梁の補修や補強工事等)では図面および現況写真等の追加を行うことも想 定される。

この場合のイメージデータ・イメージタイトルデータの追加方法を以下に示す。

・○○橋補修工事の道路施設基本データにおいて、以下のような一般図・現況写真が作成されている場合



図 3-30 提供された道路施設基本データ(イメージデータ)

① 該当施設の登録済みイメージタイトルデータを確認する

処理 区分	地建 C	<del>事務</del> 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号1	整理番号 2	整理書号 3	補助 番号	施設名称	図面種 別C	表示出 力順	図面名称	作成年月	図面サ イズ	イメ— ジ	ファイル名	図面媒 体名称
#	81	26	42	0235	1	08312	4241	0000	*	苫東大橋(下り)	424	002	一般図	200012	A4		200qtba5.tif	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08312	4242	0000	*	苫東大橋(下り)	424	003	一般図	200012	A4		200qtbar.tif	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08312	4350	0000	*	苫東大橋(下り)	435	001	現況写真	200212	A4		201ugq9c.jpg	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08312	4351	0000	*	苫東大橋(下り)	435	002	現況写真	200212	A4		201ugq9q.jpg	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4210	0000	*	共和橋	421	001	位置図	200012	A4		200qtbcw.tif	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4240	0000	*	共和橋	424	001	一般図	200703	A4		2A06a02T.jpg	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4350	0000	*	共和橋	435	001	現況写真	200703	A4		2A06a02U.jpg	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4351	0000	*	共和橋	435	002	現況写真	201002	A4		2A09a006.jpg	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08330	4210	0000	*	浜厚真橋	421	001	1	200012	A4		200qtbdf.tif	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08330	4240	0000	*	浜厚真		/	<ul> <li></li> </ul>	·····	A4		202cv077.tif	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08330	4241	0000	*	_{浜厚} 一般図が 録されて	1枚、 いる	現況写	≩真が2枚 確認できん	登 5	A4		2A08a004.jpg	SERVER
												//						

#### 【D018:橋梁図面類】
処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	施設名称	図面種 別C	表示出 力順	國面名称	作成年月	図面サ イズ	イメー ジ	ファイル名	図面媒 体名称
#	81	26	42	0235	1	08320	4210	0000	*	共和橋	421	001	位置図	200012	A4		200qtbcw.tif	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4240	0000	*	共和橋	424	001	一般図	200703	A4		2A06a02T.jpg	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08320	4241	0000	*	共和橋	424	002	一般図	201703	A4		2A16z020. JPG	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4350	0000	*	共和橋	435	001	現況写真	200703	A4		2A06a02U.jpg	SERVER
#	81	26	42	0235	1	08320	4351	0000	*	共和橋	435	002	現況写真	201002	A4		2A09a006.jpg	SERVER
s	81	26	42	0235	1	08320	4352	0000	*	共和橋	435	003	現況写真	201703	A4		2A16z021. JPG	SERVER
			現	一般図 況写真	図で1 夏で1	は、整理 は、整理	番号 2 番号 2	とで「4 とを「4	241 352	」として、表示 」として、表示	⊼出力. ⊼出力!	順を 順を「	「002」とす 「003」とす	►る ►る			ファイル4 付与を行き	者の う

② 該当施設の図面種別毎に追加したいタイトルデータを作成する

③ イメージデータのファイル名を整合させる
 提出されたイメージデータを所定の仕様で作成しファイル名を付与する。

ファイル名: 2A16z020. JPG



ファイル名: 2A16z021. JPG

### 3.5. 道路施設データの結合 (ステップⅣ)

上記、ステップ I ~ステップ IIにて作成された工事毎(複数工事が関係する場合、施設毎。前述 3.2.4. 参照)のデータを、数値・文字データおよびイメージタイトルデータは同一工種ファイルに結合、ま たイメージデータは一つのフォルダ内に統合し、各データを開発建設部毎に統合する。



図 3-31. 道路施設データの結合イメージ

## ○ 結合時の注意ポイント

数値・文字データ

- ▶ 結合した時に「整理番号1」「整理番号2」等が重複していないか確認する
- ▶ EXCEL ファイル内に余分な行が残っていない確認する(処理区分:S・C・D以外)
- ▶ ファイル内に計算式等が入っていないか、余分なシートが入っていないか

イメージデータ

- ▶ ファイル名の重複がないか確認する
- ▶ ファイル名の命名規則に沿ってファイル名が付けられているか

イメージタイトルデータ

- ▶ 数値・文字データ(親データ)と整合性がとれているか
- ▶ ファイル名項目と実際のファイル名が一致しているか
- ▶ イメージデータ作成枚数とイメージタイトルデータの作成件数があっているか

				>/\+><=		2 - 40 7	-	z										
	A A	В	オ	トガタ13	ノリ・打甲	へいれい		9			K	L	M	N	0	P	Q	R
1	整理番号	処理区分		(加田豆	いけ	[C.	·		u)		2   整理番号3	3 地建	事務所	出張所	補助番号	現旧区分	橋梁コード	分割区分C
12	81 31 31 00401 037900000000	#	ŧ		. /] 10	5.0			<b>r</b> )		0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	0379	0
3	81 31 31 00401 038000000000	#	#	7	_	য	0040	1	0380	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	0380	0 _
2	81 31 31 00401 0381 00000000	#	#		31	31	0040	1	0381	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	0381	0 _
5	81 31 31 00401 038400000000	#	#	81	31	31	0040	1	0384	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	0384	0 _
e	813131004012041100000000	#	#	81	31	31	0040	1	20411	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	2041	1_
-	81 31 31 00401 2041 200000000	#	#	81	31	31	0040	1	20412	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	2041	2
8	81 31 31 00401 21 081 00000000	#	#	81	31	31	0040	1	21 081	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	21 08	1_
ę	81 31 31 00401 21 08200000000	#	#	81	31	31	0040	1	21 082	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	21 08	2
1	0 81 31 31 00401 41 41 00000000	#	#	81	31	31	0040	1	41 41	0000	0000	北海 道開	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	41 41	0 _
1	81 31 31 00401 41 4200000000	#	#	81	31	31	0040	1	41 42	0000	0000	北海 道関	稚内開 発建設	稚内開発事務 所	*	現道	41 42	0

	B	Ç	D	E	F	G	H	I I						V V		X	Y	88	AC	AD	AF	AH
1	処理 区分	エラーフ ラク	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧 区分 C	整理番号	整理霍	号が重視	复して	ている		施設完 成年度	施設改 修年度	名称	橋梁 種別 C	橋梁 区分 C	架設竣 工年	等級 C	適用示 方書 C	総径間 数
53	C	*	81	21	43	0452	3	14520080			*	*	0	#	2010	岳富橋	1	1	*	*	*	*
54	C	*	81	21	43	0452	3	14520080		0000	*	*	0	#	2010	岳富橋	1	1	*	*	*	*
55	C	*	81	21	43	0452	3	14520080	10000	0000	*	*	0	#	#	岳富橋	1	1	*	*	*	1
56	C	*	81	21	43	0452	3	14520080	0000	0000	*	*	0	#	#	岳富橋	1	1	2009	1	166	1
57	C	*	81	21	43	0452	3	I4520100	0000	0000	*	*	0	#	2010	白金橋	1	1	*	*	*	*
58	C	*	81	21	43	0452	3	14520100	0000	0000	*	*	0	#	2010	白金橋	1	1	*	*	*	*
59	C	*	81	21	43	0452	3	14520100	0000	0000	*	*	0	#	2010	白金橋	1	1	*	*	*	*
60	C	*	81	21	43	0452	3	14520100	0000	0000	*	*	0	#	#	白金橋	1	1	2010	*	166	2
61	C	*	81	21	43	0452	3	14520140	0000	0000	*	*	0	#	#	栄橋	1	1	*	*	166	2
62	C	*	81	21	43	0452	3	14520140	0000	0000	*	*	0	#	2010	栄橋	1	1	*	*	*	*
63	C	*	81	21	43	0452	3	14520140	0000	0000	*	*	0	#	2010	栄橋	1	1	*	*	*	*
64	C	*	81	21	43	0452	3	14520140	0000	0000	*	*	0	#	2010	栄橋	1	1	*	*	*	*

図 3-32. 数値・文字データの不具合例

# 3.6. 道路基本情報データの作成

監督職員より貸与された資料および各開発建設部のホームページ等より、変更区間の有無を確認 し、変更がある場合には、道路基本情報データの作成を行う。

道路基本情報データとは、工事受注者作成対象外の表 3-8 に示す工種である。

区分	工種番号	工種名称	更新資料	更新時期
	A010	管轄	変更・新規区間の道路台帳附図	管轄区間変更時 新規路線供用時
周辺状況	A020	敷地	変更・新規区間の道路台帳附図	道路現況(総括)台帳作成時
	A030	地名	変更・新規区間の道路台帳附図	総括台帳類作成時
	A070	DID区域	人口集中地区境界図	国勢調査報告書発行時
	B010	交通規制	交通規制図	交通規制図変更時
道路状況	B020	交通現況	交通センサス報告書	交通センサス報告書発行時
	B030	規制区間	変更・新規区間の道路台帳附図	区間変更時
	C010	路線道路現況		
	C011	重用区間		
	C012	供用区間		
	C013	ブレーキ区間		
	C014	道路規格		
	C015	路線指定年月等	変更・新規区間の道路台帳附図	管轄区間変更時 新規路線供田時
道路構造	C018	登坂車線区間		
	C019	停車帯区間		
	C01A	避讓車線区間		
	C01B	副道区間		
	C01C	ランプ区間		
	C040	幅員構成	道路形状変更工事完成図書 変更・新規区間の道路台帳附図	道路形状変更工事データ登録時 道路台帳(新規・更新)作成時

表 3-8. 道路施設基本情報データ対象工種





図 3-33. 新規供用情報 (例)

# 3.7. 管理移管施設ならびに道路施設基本データ未作成工事の道路施設データの作成

#### 3.7.1. 道路施設データの作成・削除

他管理者より北海道開発局に管理が移された区間の施設については、道路施設基本データが作 成されていないため、図面等を参考に新規に道路施設データ(数値・文字データ、イメージデータ) を作成する。また、距離標等の変更情報を更新する。

逆に、北海道開発局が管理していた路線を他管理者に移管もしくは、廃道等にした場合には登 録済の道路施設データの削除データを作成する。

開発建設部間で管理移管があった場合は、整理番号の重複を防ぐため、新たに当該路線を管理 する開発建設部で更新用データを作成するものとする。



#### (1) 道路施設データの削除(例)

図 3-34. 管理移管対象区域(例)

他管理者への管理移管等があった場合は、対象区間のデータを抽出し削除データを作成する。 (対象となる全施設について同様)

例) C050.xls

Γ	1	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	0	R	S	Т	U	Х	Y	Z	AB	AD	AF	AJ
	9 1 1	℡理 乙分	17-77 グ	地建 C	事務 所 C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	舗装 区分 C	道路構 造物区 分C	舗装 種別 C	延長
	2 #		#	81	21	46	0275	1	01640000	0000	0000	*	131.7	63	131.9	15	347	*	0	18	11	1	152.0
	з #		#	81	21	46	0275	1	01660000	0000	0000	*	131.9	15	132.5	29	347	*	0	11	11	1	616.0
	4 #		#	81	21	46	0275	1	01670000	0000	0000	*	132.5	29	132.5	54	343	*	0	11	12	2	25.0
	5 #		#	81	21	46	0275	1	01680000	0000	0000	*	132.5	54	133.1	8	347	*	0	11	11	1	554.0
	6 #		#	81	21	46	0275	1	01690000	0000	0000	*	133.1	8	133.7	78	348	*	0	11	11	1	670.0
	7_D		+	81	21	46	0275	2	01691000	0000	0000	*	133.7	78	133.9	69	848	420	0	11	11	1	191.0
	8 D		ŧ	81	21	46	0275	2	01692000	0000	0000	*	133.9	69	134.3	23	848	*	0	11	11	1	354.0
	9 D		J	81	21	46	0275	2	01700000	0000	0000	*	134.3	23	134.8	58	848	*	0	11	11	1	535.0
1	o #		#	81	21	44	0276	1	00010000	0000	0000	*	78.5	0	78.8	26	359	411	0	11	11	1	326.0
1	1 #		#	81	21	44	0276	1	00020000	0000	0000	*	78.8	26	78.9	7	359	411	0	11	12	1	81.0
1	2 #		#	81	21	44	0276	1	00030000	0000	0000	*	78.9	7	79.1	95	359	411	0	11	11	1	288.0
1	з #		#	81	21	44	0276	1	00040000	0000	0000	*	79.1	95	79.3	37	359	411	o	11	12	1	142.0
1	4 #		#	81	21	44	0276	1	00050000	0000	0000	*	79.3	37	79.3	71	359	411	0	11	11	1	34.0

図 3-35. 管理移管対象区域の削除データ(例)

#### 3.7.2. 既存道路施設データの変更

バイパス等の全線供用に伴う既存路線の現旧区分や、管理区分、市町村合併などの変更情報に 基づき、特定区間における既存道路施設データを変更する。

ただし、地建コードから整理番号3までの基本情報は、データベース上の整理番号(キーコー ド)として利用されているため、修正(C)データとして現旧区分を変更しようとすると、登録 済データの整理番号と整合がとれず修正できない。したがって現旧区分をはじめとした基本情報 を変更する際には、登録済データを一度削除してから、再登録を行う必要がある。

### (1) 道路施設データ(数値文字データ)の変更

#### ■ 対象路線

・小樽開発建設部 276 号現道 0.000~9.052KP → 旧道へ
 276 号新道 0.000~6.400KP → 現道へ



図 3-36. H27 指定区間増減箇所図(276 号 0.0KP)

参考: 整理番号	+ (+-		-ド)	説明									
整理番号	処理区分	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分 C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	百米標	距離	上り下り区 分C
81244502761000000500000000	#	81	24	45	0276	1	00000050	0000	0000	*	0.0	17	1
812445027610001000000000000	#	81	24	45	0276	1	00010000	0000	0000	*	0.0	25	1
812445027610002000000000000	#	81	24	45	0276	1	00020000	0000	0000	*	0.0	59	1
812445027610003000000000000	#	81	24	45	0276	1	00030000	0000	0000	*	0.0	76	2
812445027610003100000000000	#	81	24	45	0276	1	00031000	0000	0000	*	0.0	79	2
		地建C~	整理番号	<b>∃3までを</b> -	一連の整理	【番号(キ-	-コード)とし ⁻	(データベ-	-ス上の識別	別情報として	ている	)	
812445027610003100000000000 ≠	c	81	24	45	0276	2	00031000	0000	0000	*	0.0	79	2
81244502762000310000000000	(	従って、 で修正	修正「C」 できない	データとし	て、現旧国	⊻ <del>∕</del> ⊐−ド≀	を修正しよう	としても、蜀	「録済データ	た整合がと	れないの		

従って、以下の手順のようにデータを作成する。

# ■ 更新手順(処理方法)

① 対象区間のデータを道路管理データベース登録済データから抽出する。

整理番号	処理区分	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分 C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	百米標	距離	上り下り区 分C
8124450276100000500000000	#	81	24	45	0276	1	00000050	0000	0000	*	0.0	17	1
812445027610001000000000000	#	81	24	45	0276	1	00010000	0000	0000	*	0.0	25	1
812445027610002000000000000	#	81	24	45	0276	1	00020000	0000	0000	*	0.0	59	1
812445027610003000000000000	#	81	24	45	0276	1	00030000	0000	0000	*	0.0	76	2
81244502761000310000000000	#	81	24	45	0276	1	00031000	0000	0000	*	0.0	79	2

# ② 抽出データに処理区分「D」(削除)を付与する。

整理番号	処理区分	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分 C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	百米標	躖	上り下り区 分C
8124450276100000500000000	D	81	24	45	0276	1	00000050	0000	0000	*	0.0	17	1
812445027610001000000000000	D	81	24	45	0276	1	00010000	0000	0000	*	0.0	25	1
812445027610002000000000000	D	81	24	45	0276	1	00020000	0000	0000	*	0.0	59	1
812445027610003000000000000	D	81	24	45	0276	1	00030000	0000	0000	*	0.0	76	2
81244502761000310000000000	D	81	24	45	0276	1	00031000	0000	0000	*	0.0	79	2

③ ②のデータをコピーして、現旧区分を変更して、処理区分「S」(新規)を付与する。

整理番号	処理区分	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分 C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	百米標	距離	上り下り区 分C
81244502761000000500000000	S	81	24	45	0276	2	00000050	0000	0000	*	0.0	17	1
812445027610001000000000000	S	81	24	45	0276	2	00010000	0000	0000	*	0.0	25	1
8124450276100020000000000000	S	81	24	45	0276	2	00020000	0000	0000	*	0.0	59	1
8124450276100030000000000000	S	81	24	45	0276	2	00030000	0000	0000	*	0.0	76	2
812445027610003100000000000	S	81	24	45	0276	2	00031000	0000	0000	*	0.0	79	2

新規データの場合、整理番号(キーコード)はデータ更新時(登録時)に自動で付加されます 何もしなくて結構です

図 3-37. 登録済データの更新処理事例

# ■ 対象データ

- ・全工種(全施設)
  - →既存路線の現旧区分や、管理区分、市町村合併などの事案に該当する全施設データについて、 削除データ(D)と新規データ(S)の作成を行う。

# (2) 道路施設データ(イメージタイトルデータ)の変更

イメージタイトルデータのキー情報を変更する場合、道路施設データ(数値・文字データ)のように一旦削除(D)してから、新規登録(S)すると登録されているイメージデータも削除される ため、削除前に一旦イメージデータを抽出してから、イメージタイトルデータ削除後に改めてイ メージデータを新規登録する必要がある。

これを防ぐため、登録済イメージデータを残したままイメージタイトルデータのみ更新する手 順を以下に示す。

- ① 修正したいイメージタイトルデータの処理区分に「R」を記載
- ② 前項①のイメージタイトルデータの下行に同じデータをコピー
- ③ コピーした行の処理区分に「C」に変更し、修正したいデータ項目を変更
- ※必ず、処理区分「R」のデータ行の次の行に処理区分「C」のデータが来る順番とする

「国道 39 号新道(現旧区分コード:3)」として登録されているイメージデータ(図面 3 枚)を 「国道 39 号現道(現旧区分コード:1)」に変更する場合の例を下表に示す。

No	処理	地建	事務所	出張所	攺緽	現旧区分	整理番号	整理番号	整理番号	施設	図面
NO.	区分	С	С	С	匠小水	С	1	2	3	名称	種別C
図面1	#	81	29	42	39	3	90010	4240	0000	A橋	424
図面2	#	81	29	42	39	3	90010	4241	0000	A橋	424
図面3	#	81	29	42	39	3	90010	4350	0000	A橋	435
			表 3-10	変更する	るイメー	・ジタイトル	データ例	(一部項目‡	友粋)		
	<i>b</i> п т <del>П</del>	14 7 <del>4</del>	表 3-10	変更する	るイメー	ジタイトル	データ例	(一部項目指	<b>友</b> 粋)	+ <del>/,</del> ≘n.	
No.	処理	地建	表 3-10 事務所	変更する	るイメー 路線	・ジタイトル 現旧区分	·データ例 整理番号	(一部項目打 整理番号	_{友粋)} 整理番号	施設	図面
No.	処理 区分	地建 C	表 3-10 事務所 C	変更す 出張所 C	るイメー 路線	·ジタイトル 現旧区分 C	·データ例 整理番号 1	(一部項目 整理番号 2	友粋) 整理番号 3	施設名称	図面 種別C
No.	処理 区分 R	地建 C 81	表 3-10 事務所 C 29	変更す 出張所 C 42	るイメー 路線 39	・ジタイトル 現旧区分 C 3	·データ例 整理番号 1 90010	(一部項目 整理番号 <u>2</u> 4240	友粋) 整理番号 <u>3</u> 0000	施設 名称 A橋	図面 種別C 424
No. 図面1	処理 区分 R C	地建 C 81	表 3-10 事務所 C 29 29	変更する 出張所 <u>C</u> 42 42	るイメー 路線 <u>39</u> <del>39</del>	ジタイトル 現旧区分 C 3 1	·データ例 整理番号 1 90010 90010	(一部項目 整理番号 <u>2</u> 4240 4240	友粋) 整理番号 <u>3</u> 0000 0000	施設 名称 A橋 A橋	図面 種別C 424 424
No. 図面1	処理 区分 R C R	地建 C 81 81 81	表 3-10 事務所 <u>C</u> 29 29 29	変更す 出張所 <u>C</u> 42 42 42	るイメー 路線 <u>39</u> 39 39	ジタイトル 現旧区分 C 3 1 3	·データ例 整理番号 1 <u>90010</u> <u>90010</u> 90010	(一部項目 整理番号 <u>2</u> 4240 4241 4241	b 数理番号 3 0000 0000 0000	施設 名橋 A橋 A橋	図面 種別C 424 424 424
No. 図面1 図面2	処理 区分 R C R	地建 C 81 81 81 81	表 3-10 事務所 <u>C</u> 29 29 29 29 29	変更す。 出張所 <u>C</u> 42 42 42 42	るイメー 路線 <u>39</u> <u>39</u> 39 39	ジタイトル 現旧区分 C 3 1 3 1	·データ例 整理番号 1 90010 <u>90010</u> 90010 90010	(一部項目 整理番号 <u>2</u> 4240 4241 4241 4241	b粋) 整理番号 3 0000 0000 0000 0000	施設 名橋 A橋 A橋	図面 種別C 424 424 424 424
No. 図面1 図面2	処理 区分 R C R C R	地建 C 81 81 81 81 81	表 3-10 事務所 C 29 29 29 29 29 29 29 29	変更す 出張所 <u>C</u> 42 42 42 42 42 42	るイメー 路線 <u>39</u> <u>39</u> <u>39</u> <u>39</u> 39	ジタイトル 現旧区分 C 3 1 3 1 3 3	·データ例 整理番号 1 90010 <u>90010</u> 90010 90010 90010	(一部項目 整理番号 2 4240 4240 4241 4241 4350	b粋) 整理番号 3 0000 0000 0000 0000 0000	施名橋 A橋 A橋 A橋 A橋	図面 種別C 424 424 424 424 424 435

表 3-9 登録済イメージタイトルデータ例(一部項目抜粋)

※赤字:変更箇所

 $\mathbf{X}$ 

なお、イメージデータを修正(S、D)する場合のイメージタイトルデータと、上記イメージデ ータを残したままイメージタイトルデータのみ更新する場合のイメージタイトルデータは、工種 毎に EXCEL ファイルを区別する必要がある。

1

90010

4350 0000

このため、イメージタイトルデータのファイル名は以下の通りとする。

39

81

C

29

項目	ファイル名	例(橋梁図面類)
イメージデータを修正(S、D)する場合	工種コード+S+拡張子	D018S.xlsx
イメージデータを残したまま	丁毎っ」、ドエDエ世正乙	DO12D vlov
イメージタイトルデータのみ更新		DUION. XISX

表 3-11 イメージタイトルデータのファイル名

### 3.7.3. 道路施設基本データ未作成工事の道路施設データの作成

道路施設基本データ未作成工事(占用工事等)では、監督職員から関連資料を借用し、新規に 道路施設データを作成する。

- ※ 埋設物工事など大幅な改変を伴わない工事(例えばガス埋設工事など、舗装を局所的に掘り起す工事)は データを新規に作成する必要はない。
- ※ 占用工事等で新規データ作成が必要となる工事は、一般的に稀なケースとなる。



図 3-38. データ作成イメージ(例)

#### 3.7.4. 既存道路施設データの確認

監督職員から道路施設資料を借用し、データベースと照合する。

確認する施設については、北海道開発局もしくは各開発建設部から指示がある施設を対象とし、 登録済み(既存)データと提供を受けた資料を照合し、不整合等があれば資料を参考に登録済み データの修正・削除または新規データの作成を行う。

なお、新規データの作成または修正データの作成に伴いイメージデータの作成が必要となる場 合には、イメージデータおよびイメージタイトルデータの作成を行う。

また、イメージデータ等の作成に関わる数量については、前記イメージデータの作成にて計上 するものとする。

作成例) H26年度:北海道開発局の指示により気象観測施設のデータについて見直しを実施 →全開発建設部にて優先的に気象観測施設のデータを作成し登録

# 4. サブシステムデータの作成

北海道開発局で運用している、以下に示す4つのサブシステムに登録するためのデータの作成を 行う。

- 1) 資料検索システム
- 2) 附図検索システム
- 3) 舗装台帳閲覧システム
- 4) 情報ボックス整備状況閲覧システム

#### 4.1. 資料検索システム登録用データの作成

監督職員より提供される重要構造物図面・設計図書の既電子化データについて、暫定的に付さ れている整理番号を道路管理データベースと整合を図り、図面・設計図書を管理するためのファ イル管理データ(整理番号、距離標、名称、図面名称、作成年月等)とイメージファイルの格納フ ォルダ構成を工種別、路線別に整理・統合し、登録用データを作成する。

なお、詳細については「資料検索システム更新データ作成手順(案)」に従う。

施設番号	施設名称	
D010	橋梁	
D020	橋側歩道橋	
D030	横断歩道橋	
D040	トンネル	
D050	洞門	
D060	スノーシェッド	
D070	地下横断步道	
D080	道路BOX	
D090	横断BOX	
D120	擁壁 ※	※重要構造物図面・設計図書の
E210	共同溝	电士埰1/4/1F成于順書(条)   P 11 より引田
E220	CAB電線共同溝	

表 4-1 作成対象施設一覧表 (重要構造物)

※擁壁については下記の通りとする。

・コンクリート擁壁で、高さ5m以上の擁壁、または高さ5m以下の擁壁であっても地震時の安定検討を行ったもの
・補強土擁壁

而軍工摊主

※ 図面等の TIFF または PDF ファイルは基本的に1ファイル1枚とする。

整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込む	3	新しいフォルダー	
🌗 H24 一般国道○○号○○町舗装工事	*	名前	種類
\mu OTHRS		D010	ファイル フォルダー
\mu ORG997		- 5010	27 110 211102
📙 ORG998			
퉬 D010			
🐌 ORG999			
SYOGEN			
SYOGEN_O			

図 4-1. 対象となる既電子化データ(例)

#### 4.2. 附図検索システム登録用データの作成

#### (1) 直轄道路管理路線図・路線別距離標一覧表の更新

監督職員より提供される「直轄道路管理路線図」および「路線別距離標一覧表」について、新 規供用区間、線形変更による破鎖(ブレーキ)設定などの距離標(KP)管理に変更があった場合 には、「直轄道路管理路線図」および「路線別距離標一覧表」の更新を行う。

※ 管理路線図は道路維持台帳附図と整合を行う。

※ 路線毎のデータ更新となるため、他の部局に影響がある場合には発注者の指示を仰ぐ。

※ 各開発建設部の管理路線について、附図検索システムのデータ更新時に取りまとめる。



#### 図 4-2. 直轄道路管理路線図(例)



図 4-3. 直轄道路管理路線図距離標一覧(例)

# (2) 道路維持台帳附図データの作成

改築工事等に伴い作成された工事完成平面図(竣功図)等を基に、道路線形の変更内容、区間 等について既存台帳附図との比較・整合を行い、変更区間については、平面線形の検討および距 離標の再設定等を実施し、附図の作成・修正を行う。また、道路管理データベース更新施設デー タを基に道路施設の旗上げ表示等を行い、維持管理業務に活用する台帳図として更新する。

なお、詳細については、「道路維持台帳附図作成要領(案)」に従う。

※ 道路維持台帳附図は TIFF 形式または PDF 形式で作成されており、オリジナルの CAD ファイル等がない場合 が多い。従って、ファイルの加工の仕方によっては画像の劣化を起こしやすいため、修正等は市販の画像 編集ソフト等を使用し、極力、画像劣化を起こさないように行う。



図 4-4. 道路維持台帳作成 (例)

# (3) システム登録用データの作成

上記、「(2)道路維持台帳附図データの作成」の成果を取りまとめ、附図検索システムに登録する際に必要となるタイトルデータ(整理番号、距離標、図面種別、縮尺[市街地・郊外地]、修正日付等)を作成する。

なお、詳細については、「道路維持台帳附図作成要領(案)」に従う。

#### 4.3. 舗装台帳閲覧システム登録用データの作成

## (1) 舗装施工区分台帳・舗装定規図データの作成

舗装施工区分台帳図・舗装定規図は、現況の道路構造を舗装施工区分(一次改築、二次改築、交 安、修繕)毎の履歴図及び定規図として整理するものであり、工事請負者が作成した工事完成図書 のうち、改築工事、維持修繕工事及び歩道設置工事等の関係資料を監督職員より提供を受け整理 し、既存台帳図の更新等を行う。

なお、詳細については、「舗装施工区分台帳図・舗装定規図作成要領(案)」に従う。



図 4-5. 作成対象工事横断図(例)

### (2) システム登録用データの作成

上記、「(1)舗装施工区分台帳図・舗装定規図データの作成」の成果を取りまとめ、舗装台帳閲 覧システムに登録する際に必要となるタイトルデータ(整理番号、距離標、図面区分、沿道区分 (市街地・郊外地)、修正日付等)を作成する。

なお、詳細については、「舗装施工区分台帳図・舗装定規図作成要領(案)」に従う。

### 4.4. 情報ボックス整備状況閲覧システム登録用データの作成

#### (1) 情報ボックス整備状況調書の作成

管内の情報ボックス事業における施設の整備状況、使用状況および道路管理の変更情報を情報 ボックス整備状況閲覧システム登録用データとして作成する。

なお、詳細については、「<u>情報ボックス整備状況閲覧システム登録用データ(参考資料</u>))」に準 拠し作成する。

#### ■ 作成手順

提供を受けた情報ボックス関連資料および光ファイバ等関連資料をもとに既存の調書類と照合 し、更新された区間の抽出を行う。

#### 1) 既存の調書類との照合

地方	施設	名称	区間	都道府	図面	区間		延長	埋設場	収容空	さや管	さや管	施設管	既民間	民間貸	整備年	備考
整備			番号	県名	番号	起点 ~ 終点	距離標(km)	(km)	所	間の種	径(mm)	全条数	理用さ	貸出	出可能	次	
同							起点~終点			751]		①(本)	や官余 物の	(古) (田) (古)	さや官 冬粉①_		
													(本)	わ管条	2-3		
														数③			
~	-	Ŧ	-	~	•	-	-	Τ.	-	-	-	-	-	(本)	~	~	<b>*</b>
北海道	道路	37号	<u>R37-5</u>	北海道	5	虹田郡洞爺湖町清水~虻田郡洞爺湖町清水	40.316~42.013	1.697	上り	情報BOX	50	6	3	2	1	H27以前	
北海道	道路	37号	R37-15	北海道	5	室蘭市幌萌町~室蘭市中島町4丁目	74.283~79.980	5, 697	下り	情報B0X	50	6	3	0	3	H27以前	
北海道	道路	235号	R235-3	北海道	5	苫小牧市字柏原~苫小牧市字柏原	4.496~6.436	1.676	上り	情報B0X	50	6	3	1	2	H27以前	
北海道	道路	235号	R235-3	北海道	5	苫小牧市字柏原~苫小牧市静川	6.436~7.560	1. 124	上り	情報BOX	50	6	3	1	2	H27以前	
北海道	道路	235号	R235-3	北海道	5	苫小牧市静川~勇払郡厚真町字共和	7.560~8.669	1, 109	上り	情報BOX	50	6	3	1	2	H27以前	
北海道	道路	235号	R235-29	北海道	5	浦河郡浦河町宇井寒台~浦河郡浦河町堺町東1丁目	113. 335~114. 028	0.693	下り	情報BOX	50	6	3	0	3	H27以前	
北海道	道路	235号	R235-29	北海道	5	浦河郡浦河町堺町西4丁目~浦河郡浦河町堺町東1丁目	114.028~114.028	0.972	端箱接	情報BOX	50	6	3	0	3	H27以前	
北海道	道路	235号	R235-29	北海道	5	浦河超浦河町堺町支1丁目~浦河超浦河町築地3丁目	114.028~114.587	0, 559	下り	情報BOX	50	6	3	0	3	H27以前	
北海道	道路	274号	R274-10	北海道	5	沙流郡日高町字千栄~沙流郡日高町字千栄	129.219~129.330	0.111	ጉሀ	情報BOX	50	6				H27以前	
北海道	道路		R274-12	北海道	5	沙流郡日高町字千栄~沙流郡日高町字千栄	141.580~142.182	0.602	ĿIJ	情報BOX	50	6				H27以前	
北海道	道路	274号	R274-12	北海道	5	沙流郡日高町字千栄~沙流郡日高町字千栄	142, 182~142, 823	0, 641	上り	情報BOX	50	6	3	0	3	H27以前	中の沢橋清水側 王型ハパネールまで
北海道	道路	274号	R274-12	北海道	5	沙流郡日高町字千栄~沙流郡日高町字千栄	147, 284~150, 375	3, 091	上り	情報BOX	50	4				H27以前	H26千栄中央帯設置工事
北海道	道路	274号	R274'-3	北海道	5	重払郡占冠村字仁仁字~重払郡占冠村字仁仁字	108, 440~108, 555	0, 115	下り	情報BOX	50	2	2	0	0	H27以前	IRN施設管理専用
北海道	道路	274号	R274'-3	北海道	5	重払郡占冠村字仁仁字~重払郡占冠村字仁仁字	108.558~108.693	0, 147	上り	情報BOX	50	2	2	0	0	H27以前	IRN施設管理専用
北海道	道路	274号	R274'-4	北海道	5	重払郡占冠村字仁仁字~重払郡占冠村字仁仁字	112.054~113.926	1. 872	上り	情報BOX	50	4	4	0	0	H27以前	IRN施設管理専用
北海道	道路	274号	R274'-4	北海道	5	重払期占款村字仁仁字~沙流期日高町松風町2丁日	113.931~121.606	7.675	下り	情報BOX	50	3	3	0	0	H27以前	IRN施設管理真用
北海道	道路	274号	R274' -5	北海道	5	沙流郡日高町字千栄~沙流郡日高町字千栄	129.060~133.267	4, 207	下り	情報BOX	50	6	3	0	3	H27以前	IRN施設管理真用
						沙流郡日高町字千栄~沙流郡日高町字千栄	133.267~133.267	0.013	構新	情報BOX	50	6	3	0	3	H27以前	IRN施設管理真用
业海道	道路	274문	P274' -6	十海道	5	小 资料日 真 軒 字 千 堂 ~ 沙 冻 邦 日 真 軒 字 千 学	$133, 267 \sim 141, 200$	7 933	두비	情報BOX	50	ٽ ۲	2	0	0	112711前	IRN協設管理専田
dw/碑碑。	44 MI	1172	3112.74 -0	196/96/3月		1200年日回到十十个 220年日回到十十个	100.207 - 141.200	<b>A</b>	1.7	E IN HOUSE		J.	J	<u>د</u>		0.57.56.80	山加坡以自法守历

表 4-2 〇〇年度光ファイバ等収容空間整理表



表 4-3 〇〇年度光ファイバケーブル (SM) 整理表

地方	施設	名称	区間	図面	区間	指定ク	延長	敷設場	架空区	非開放	備考	電柱等管	重複					SM				整備年	備考
整備			番号	番号	距離標(km)		(km)	所	間の確	の理由	(非開放の理由	理者名	チェック	1テー 4	テーブ	施設管	•			既民間	利用可	次	
同					起点~終点	ラグ			56		(0) 計 和()			ブ当たり り芯線	レの全 テープ	理用芯 線数	++	既管理 田芯線		開放芯 線数	能芯線数		
														数	数	3	うち、基線利用	数(③の	うち、基線利用	4	5		
						× ×	т						l Iv	0	(2)		芯線数	内数)	芯線数		l.v.		-
北海道	道路	37年	R37-5	5	30 102~30 352	,	0.250	<u></u> ти	0					4	25	80	2	34	0	0	20	H27151前	
北流場	道路	234문	R234-1	5	37 356~38 307	0	0.951	- <u>ト</u> リ	1	a	施設管理田ケーブル	北雷·NTT	<u> </u>	4	10	40	0	10	0	0		H27に前 H27に1前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	38.307~38.309		0.045	横断	1	(4)	指設管理用ケーブル	北雷·NTT	<b> </b>	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	38.309~38.345	;	0.036	 上り	1	(4)	施設管理用ケーブル	北雷·NTT	<b></b>	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	38.345~39.671		1.326	上り	1	(4)	施設管理用ケーブル	北電·NTT		4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	39.671~41.011		1.340	上り	1	(4)	施設管理用ケーブル	北電·NTT		4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	41.011~42.086	;	1.075	上り	1	(4)	施設管理用ケーブル	北電·NTT		4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	42.086~42.538		0.452	上り	1	4	施設管理用ケーブル	北電·NTT		4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	42.538~42.539	1	0. 028	横断	1	4	施設管理用ケーブル	北電·NTT	L	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	42.539~43.938	1	1.399	下り	1	<u>(4)</u>	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	43.938~43.989	1	0.051	下り	1	<u>(4)</u>	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	43.989~44.032		0.051	横断	1	4	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	44.032~45.192		1.160	上り	1	<u>(4)</u>	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	45.192~45.242		0.050	上り	1	<u>(4)</u>	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	45.242~45.245	i	0.019	横断	ļ1	<u>(4</u> )	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	45.245~46.398		1.153	下り	1	<u>(4)</u>	施設管理用ケーブル	北電·NTT		4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	46.398~47.458		1.060	<u> </u>	<u>  1</u>	4	施設管理用ケーブル	北電·NTT	ļ	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	
北海道	]	1234号	R234-1	5	4/.458~48.566		1.108	<u> </u>	+	4	施設管理用ケーブル	北電·NTT	<u> </u>	4	10	40	0	10	0	0	0	H2/以前	
北海道	<u>道路</u>	234号	R234-1	5	48.566~49.342		0.776	<u> </u>	$\frac{1}{1}$	4	施設管理用ケーブル	<u>北電·NTT</u>	<u> </u>	4	10	40	0	10	0	0	0	H2/以前	
北海道	道路	234号	R234-1	5	49.342~50.530		1.188	下り	1	(4)	施設管理用ケーブル	北雷・NTT	8	4	10	40	0	10	0	0	0	H27以前	

※同様に光ファイバケーブル (DSF) 整理表についても照合を行う

# 2) 更新された区間の模式図の修正および作成

既存模式図を確認し、更新された区間の模式図を作成・修正する。あわせて整備状況図の更新も行う。



# 図 4-6 模式図の更新例



# 図 4-7 整備状況図の更新例

# (2) 情報ボックス管理台帳の作成

管内の情報ボックス事業における施設の整備状況情報および光ファイバの使用状況情報を情報 ボックス整備状況閲覧システム登録用データとして、当該年度の整備状況を対象に、①「情報ボ ックス管理路線図データ」、②「情報ボックス管理台帳(帳票)」の作成を行う。

なお、詳細については、「<u>情報ボックス整備状況閲覧システム登録用データ(参考資料))」</u>に準 拠し作成する。

# ■ 作成手順

上記(1)で整理した区間について既存の管理路線図の更新を行うとともに管理台帳の更新も 行う。



# 1) 情報ボックス管理路線図データの作成

図 4-8 管理路線図の更新例

# 2) 情報ボックス管理台帳(帳票)の作成

																							Ð			28	面創な	80	2014.03	
																					さや管	6 5	(4)		] (@	56	更新平	70		
	管								45	7 容 空	間										占有状況	30	① 起泉		移用し	23/		光ケー	ブル	
建設部	埋事務	HH委号	距離表KP	住所	HH形式	本設位置	右設装所	センター	鉄茎の種別	分岐の有無	設置道路	HH間延 E(12)	展開	管種	管径	管路延長	さや	きや	きや	耐火			視野方向		視野方向	$\sum_{n}$	クロージャ	ケーフル 仕様・延	開放延長	儒考
	Bh	IDN		小体部ロ文明				PARTO			AE JA (LE 17	14(CL)	タイプ			(20)	修道	警径	2 39	WJEC	w	<u>ن</u> ع	w.	(d)	-	-	212			
室蘭	日高	320	147,119	字千栄	その他	上り	その他	不明	不明	-	90.00	90.00	с	FEP	¢40	-	FEP	φ40	4%	-					-	-	1			
sile 75		IRN	447.000	沙流郡日高町	7.00.04	-	7.04	7.00	7.00		001.00	004.00			4.00			+ 10							-	-				
至闻		321	147,209	字千栄	その地	19	その他	不明	不明	-	201.00	201.00	U.	FEP	φ40	-	FEP	φ40	4¥	-					-	-		SM12c		
室蘭	日高	IRN	147,410	沙流郡日高町	その他	上り	その他	不明	不明	-	167.00	167.00	s	FEP	φ40	-	FEP	φ40	5条	-							-	IRN		
		322		子十宋														-							_	-		L=0.953k m		
室蘭	日高	1RN 323	147,577	沙流郡日高町 字千栄	その他	上り	その他	不明	不明	-	184.00	184.00	с	FEP	φ40	-	FEP	φ40	4条	-					_	-				
		IRN		沙流郡日高町															-						-	-				
室開	日高	324	147,761	字千栄	その他	上9	その他	不明	不明	-	151.00	151.00	с	FEP	φ40	-	FEP	φ40	4%	-		1			-	- 1	1			
安丽	日高	IRN	147.912	沙流郡日高町	その他	FU	その他	不明	不明	-	171.00	171.00	R	FEP	φ40	_	FEP	d 40	38	_				-	-	-	あり	147,912		
		325		字千栄	0.010	- /		1.54	1.27									*	- 244					-	-	-		147,912		
室蘭	日高	IRN 326	148,083	沙流郡日高町 字千学	その他	上り	その他	不明	不明	-	175.00	175.00	R	FEP	φ40	-	FEP	φ40	3条	-										
		IDN		小体部口文明																				_	_	-		SM12c		
室蘭	日高	327	148,258	字千栄	その他	上り	その他	不明	不明	-	155.00	155.00	R	FEP	φ40	-	FEP	φ40	3条	-				-	-	-	1	L=1.004k		
10.00		IRN	149 412	沙流郡日高町	ZON	EI	ZOW	7.09	7.08	_	201.00	201.00		FED	<i>.</i> 440	_	EED.	d 40	2.5%	_				-	-	-		m		
王间		328	140,413	字千栄	.C 0218	19	-C 0218	1.60	1.60	_	201.00	201.00	~	FEF	ψ40	_	FEF	ψ40	3*	_				-	-	-				
室蘭	日高	IRN	148,614	沙流郡日高町	その他	上り	その他	不明	不明	-	151.00	151.00	R	FEP	φ40	-	FEP	φ40	3条	-				-	-	-		SM12c		
		329		ナモネ			<u> </u>																	_	_	_	-	IRN I = 1 004k		
室蘭	日高	1RN 330	148,765	沙流郡日高町 字千栄	その他	上り	その他	不明	不明	-	151.00	151.00	R	FEP	φ40	-	FEP	φ40	3条	-						<u> </u>	1	m		
-		IRN		沙流郡日高町											1.10									-	-	-	あり	148,916		
室開	日高	331	148,916	字千栄	その他	上9	その他	不明	不明	-	191.00	191.00	R	FEP	¢40	-	FEP	φ40	3柴	-				-	-	-		148,916		
安丽	日高	IRN	149 107	沙流郡日高町	その他	FU	その他	不明	不明	_	160.00	160.00	R	FEP	φ40	-	FEP	d 40	38	-				-	-	-				
		332		学千栄	0.010	-/	0.00	1.54	1.97				· · ·		*			*	- 244					-	-	-				
室蘭	日高	IRN 333	149,267	沙流郡日高町 字千学	その他	上り	その他	不明	不明	-	151.00	151.00	R	FEP	φ40	-	FEP	φ40	3条	-						-				
		IDN		シンボー																-				_	-	-		SM12c		
室蘭	日高	334	149,418	字千栄	その他	上り	その他	不明	不明	-	198.00	198.00	С	FEP	φ50	-	FEP	φ50	4%	-					-	-	1	L=1.011k		
140.75		IRN		沙流郡日高町	7.00.04	5.0	7.0.0	7.00	7.00						450			+ 50							-	-		m		
至開		335	149,010	字千栄	その地	19	その他	不明	不明	-	161.00	161.00	U.	FEP	φ50	-	FEP	φ 50	4¥	-					-	-				
室蘭	日高	IRN	149,777	沙流郡日高町	その他	上り	その他	不明	不明	-	150.00	150.00	с	FEP	φ50	-	FEP	φ50	4条	-				ļ		ļ				
		336		子干栄		<u> </u>											-	-							-	-	40	140.027		
室蘭	日高	IRN 337	149,927	2 次流郡日高町 字千栄	その他	上り	その他	不明	不明	-	179.00	179.00	с	FEP	φ40	-	FEP	φ40	4条	-							<i>ത</i> 9	149,927		
																												140,027		

# 表 4-4 情報ボックス管理台帳(帳票)

# 5. 貸与資料について

#### 5.1. マニュアル・参考データ

本マニュアル(道路管理データベース作成マニュアル データ作成編)の他、表 5-1に示すマニ ュアル・参考データに基づき、道路管理データベースならびに各サブシステム(資料検索システム 等)のデータを作成する。

システム名	マニュアル・参考データ	備考
道路管理データ	I 道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領	
ベースシステム	集).pdf	
	Ⅱ. 道路管理データベース作成マニュアル データ更新編.pdf	
	Ⅲ 新規シート(EXCEL ファイル)※	※ フォルダ名
資料検索システム	Ⅳ 資料検索システム更新データ作成手順(案).pdf	
附図検索システム	V 道路維持台帳附図作成要領(案).pdf	
道路台帳閲覧	Ⅵ 舗装施工区分台帳図・舗装定規図作成要領(案).pdf	
システム		
情報ボックス整備状況	Ⅶ 情報ボックス整備状況閲覧システム登録用データ(参考)※	※ フォルダ名
閲覧システム	1)情報ボックス整備状況調査データ作成 ※	
	<ul> <li>①模式図.pdf</li> <li>②光ファイバ等収容空間整理.pdf</li> <li>③施設管理用光ファイバ(SM).pdf</li> <li>④施設管理用光ファイバ(DSF).pdf</li> <li>⑤整備状況図(光ファイバ).pdf</li> </ul>	
	⑥整備状況図(収容空間).pdf	
	【参考】民間開放区間検討書※	
	<ul> <li>2) 「「報ハックス管理台帳テータ作成 ※</li> <li>①情報ボックス管理路線図データ.pdf</li> <li>②情報ボックス管理台帳(帳票)データ.pdf</li> </ul>	

表 5-1. 本マニュアル以外に貸与するマニュアル・参考データ

# 5.2. データベース登録済データ

道路管理データベースに登録されているデータと同一内容のファイル ※ MDB ファイル (MDB ファイルは MS-ACCESS 用のファイル)

# 6. 具体的事例

### 6.1. 連続性を持つ道路構造の例

縦断勾配、平面線形のように連続性を持つ施設の道路施設データの作成事例を以下に示す。

#### (1) CSV ファイルの変換(道路施設基本データ)

発注者より貸与された、工事受注者が作成した道路施設基本データのCSVファイルを所定の EXCELファイルに変換する。



図 6-1. 道路施設基本データの格納(例)

① C03001. CSV ファイルを EXCEL で開く

×	C03001.CSV																	
	A	В	С	D	E	F	G	н	I	J	K	L	M	N	0	P	Q	R
1	工事番号	工事区分C	附図対応翻	路線	現旧区分C	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下り区	線形区分⊂	区間長	始点側クロ	曲線半径
2	2.01 E+09	1	I001-004	231	3	201 30001				57.6	27	57.7	82	0	2	154.5	100	200
3																		
4																		

② 新規シート内のCSVファイルと同じ施設(C030S. xls)ファイルを開く

<b>Z</b> ) (	0305.X	LS [互担	奥モード]																-				c
	В	D	E	F	G	H	I	J	K	0	Q	R	S	T	U	W	Y	Z		AA	AB	AC	ÅF
1	処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下り 区分C	線形区 分C	区間長	始点側ク ロソイド	曲彩	半径	終点側ク ロソイド	曲り区 分C	市区町村 自 C
2																							
3																							
4																							
5																							

# ③ 所定の EXCEL 形式に変換する (CO30S. x1s)

	B	D	E	F	G	H	I	J	K	0	Q	R	S	T	U	W	Y,	Z	AA	AB	AC
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下り 区分C	線形区 分C	<b>KP</b>	始点側ク ロソイド	曲線半径	終点側ク ロソイド	曲り区 分C
2	S	0	0	0	0231	3	20130001			*	57.6	27	57.7	82	0	2	154.500	100.0	200.0	100.0	2

# (2) mdb ファイルの変換(登録済データの変換)

前項と同じ要領にて登録済データの変換を行う。

#### CO3OS. xls(登録済ファイル)

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理書号 3	補助 番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下り 区分C	₩₩区 分C	区間長	始点側ク ロソイド	曲線半径	装点倒ク ロソイド	曲り区 分C
#	81	21	45	0231	1	00400000	0000	0000	*	56.8	98	57.1	13	0	1	214.950	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00410000	0000	0000	*	57.1	13	57.2	69	0	2	155.920	*	400.0	*	2
#	81	21	45	0231	1	00420000	0000	0000	*	57.2	69	57.6	27	0	1	358.010	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00430000	0000	0000	*	57.6	27	57.7	76	0	2	149.140	100.0	200. 0	100.0	2
#	81	21	45	0231	1	00440000	0000	0000	*	57.7	76	57.8	28	0	1	52.300	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00450000	0000	0000	*	57.8	28	58.3	80	0	2	551.530	*	183. 7	*	1
#	81	21	45	0231	1	00540000	0000	0000	*	61.6	61	61.7	40	0	1	78.910	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00550000	0000	0000	*	61.7	40	61.9	69	0	2	229.310	150.0	250.0	150.0	1

# (3) 道路施設データの補完・補正作業

前項と同じ要領にて道路施設基本データ内に格納されている位置図および関連資料を抽出し、 データチェックを行う。



図 6-2. 確認資料類

① (1)にて変換したデータを(2)で作成した登録済データに挿入する (C030S. xls)

なお、挿入は位置図の距離標等を確認し距離標の設定に間違いがないことを確かめた上で、適切 な位置にデータを挿入する。

C030S, x | s

処理 区分	地建 C	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助 番号	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下り 区分C	線形区 分℃	区間長	始点側ク ロソイド	曲線半径	装点倒ク ロソイド	曲り区 分C
#	81	21	45	0231	1	00400000	0000	0000	*	56.8	98	57. 1	13	0	1	214.950	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00410000	0000	0000	*	57.1	13	57. 2	69	0	2	155.920	*	400.0	*	2
#	81	21	45	0231	1	00420000	0000	0000	*	57.2	69	57.6	27	0	1	358.010	*	*	*	*
s	0	0	0	0231	3	20130001			*	57.6	27	57.7	82	0	2	154.500	100.0	200. 0	100.0	2
#	81	21	45	0231	1	00430000	0000	0000	*	57.6	27	57.7	76	0	2	149.140	100.0	200. 0	100. 0	2
#	81	21	45	0231	1	00440000	0000	0000	*	57.7	76	57.8	28	0	1	52.300	*	*	*	*
S	0	0	0	0231	3	20130002			*	57.6	82	57.6	83	0	1	1.000	*	*	*	*
s	0	0	0	0231	3	20130003			*	57.6	83	58.0	21	0	2	238.000	120.0	200.0	120.0	1
#	81	21	45	0231	1	00450000	0000	0000	*	57.8	28	58.3	80	0	2	551.530	*	183. 7	*	1
S	0	0	0	0231	3	20130004			*	58.0	21	58.3	26	0	1	305.260	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00540000	0000	0000	*	61.6	61	61.7	40	0	1	78.910	*	*	*	*

路線・現旧区分・距離標等より適切な箇所にデータを挿入する

※道路施設基本データは新道で作成されているが、附図等より現道区間であることを確認

② 位置図等よりデータの内容を確認し補完・補正を行う。

C030S. x | s

処理 区分	地建し	事務 所 C	出張 所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	補助	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下り 区分C	線形区 分C	区間長	始点側ク ロソイド	曲線半径	義点側ク ロソイド	曲 の の
#	81	21	45	0231	1	00400000	0000	0000	*	56.8	98	57. 1	13	0	1	214.950	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00410000	0000	0000	*	57.1	13	57.2	69	0	2	155.920	*	400.0	*	2
#	81	21	45	0231	1	00420000	0000	0000	*	57.2	69	57.6	27	0	1	358.010	*	*	*	*
D	81	21	45	0231	1	00430000	0000	0000	*	57.6	27	57.7	76	0	2	149.140	100.0	200.0	100.0	2
s	0	0	0	0231	3	20130001			*	57.6	27	57.7	82	0	2	154. 500	100.0	200.0	100.0	2
s	81	21	45	0231	1	00460000 🗸	0000	0000	*	57.6	27	57.7	82	0	2	154. 500	100.0	200.0	100.0	2
S	0	0	0	0231	3	20130002			*	57.6	82	57.6	83	0	1	1.000	*	*	*	*
s	81	21	45	0231	1	00470000 🗸	0000	0000	*	57.7	82	57.7	83	0	1	1.000	*	*	*	*
S	0	0	0	0231	3	20130003	_		*	57.6	83	58.0	21	0	2	238.000	120.0	200.0	120.0	1
S	81	21	45	0231	1	00480000 🗸	0000	0000	*	57.7	83	58.0	21	0	2	238.000	120.0	200.0	120.0	1
D	81	21	45	0231	1	00440000	0000	0000	*	57.7	76	57.8	28	0	1	52.300	*	*	*	*
D	81	21	45	0231	1	00450000	0000	0000	*	57.8	28	58.3	80	0	2	551.530	*	183.7	*	1
s	81	21	45	0231	1	00490000	0000	0000	*	58.0	21	58.3	26	0	1	305.260	*	*	*	*
#	81	21	45	0231	1	00540000	0000	0000	*	61.6	61	61.7	40	0	1	78.910	*	*	*	*

※連続性を保つように登録済データを削除した。(重複データとならないように)

#### (4) 不必要なデータの削除および保存

処理区分S・C・D以外の不要な行は削除し、保存する。

# 6.2. 延長をもつ施設の例

自歩道、防護柵、植栽のように延長を持つ施設の道路施設データの作成事例を以下に示す。

#### (1) CSV ファイルの変換(道路施設基本データ)

発注者より貸与された、工事受注者が作成した道路施設基本データのCSVファイルを所定の EXCELファイルに変換する。

整理 ▼ 書き込む 新しいフォルダー		
) ORG997	▲ 名前 ▲	種類
鷆 ORG999	E0103N-CSV	CSV ファイル
🐌 SYOGEN		
SYOGEN_O		
📔 E010	E0103N. CSV	
🍑 E0100A	し 防護柵データ	
📔 E0100D		
🐌 E0103N		
퉳 E01001		
鷆 E01002		
퉲 E01003		
鷆 E01004	間注于十7 [01014 001	
<b>E01005</b>	(判理9句 E01014.03) データも変換する	
🐌 E01014	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	

図 6-3. 道路施設基本データの格納(例)

① E0103N. CSV および E01014. CSV ファイルを EXCEL で開く

	E01014.xlsx																		
	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	M	N	0	P	Q	R	S
1	工事番号	工事区分の	附図対応番	地建C	事務所C	出張所C	路線	現旧区分の	整理番号1	整理番号2	整理番号3	補助番号	市区町村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完成的	施設改修
2	2.01 E+09	3	(R39号)I03	81	29	42	39	1	201 001 31				1208	112.3	75	112.3	88	2010	2009
3	2.01 E+09	1	(R39号)I03	81	29	42	39	1	201 00040				1208	112.3	74		93	2010	2009

② 新規シート内の CSV ファイルと同じ施設(E010S. x1s)のファイルを開く

8	E010S.)	KLS []	互換モー	۴]																					
	4 B	D	E	F	G	H	I	J	K	0	Q	U	¥	W	Х	88	AB	AC	AE	AG	AI	AK	1 1	AO	AP
1	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理番号 1	整理番 号 2	整理番 号 3	補助 番号	市区町 村C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	施設完 成年度	施設改 修年度	上り下 り区分 C	設置 箇所 C	防護 柵種 別C	設置 区分 C	設置 目的 C	材質	桐高	設置延長
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									

③ 所定の EXCEL 形式に変換する (E010S. x1s)

🔊 E	01014.xl	sx															$\overline{\mathbf{N}}$		
	В	D	E	F	G	Н	I	J	K	Q	U	V	W	Х	AC	AE	AG	AI	AP
1	処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	市区町村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下 り区分 C	設置箇 所C	防護柵種 別C	設置区 分C	設置延長
2	D	0	29	42	0039	1	20100131	0	0	1208	112.3	75	112.3	88	2		645		13.0
3	S	0	29	42	0039	1	20100040	0	0	1208	112.3	74	112.3	93	2	1	639	1	19.0

# (2) mdb ファイルの変換(登録済データの変換)

前項と同じ要領にて登録済データの変換を行う。

# E010S. xls(登録済ファイル)

処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	市区町村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下 り区分 C	設置箇 所 C	防護柵種 別 C	設置区 分C	設置延長
#	81	29	42	0039	1	00921050	0000	0000	01208	110.3	80	110.4	21	1	1	A11	1	41.0
#	81	29	42	0039	1	00930000	0000	0000	01208	112.2	71	112.3	67	2	1	B84	1	96.1
#	81	29	42	0039	1	00940000	0000	0000	01208	112.2	73	112.4	53	1	1	B84	1	180.0
#	81	29	42	0039	1	00950000	0000	0000	01208	112.3	75	112.4	53	2	1	B84	1	78.0
#	81	29	42	0039	1	00950010	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	1	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00950020	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	2	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00960000	0000	0000	01208	112.5	14	112.6	81	1	1	B84	1	166.9
#	81	29	42	0039	1	00970000	0000	0000	01208	112.5	14	112.7	49	2	1	B84	1	234.8
#	81	29	42	0039	1	00980000	0000	0000	01208	112.6	93	112.7	47	1	1	B84	1	53.5

# (3) 道路施設データの補完・補正作業

前項と同じ要領にて道路施設基本データ内に格納されている位置図および関連資料を抽出し、 データチェックを行う。



図 6-4. 確認資料類

① (1)にて変換したデータを(2)で作成した登録済データに挿入する (E010S. xls)

なお、挿入は位置図の距離標等を確認し距離標の設定に間違いがないことを確かめた上で、 適 切な位置にデータを挿入する。

E010S. x | s

処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	市区町村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下 り区分 C	設置箇 所 C	防護柵種 別 C	設置区 分C	設置延長
#	81	29	42	0039	1	00930000	0000	0000	01208	112.2	71	112.3	67	2	1	B84	1	96.1
#	81	29	42	0039	1	00940000	0000	0000	01208	112.2	73	112.4	53	1	1	B84	1	180.0
#	81	29	42	0039	1	00950000	0000	0000	01208	112.3	75	112.4	53	2	1	B84	1	78.0
D	0	29	42	0039	1	20100131	0	0	1208	112.3	75	112.3	88	2		645		13.0
S	0	29	42	0039	1	20100040	0	0	1208	112.3	74	112.3	93	2	1	639	1	19.0
#	81	29	42	0039	1	00950010	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	1	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00950020	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	2	4	992	1	56.0
#	81	29	42	络線·現	旧区分	・ 距離標等	より適切	な箇所に	データを	挿入する	5	112.6	81	1	1	B84	1	166.9

② 登録済データおよび位置図よりデータの内容を確認する。

# E010S. x I s

処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	市区町村 C	百米標自	距離自	百米棵至	距離至	上り下 り区分 C	設置箇 所 C	防護柵種 別 C	設置区 分C	設置延長
#	81	29	42	0039	1	00930000	0000	0000	01208	112.2	71	112.3	67	2	1	B84	1	96.1
#	81	29	42	0039	1	00940000	0000	0000	01208	112.2	73	112.4	53	1	1	B84	1	180.0
#	81	29	42	0039	1	00950000	0000	0000	01208	112.3	75	112.4	53	2	1	B84	1	78.0
D	0	29	42	0039	1	20100131	0	0	1208	112.3	75	112.3	88	2		645		13.0
S	0	29	42	0039	1	20100040	0	0	1208	112.3	74	112.3	93	2	1	639	1	19.0
#	81	29	42	0039	1	00950010	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	1	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00950020	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	2	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00960000	0000	0000	01208	112.5	14	112.6	81	1	1	B84	1	166.9



# 図 6-5. 登録済データとの照合

③ 登録済データを修正データとして距離標・延長を修正する。

E010S.xls

処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	市区町村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下 り区分 C	設置箇 所C	防護柵種 別 C	設置区 分C	設置延長
#	81	29	42	0039	1	00930000	0000	0000	01208	112.2	71	112.3	67	2	1	B84	1	96.1
#	81	29	42	0039	1	00940000	0000	0000	01208	112.2	73	112.4	53	1	1	B84	1	180.0
C	81	29	42	0039	1	00950000	0000	0000	01208	112.2	88	112.4	53	2	1	B84	1	65.0
D	0	29	42	0039	1	20100131	0	0	1208	112.3	75	112.3	88	2		645		13.0
S	0	29	42	0039	1	20100040	0	0	1208	112.3	74	112.3	93	2	1	639	1	19.0
#	81	29	42	0039	1	00950010	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	1	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00950020	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	2	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00960000	0000	0000	01208	112.5	14	112.6	81	1	1	B84	1	166.9



④ 削除データは不要(登録済データを修正したため)となるので削除する。

E010S. x | s

処理 区分	地建C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	市区町村 C	百米標自	距離自	百米標至	距離至	上り下 り区分 C	設置箇 所 C	防護柵種 別 C	設置区 分C	設置延長
#	81	29	42	0039	1	00930000	0000	0000	01208	112.2	71	112.3	67	2	1	B84	1	96.1
#	81	29	42	0039	1	00940000	0000	0000	01208	112.2	73	112.4	53	1	1	B84	1	180.0
S	81	29	42	0039	1	00942000	0000	0000	01208	112.3	74	112.3	93	2	1	639	1	19.0
C	81	29	42	0039	1	00950000	0000	0000	01208	112.3	88	112.4	53	2	1	B84	1	65.0
#	81	29	42	0039	1	00950010	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	1	4	992	1	56.0
#	81	29	42	0039	1	00950020	0000	0000	01208	112.4	55	112.5	11	2	4	992	1	56.0

# (4) 不必要なデータの削除および保存

処理区分S・C・D以外の不要な行は削除し、保存する。

# 7. その他留意事項

# 7.1. 各項目の確認内容

以下に、作成された道路施設データの確認にあたって参考とする標準的な閾値を工種ごとに示す。 閾値は各種基準類に基づく標準値であるため、例外が発生する可能性がある。その場合は、記入 された閾値が正しい事を示すため、「予備1」に「標準値とは異なる」等のコメントをするものとす る。

表 7-1. 各項目の確認内容(標準的な閾値)

工種名	対象項目	確認内容
全工種	百米標自+距離自	百米標至+距離至の合計より小さいこと(自・至が逆転していないこと)
延長項目を含む全工種	延長	距離標至-距離標自が延長と大差ないこと(距離標間距離を100m換 算、差異10%以上警告)
C010路線道路現況	最小車道幅員	5. 5m以上であること
	最急縦断勾配	7%以下であること
	最急横断勾配	10%以下であること
	最小曲線半径	30m以上であること
	縦断勾配	0%~7%以下であること
C030平面線形基本	曲線半径	30m以上であること
C040幅員構成	上り環境施設帯幅	0 又は1 0~30m以下であること
	上り植樹帯幅	0 又は1~3m以下であること
	上り自転車歩行者道幅	0又は0.75~5m以下であること
	上り路肩幅	$0 \sim 5  \mathrm{m}$ 以下であること
	上り車道幅	0又は2.75~12m以下であること
	上り車線数	0~3車線であること
	中央帯幅	0~4. 5m以下であること
	中央分離帯幅	0~3m以下であること
	下り車線数	0~3車線であること
	下り車道幅	0又は2.75~12m以下であること
	下り路肩幅	$0 \sim 5  \mathrm{m}$ 以下であること
	下り自転車歩行者道幅	0又は0.75~5m以下であること
	下り植樹帯幅	0 又は 1 ~ 3 m以下であること
	下り環境施設帯幅	0又は10~30m以下であること
C070鉄道交差点基本	最小桁下高	3m以上であること
	交差角度	45度~90度であること
	起点側道路勾配	0%~3%であること
	終点側道路勾配	0%~3%であること
C080歩道自歩道	舗装済延長	舗装済延長と未舗装延長との合計に一致すること
	幅員4m以上延長	幅員4M以上延長、幅員3M以上延長幅員、2M以上延長幅員、1M50 以上延長、幅員1M未満延長の合計と一致すること
C100中央帯	中央帯幅員	0~4. 5m以下であること
	分離帯幅員	0~3m以下であること
C110環境施設帯	施設帯幅	10~30m以下であること

工種名	対象項目	確認内容
D010橋梁基本	縦断勾配	7%以下であること
	橋長	2m以上であること
	最小半径	30m以上であること
	落下物防止柵高さ	0. 5~3m以下であること
D011橋梁幅員構成	有効幅員	左側車線歩道幅、左側車線路肩幅、左側車線車道幅、中央帯、右側車線車 道幅、右側車線路肩幅、右側車線歩道幅の合計と一致すること
	全幅員	左側車線地覆幅、左側車線歩道幅、左側車線路肩幅、左側車線車道幅、中 央帯、右側車線車道幅、右側車線路肩幅、右側車線歩道幅、右側車線地覆 幅の合計と一致すること
	全幅員	50m以下であること
	有効幅員	4 8 m以下であること
	左側車線地覆幅	0. 4 m以下~1 m以下であること
	左側車線地覆高	0. 1~0. 5m以下であること
	左側車線歩道幅	0又は0.75~5m以下であること
	左側車線路肩幅	0~2.5m以下であること
	左側車線車道幅	0又は2.75~12m以下であること
	左側車線車線数	1~3車線以下であること
	中央帯	0~4.5m以下であること
	中央分離帯	0~3m以下であること
	右側車線車線数	1~3車線以下であること
	右側車線車道幅	0又は2.75~12m以下であること
	右側車線路肩幅	0~2.5m以下であること
	右側車線歩道幅	0又は0.75~5m以下であること
	右側車線地覆幅	0. 4 m以下~1 m以下であること
	右側車線地覆高	0. 1~0. 5m以下であること
D012橋梁高欄防護柵	高欄防護柵高さ	0. 6~1. 2m以下であること
D014橋梁添架物	添架物重量	0~500kg/m以下であること
D015橋梁上部工	起点側斜角	906060(度、分、秒)以下であること
	終点側斜角	906060(度、分、秒)以下であること
	床版厚さ	1 0~30 cm以下であること
	主桁コンクリート強度	$1 \ 8 \ 0 \sim 5 \ 0 \ 0 \ \text{kg} / \text{cm} 2$
	床版コンクリート強度	1 6 0 $\sim$ 5 0 0 kg $\not$ cm 2
D016橋梁下部工	基礎形状寸法A	60m以下であること
	基礎形状寸法B	50m以下であること
	設計震度	0. 3Kh以下であること
	支持層N値	50以下であること
	橋台橋脚高さ(橋台の場合)	30m以下であること
	橋台橋脚高さ(橋脚の場合)	100m以下であること
	起点側縁端距離	20㎝以上であること
	終点側縁端距離	20㎝以上であること
	躯体コンクリート強度	1 6 0 ~ 3 0 0 kg ∕ cm 2
	基礎コンクリート強度	1 6 0 ~ 3 0 0 kg / cm 2

# 表 7-2. 各項目の確認内容(標準的な閾値)

工種名	対象項目	確認内容
D017橋梁径間	支間長	2m以上であること
D020橋側歩道橋基本	縦断勾配	7%以下であること
	橋長	2m以上であること
	最小半径	30m以上であること
	落下物防止柵高さ	<ol> <li>5~3m以下であること</li> </ol>
D021橋側歩道橋幅員構成	有効幅員	左側車線歩道幅、右側車線歩道幅の合計と一致すること
	全幅員	左側車線地覆幅、左側車線歩道幅、右側車線歩道幅、右側車線地覆幅の合 計と一致すること
	全幅員	6. 5m以下であること
D021橋側歩道橋幅員構成	有効幅員	5m以下であること
	左側車線地覆幅	0. 2~0. 6m以下であること
	左側車線地覆高	0. 1~0. 5m以下であること
	左側車線歩道幅	0. 75~2. 5m以下であること
	右側車線歩道幅	0. 75~2. 5m以下であること
	右側車線地覆幅	0. 2~0. 6m以下であること
	右側車線地覆高	0. 1~0. 5m以下であること
D022橋側歩道橋高欄防護柵	高欄防護柵高さ	0. 6~1. 2m以下であること
D024橋側歩道橋添架物	添架物重量	0~500kg/m以下であること
D025橋側歩道橋上部工	起点側斜角	906060 (度、分、秒)以下であること
	終点側斜角	906060 (度、分、秒)以下であること
	主桁コンクリート強度	1 8 0 $\sim$ 5 0 0 kg $\neq$ cm 2
	床版コンクリート強度	1 6 0 $\sim$ 5 0 0 kg $\angle$ cm 2
	床版厚さ	1 0~3 0 cm以下であること
D026橋側歩道橋下部工	基礎形状寸法A	60m以下であること
	基礎形状寸法B	50m以下であること
	設計震度	0. 3 K h 以下であること
	支持層N値	50以下であること
	橋台橋脚高さ(橋台の場合)	30m以下であること
	橋台橋脚高さ(橋脚の場合)	100m以下であること
	起点側縁端距離	20cm以上であること
	終点側縁端距離	20cm以上であること
	躯体コンクリート強度	1 6 0 $\sim$ 3 0 0 kg / cm 2
	基礎コンクリート強度	1 6 0 $\sim$ 3 0 0 kg $\neq$ cm 2

表 7-3. 各項目の確認内容(標準的な閾値)

工種名	対象項目	確認内容
D027橋側歩道橋径間	支間長	2m以上であること
D030横断步道橋基本	設計震度	0. 35Kh以下であること
	舗装厚さ	5 cm以下であること
	桁下高	3m以上であること
	幅員	1. 5~3. 5 m以下であること
	高欄高さ	0. 8~1. 2 m以下であること
D040トンネル基本	步道等幅	左側歩道幅、右側歩道幅の合計と一致すること
	車道幅	左側車道幅、右側車道幅の合計と一致すること
	道路幅	左側歩道幅、左側路肩幅、左側車道幅、中央帯、中央分離帯、右側車道 幅、右側路肩幅、右側歩道幅の合計と一致すること
	縦断勾配	7%以下であること
	舗装厚	1m以下であること
	建築限界高	4. 5m以上であること
	中央高	5m以上であること
	有効高	4. 5m以上であること
	曲線半径	30m以上であること
	道路幅	6. 5~15m以下であること
	車道幅	5. 5~10. 5m以下であること
	歩道等幅	0又は0.7~3m以下であること
D050洞門基本	歩道幅	左側歩道幅、右側歩道幅の合計と一致すること
	車道幅	左側車道幅、右側車道幅の合計と一致すること
	道路幅	左側歩道幅、左側路肩幅、左側車道幅、中央帯、中央分離帯、右側車道 幅、右側路肩幅、右側歩道幅の合計と一致すること
	舗装厚さ	1m以下であること
	建築限界高	4. 5m以上であること
	有効高	4. 5m以上であること
	道路幅	<ol> <li>5~15m以下であること</li> </ol>
	車道幅	5. 5~10. 5m以下であること
	步道幅	0又は0.7~3m以下であること
D060スノーシェッド基本	歩道幅	左側歩道幅、右側歩道幅の合計と一致すること
	車道幅	左側車道幅、右側車道幅の合計と一致すること
	道路幅	左側歩道幅、左側路肩幅、左側車道幅、中央帯、中央分離帯、右側車道 幅、右側路肩幅、右側歩道幅の合計と一致すること
	舗装厚さ	1m以下であること
	建築限界高	4. 5m以上であること
	有効高	4. 5m以上であること
	道路幅	<ol> <li>5~15m以下であること</li> </ol>
	車道幅	5. 5~10. 5m以下であること
	步道幅	0又は0. 7~3m以下であること

# 表 7-4. 各項目の確認内容(標準的な閾値)

工種名	対象項目	確認内容			
D070地下横断歩道基本	舗装厚	5㎝以下であること			
	内空高	2. 5m以上であること			
	斜角	0~90度以下であること			
D080道路BOX基本	内空歩道等幅	左側歩道幅、右側歩道幅の合計と一致すること			
	内空車道幅	左側車道幅、右側車道幅の合計と一致すること			
	道路部	左側歩道幅、左側路肩幅、左側車道幅、中央帯、中央分離帯、右側車道 幅、右側路肩幅、右側歩道幅の合計と一致すること			
	内空歩道等幅	5. 5m以下であること			
	縦断勾配	7%以下であること			
	曲線半径	30m以上であること			
	中央高	4. 5m以上であること			
	内空歩道幅	1~3m以下であること			
	舗装厚	$5 \sim 1.5$ cm以下であること			
D090横断BOX基本	舗装厚	$5 \sim 1.5$ cm以下であること			
	斜角	0~90度であること			
D100パイプカルバート	管径	200~3000mm以下であること			
D110のり面基本	のり面最大直	1段目直高、2段目直高、3段目直高、4段目直高、5段目直高、6段目 直高、7段目直高、8段目直高、9段目直高、10段目直高の合計と一致す ること			
	のり面最大直高	5m以上であること			
	のり面平均勾配	2以下であること			
D120擁壁基本	勾配	0~1以下であること			
E010防護柵基本	柵高	<ul> <li>0.5m以上であること</li> <li>上限値は、防護柵種別に応じて以下の通りとする。</li> <li>・落下物防止柵 3m以下であること</li> <li>・立入防止柵(鹿対応タイプ) 2.5m以下であること</li> <li>・立入防止柵(鹿対応タイプ以外) 1.5m以下であること</li> <li>・上記以外 1.2m以下であること</li> </ul>			
E120災害予知装置基本	のり面勾配	1. 5%以下であること			
E130自動車駐車場基本	敷地面積	100 ㎡以上であること			
E170消雪パイプ基本	車道部幅	12m以下であること			
	歩道部幅	5m以下であること			
	縦断勾配	7%以下であること			
E180ロードヒーティング基本	車道ヒーティング幅	12m以下であること			
	歩道ヒーティング幅	5m以下であること			
	縦断勾配	7%以上であること			
E250遮光フェンス基本	最大高	1. 2 m以下であること			
	最小高	0. 5m以上であること			

表 7-5. 各項目の確認内容(標準的な閾値)

#### 7.2. 選択肢が追加されたコード項目

令和2年3月26日(※)に道路施設基本データの作成に用いられる「道路施設基本データ作成シ ステム」(施工業者向け)が更新され、入力時に用いられる新たなコード(選択肢)が追加された。 また、北海道開発局独自で令和3年度に新たにコードを追加した。

このため、下表に示す上記コード追加に該当する工種・項目の道路施設データ作成時は注意すること(詳細なコード内容・番号は「項目別記入要領集」参照)。

※令和元年度以前の完了工事で作成される道路施設基本データは、新たなコードを利用したデータが作成されない (「その他」を選択して作成)ため、道路施設データ作成時に新たなコードへ変換する必要がある。

No.		工種	項目名
1	D010	<b>拆</b> 沙甘 <del>木</del>	適用示方書
2	DOTO	恫禾莝쑤	舗装種別
3	D015	<b>拆</b> № ⊢ 如 丁	起点側伸縮装置形式、終点側伸縮装置形式
4	DOID	個末工品工	構造形式
5	D016	拆沙下立丁	橋台橋脚構造形式
6	DOTO	<b>倘采下邵</b> 工	基礎形式
7	D017	橋梁径間	起点側支承種類、終点側支承種類
8	D01A	橋梁補修歴	主な補修改良内容
9	D020	橋側歩道橋基本	適用示方書
10	DODE	掻側よざ掻し如て	起点側伸縮装置形式、終点側伸縮装置形式
11	0025	侷 <b>側少</b> 垣惝上 <b></b> 可上	構造形式
12	DODE	体側生、芝体工の工	橋台橋脚構造形式
13	0020	临 <b>侧少</b> 坦临下 <b></b> 可工	基礎形式
14	D027	橋側歩道橋径間	起点側支承種類、終点側支承種類
15	D02A	橋側歩道橋補修歴	主な補修改良内容
16	D030	横断步道橋基本	適用示方書
17	D090	横断BOX基本	構造形式種別
18	D100	パイプカルバート基本	形式種別
19	D120	擁壁基本	構造形式
20	E010	防護柵基本	防護柵種別
21	E030	反射式視線誘導	誘導標種類

表 7-6 選択肢が追加されたコード項目一覧

# 7.3. 構造物における入力桁数の変更

下表の通り、一部工種における入力桁数を変更する。 詳細は「道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局)」巻末資料を参照のこと。

工種	項目名	変更内容	単位
D016	杭長	整数入力	m
DUTO 播测下部工	躯体基部形状寸法 A,B	⇒小数第一位まで入力	m
简米下型上	杭径	全体桁数 2 桁⇒3 桁	m
D006	杭長	整数入力	m
D020 插刷先送扬下到了	躯体基部形状寸法 A,B	⇒小数第一位まで入力	m
「简例少迫ዀ下 「P」	杭径	全体桁数 2 桁⇒3 桁	m
D100		整数入力	
パイプカルバート	<u></u> 上 文 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	⇒小数第一位まで入力	rn

表 7-7 構造物の桁数についての変更概要

## 7.4. 入力桁数の制限に対する対応

小数点以下まで入力する項目(単位はメートルを想定)において、小数点以下の数字を含めると全体の入力桁数を超える場合は、小数点以下の数字を除いて入力する。

(例えば、「C01A 避譲車線区間」における「避譲車線区間長」が 1,234mの場合は、「1234.」とする)

#### 7.5. 登録用データにおいて多く発生しているミス事例

登録用データにおいて多く発生しているミス事例を以下に示す。登録用データを作成する際は、下 記内容について確認し、同様のミスが発生しないようにする必要がある。

#### 7.5.1. 道路管理データベース登録用データ

#### (1) セルに式が残存

セルにデータ作成のための「式」が残存している。「整理番号」は他の情報(地建 C~整理番号 3)に基づき作成できるため、式を使ってデータを作成するケースが多いが、最終的に「式」を 「値」に変更しないまま登録用データとして提出されている。

A2		28.H28.I28	见 式	がその	のまま	残存し	している	)		
	Α	В	С	D	Е	F	G	Н	I	J
1	整理番号	処理 区分	地建 C	事務 所C	出張 所C	路線	現旧区 分C	整理番号 1	整理番 号2	整理番 号3
2	812442022910056000042400000	D	81	24	42	0229	1	00560000	4240	0000
3	812442022910056000043500000	D	81	24	42	0229	1	00560000	4350	0000
4	812442022910056010042200000	S	81	24	42	0229	1	00560100	4220	0000
5	812442022910056010042400000	s	81	24	42	0229	1	00560100	4240	0000
6	812442022910056020042200000	s	81	24	42	0229	1	00560200	4220	0000

図 7-1 セルに式が存在するエラー(例)

#### (2) 延長と距離標間距離の相違

道路の延長方向に設置される可能性がある工種において、「延長」と「距離標間距離(距離標の 自・至の差)」に値に大きな差が生じている。下記ケースでは延長と距離標間距離に相違が生じて いるため、値に誤りがある可能性がある。道路と横断方向に設置等、距離標間距離と延長に差があ る場合でも値に問題ない場合は、「予備1」に「道路縦断方向と異なる」と記載する。

工種	整理番号1	百米標自 (km)	距離自 (m)	百米標至 (km)	距離至 (m)	橋長 (m)	予備1
D010 橋梁基本	00010100	0.0	0	0.2	80	240	道路縦断方向と異なる
	距離標間	LL 引距離 =	280-0 =	0.2km+8	0m=280m	¹ 橋長: の差異	=240m

表 7-8 延長と距離標間距離の差異及び問題ない場合の予備1への記載(例)

# (3) 整数で入力する項目に小数点以下の入力

整数の入力が求められている項目において、小数点以下の値が入力されている。この場合、小数 点以下を四捨五入等により整数にする必要がある(各項目の桁数に関しては、「道路施設基本デー タ作成マニュアル(北海道開発局) 巻末資料1」を参照)

表 7-9 整数で入力する項目に小数点以下の桁があるエラー(例)

工種	路線	現旧 区分	整理番号1	步道等 種別	形式	歩道等 延長	
C080 歩道自歩道	国道235号	現道	20210010	步道	マウント アップ	656.7	誤
						正 657	

#### (4) 数値項目が標準閾値の範囲外

数値項目については道路構造令等に基づく標準的な閾値が定められており、入力した値がこの 閾値の範囲内かを確認する必要がある。閾値外であるが問題ない場合は、「予備1」に該当項目名 及び標準値とは異なる旨を記入する。

表 7-10	閾値範囲外及び問題ない場合の予備1への記載(	(例)
--------	------------------------	-----

工種	路線	現旧 区分	整理番号 1	のり面 斜面分類	のり面 平均勾配	のり面 最大直高	予備1
D110 のり面	国道235号	新道	20201030	盛土のり面	2.18	17	「のり面平均勾配」は 標準値と異なる

標準的な閾値「2.0」以下に対し、「2.18」と記載

### (5) 年月項目に年次のみ記載

年月についての入力項目は、年次と月を記載する(3月に完成した場合は「200403」)。

表	7-11	年月項目のエラー	(例)
---	------	----------	-----

工種	路線	現旧区分	整理番号1	設置箇所	材質	完成年月
E010防護柵	国道235号	新道	20201360	歩道路側側	鋼材	2004

年月項目(6桁)に対し、年次のみ(4桁)記載

#### (6) 空白セルやカンマが存在

空白セルや半角カンマが存在している。本マニュアルの「2.2(1)整備対象項目の未整備」を参照 し、必要な情報を入力する必要がある。

工種	整理番号 1	整理番号 2	施設名称	現旧区分	図面種別	表示出 力順	図面名 称	ファイル名	図面媒 体名称
E202防災 備蓄図面類	00001000	4210	道の駅 もんじゅ		位置図	001	位置図	6A19z001.jpg	SEVER
E202防災 備茎図面類	00001000	4240	道の駅 もんじゅ		一般図	001	一般図	6A19z002.jpg	SEVER

表 7-12 空白セルが存在するエラー (例)

表 7-13 カンマが存在するエラー (例)

路線	上り下り 区分	設置 方式	支柱 形式	施設完成 年度	備考
3202	下り線	路側式	単柱式	426	北海道横断道根室線,音別舗装工事
3202	下り線	添加式 (その他)	*	426	北海道横断道根室線,

#### (7) 同じ処理データの重複

登録用データの中で、同じ「整理番号」で同じ「処理区分」のデータが存在している。「整理番号」もしくは「処理区分」のどちらかに誤りがあるため、正しい値に修正する必要がある。

整理番号	処理 区分	地建 C	<del>事務</del> 所C	出張 所C	路線	現旧 区分 C	整理 番号1	整理 番号2	整理 番号3
81244202291054542100000	D	81	24	42	0229	1	0545	4210	0000
81244202291054542100000	D	81	24	42	0229	1	0545	4210	0000
	5.6	· •	1800	+++	- 7				

表 7-14 「整理番号」及び処理区分の重複エラー(例)

同じ「整理番号」で「処理区分 D」のデータが 2 つ存在する

#### (8) 修正・削除データに対する既存データが存在しない

登録用データで処理区分「D」、「C」のデータについては、既存登録済データに同じ整理番号の データが存在する必要がある。

このため、修正・削除の対象となる施設における整理番号を確認し、適切に修正する。なお、新 規データの場合には、処理区分を「S」に変更する。

〇登録用データ(修正(処理区分C)または削除(処理区分D)データ)

	地建 C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧 区分C	整理番号1	整理 番号2	整理 番号3
	81	24	45	0276	1	82760010	0000	0000
OВ	登録用データに対する既存データ(同じ整理番号の データ)が存在しない							
	地建 C	事務所 C	出張所 C	路線	現旧 区分C	整理番号1	整理 番号2	整理 番号3
	81	24	45	0276	1	82760020	0000	0000
	81	24	44	0005	1	80050036	0000	0000
_								
	81	24	42	0238	1	80840000	0000	0000
		0.4		0000		0000004	0000	0000

図 7-2 既存データが存在しないエラー(例)

#### (9) 新規データと既存データの整理番号が重複

新規(処理区分S)データを作成する際は、既存データと重複しない整理番号を設定する必要が ある。既存データを修正または削除したい場合は、処理区分が誤っているため、処理区分を「C」 または「D」としてデータを作成する。

- 〇登録用データ(新規(処5	埋区分 S)データ)
-----------------	------------

工種	整理番号	路線	百米標	距離	完成年月	上り下り 区分	設置箇所	
E040 自光式 視線誘導	812544004018020029000000000	0040	132.9	59	201411	上り線	路肩 (路側)	
O既存データ 同一の整理番号が存在(整理番号が重複)								
工種	整理番号	路線	百米標	距離	完成年月	上り下り 区分	設置箇所	
E040 自光式 視線誘導	812544004018020029000000000	0040	133.4	67	201509	上り線	歩道	

図 7-3 新規データと既存データの整理番号が重複(例)

#### (10) 親子データ間で整理番号1が不整合

親データ・子データ・孫データは整理番号により関連付けする必要がある。同一施設における親 データの整理番号1と子データの整理番号1を合わせるように修正

【ミス事例】

〇親データ

親データ(橋梁基本)の整理番号1と 子データ(橋梁補修歴)の整理番号1が相違

一番	処理	<b>中欠</b> 幺白	整理	整理	整理	分割	加訊錄工在	「「「「「」」」「「」」」」
上作里	区分	此合形水	番号1	番号2	番号3	区分	未改攻工牛	「備朱凶力」
D010橋梁 基本	S	0337	01880	0000	0000	上下線 一体	1991	本線橋
D010橋梁 基本	s	0337	01880	0000	0000	上下線 一体	1993	本線橋

〇子データ

# 不整合

工種	処理 区分	路線	整理 番号1	整理 番号2	整理 番号3	分割 区分	構造形式	桁形式 区分
D015橋梁 上部工	S	0337	01888	0001	0000	上下線 一体	I桁(合成)	単純桁
D015橋梁 上部工	S	0337	01888	0002	0000	上下線 一体	I桁(合成)	単純桁

図 7-4 親子データ間における整理番号1のエラー(例)

# (11) イメージデータとイメージタイトルデータが対応していない

作成したイメージデータ1枚に対し、イメージタイトルデータを1件作成する必要がある。



図 7-5 イメージタイトルデータに関するエラー(例)
# (12) イメージタイトルデータ内で「ファイル名」が重複

ファイル名はイメージタイトルデータ内で重複しないよう設定する必要がある。

整理番号 1	整理番号 2	整理番号 3	図面種別	表示 出力順	作成 年月	図面 サイズ	ファイル名	図面媒体 名称
20203120	4352	0000	現況写真	003	201802	A4	4A20z035.jpg	SERVER
20202880	4240	0000	一般図	001	201802	A4	4A20z036.jpg	SERVER
20203030	4240	0000	一般図	001	201802	A4	4A20z037.jpg	SERVER
20202260	4240	0000	一般図	001	201803	A4	4A20z036.jpg	SERVER

イメージタイトルデータにおいて、異なるイメージデータに同じ 「ファイル名」を設定(ファイル名が重複)

図 7-6 イメージタイトルデータ内での「ファイル名」重複(例)

### 7.5.2. サブシステム登録用データ

### (1) 資料検索システムの「地整 C~整理番号1」が道路管理データベースと不整合

地整 C~整理番号1は道路管理データベースとの連携情報となっているため、該当する施設の情報と整合させる必要がある。



図 7-7 資料検索システムと道路管理データベース間のエラー(例)

#### (2) 附図検索システム登録用データ(数値文字データ)とイメージデータの不整合

附図検索システムにおける登録用データ(数値文字データ)と、イメージデータ(道路維持台帳 附図データ)に記載の情報が整合していない場合がある。

このような場合は、道路維持台帳附図データの内容に合わせて登録用データ(数値文字データ) を修正する必要がある。

処理	路線 番号	図面 種別 C	距離標 自	距離標 至	図面名称	MEDIANAME	FOLDA	FILE	КАК
N	0393	0	49.7	50.3	道路基本図49.7	INAGE_H20	20180321002419150000	000100000000001	PDF
N	0393	1	49.7	50.3	道路構造管理図49.7	IMAGE_H20	20180321002419160000	0002000000000001	PDF
N	0393	2	49.7	50.3	付属物管理図49.7	IMAGE_H20	20180321002419170000	0003000000000001	PDF
N	0393	0	55. <b>4</b>	56	道路基本図55.4	IMAGE_H20	20180321002419180000	000100000000001	PDF
N	0393	1	55. <b>4</b>	56	道路構造管理図55.4	IMAGE_H20	20180321002419190000	0002000000000001	PDF
N	0393	2	55. <b>4</b>	56	付属物管理図55.4	IMAGE_H20	20180321002419200000	0003000000000001	PDF
N	0393	0	50.9	51.5	道路基本図50.9	IMAGE_H20	20180321002419210000	000100000000001	PDF
N	0393	1	50.9	51.5	道路構造管理図50.9	IMAGE_H20	20180321002419220000	0002000000000001	PDF
N	0393	2	50.9	51.5	付属物管理図50.9	HMAGE_H20	20180321002419230000	0003000000000001	PDF

附図データ(フォルダ名:20180321002419180000、ファイル名:00010000000001.pdf)



図 7-8 附図検索システムにおける登録用データ(数値文字データ)とイメージデータ間のエラー(例)

## (3) 舗装台帳閲覧システムにおけるデータ数の不整合

舗装台帳(一枚毎)データ数とタイトルデータの行数が整合していないケースがある。
舗装台帳(一枚毎)データは、既存データも含めた全データを提出するため、舗装台帳(一枚毎)
データのファイル数分のタイトルデータを作成する必要がある。



#### 7.6. 「溝橋」に該当するデータについて

「道路軸方向の外寸2m以上 かつ 土被り1m未満のカルバート(溝橋)」に該当する道路施 設基本データが、D070地下横断歩道・D080道路BOX・D090横断BOXで作成されている場合は、D010 橋梁またはD020橋側歩道橋に変更する。



出典:特定の条件を満足する溝橋の定期点検に関する参考資料(平成31年2月) 国土交通省 道路局 国道・技術課

図 7-10 溝橋の条件

以上